

準備する

HDDジュークボックスに取込む・
HDDジュークボックスから転送する

再生する

編集する

ネットワーク接続・設定

インターネットに接続して
使う

ホームネットワーク機能を使
う

その他の設定をする

困ったときは

注意事項/主な仕様

SONY

NETJUKE

SONY

HDD搭載ネットワークオーディオシステム NAS-D55HD/M75HD/M95HD

HDD 搭載ネットワークオーディオシステム NAS-D55HD/M75HD/M95HD 取扱説明書

ご購入いただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよく読み
のうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管し
てください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などは <http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口
フリーダイヤル.....0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話...0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル.....0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話...0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389 受付時間 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00
ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1



* 3 2 7 7 2 2 8 0 5 * (1)

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
TEXT

MP3 ATRAC
HDD LinearPCM
HARD DISK DRIVE AnyMusic

NAS-M75HD/M95HDのみ

Mini
Disc MDLP

安全のために 警告

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。

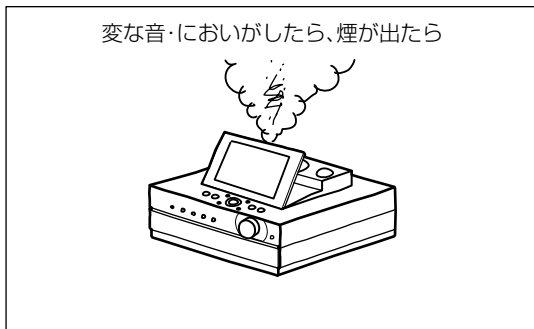
定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、電源プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーの相談窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる場合があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指のケガに
注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く

必ずお読みください

ハードディスクについて

ハードディスクは衝撃、振動などに弱いため、下記を必ず守ってご使用ください。詳しくは、115ページをご覧ください。

- 衝撃を与えない。
- コンセントを差したまま本機を動かさない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- 録音、再生中は、本機を動かしたり、コンセントを抜かない。
- お客様ご自身で、ハードディスクの交換や増設をしない。故障の原因となります。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。

本機のハードディスクに記録されたデータは、通常の使用において壊れる可能性があります。お客様が保存したデータは、本機のバックアップ機能を使用して、外部に接続した別売りのUSBハードディスクに、またはWindowsのファイル共有で、定期的にバックアップをとってください。

ハードディスク内のデータが壊れたことによる一切の責任を弊社は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

録音についてのご注意

- 大切な録音の場合は、必ず事前のためし録りをし、正常に録音されていることを確認してください。
- 本機を使用中、万一不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件にしたがって修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本機をネットワーク接続して利用するサービスについて

サービス内容は予告なく変更されたり、終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

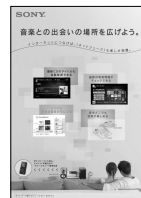
本機の取扱説明書の種類と内容

① 取扱説明書(本書)



本機のすべての設定と操作方法、およびネットワーク接続のしかたを説明しています。また、本機を安全にお使いいただくための注意事項なども記載しています。

② ネットワーク紹介ガイド



本機をネットワークに接続した場合にできることなどのご紹介をしています。

③ “エニーミュージック”からのご案内



“エニーミュージック”のサービスのご紹介です。

④ 「ネットジュークサポート」ホームページ



最新サポート情報やよくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。下記ホームページをご覧ください。

URL: <http://www.sony.co.jp/netjuke-support/>

本書で使われているイラストについて

本書で使われているイラストや画面は実際のものとは異なる場合があります。特に記載のない場合、本体のイラストはNAS-M75HDを使用しています。

取扱説明書の使いかた

この取扱説明書ではリモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。リモコンと同じ名前の本体のボタンは、同じ働きをします。

(HDD): HDDジュークボックスで使える機能

(CD): CDで使える機能

(MD): MDで使える機能(NAS-M95HD/M75HDのみ)

目次

安全のために  警告	2
必ずお読みください	3
こんなことができます	10

準備する

付属品を確かめる	12
各部の名称とはたらき	13
リモコン	13
本体上面	16
本体前面	17
画面	18
接続する	20
電源を入れる	23
時計を合わせる	24

HDDジュークボックス スに取込む・HDD ジュークボックスから 転送する

HDDジュークボックスへの取込みと転送について	25
録音/取込みの設定をする	27
録音先のフォルダを変更する	29
HDDジュークボックスに取込む	30
CD/MD/ラジオ/外部機器から録音する	30
USBメモリから取込む	31
パソコンから取込む	31
HDDジュークボックスから転送する	32
“ウォークマン”用のアタッチメントを取り付ける	32
“ウォークマン”/MD/ポータブル機器に転送する	33
USBメモリにMP3ファイルを書き出す	34
転送時の設定を変更する	34
転送先の曲/プレイリストを削除する	37

再生する

HDDジュークボックスを再生する	38
アルバムや曲の情報を見る	39
お好みの曲を集める(プレイリスト登録)	39
モードを選んで再生する	40
アルバムや曲を検索する	40
おまかせチャンネルを使う	42
おまかせチャンネルで再生する	44
MIXチャンネルを使う	44
チャンネル間で曲を移動する	45
おまかせチャンネルを設定する	46
おまかせチャンネルを転送する	46
CDを再生する	47
CDの情報を見る	49
MDを再生する(NAS-M95HD/M75HDのみ)	50
ディスクや曲の情報を見る	51

ラジオを聞く	52
ラジオ局を登録する	53
外部機器をつないで聞く	54
リピート/シャッフル再生	56

編集する

タイトル情報を検索/取得する	58
画像をつける	59
編集する	61
名前を変更する	61
新しいプレイリストを作る	61
削除する	62
移動する	63
曲を分ける(分割)	63
曲をつなぐ(結合)	64
フォルダ・グループを作る	65
曲のデータ形式を変換する	66
文字を入力する	67
文字を入力する	68

ネットワーク接続・設定

ネットワークに接続する	70
有線をつなぐ	71
準備する	71
有線LANの接続、設定をする	71
無線をつなぐ	73
無線LANアダプターの設置について	73
AOSSを利用して無線LANの接続、設定をする	73
アクセスポイントを検索して無線LANの設定をする	74
ネットワークの設定を確認する	76
ネットワーク状態を確認する	76
IPアドレス/プロキシを設定する	77

インターネットに接続して使う

インターネットに接続してできること	78
最新のタイトル情報を取得する	79
“エニーミュージック”を使う	80
最新の音楽情報を見たり試聴してみる	80
曲をダウンロードする	80
FMオンエア情報を保存する — 楽曲クリップ	81
パソコン内の音楽を取込む	83
時計を自動的に合わせる	84

ホームネットワーク機能を使う

本機のサーバやクライアント機能について	85
本機をサーバとして使う	86
本機をクライアントとして使う	88
パソコン内の音楽を再生する	88
曲の情報を見る	89

その他の設定をする

スリープタイマーを使う	90
ウェイクアップタイマーを使う	91
タイマー録音する	92
ラジオをタイマー録音する	92
外部機器の音楽をタイマー録音する	93
タイマー設定を確認する	94
本機の設定を変更する	95
画面の設定をする	95
スタンバイモードの設定をする	95
パソコンで共有フォルダを設定する	96
システムを管理する	97
データをバックアップする	97
データを復元する	99
システム情報を確認する	99
本体ソフトウェアを更新する	100
システムを初期化する	100
音楽データを移動する	100

困ったときは

故障かな?と思ったら	102
保証書とアフターサービス	114

注意事項/主な仕様

注意事項	115
使用上のご注意	115
対応CD/MDIについて	117
主な仕様	118
HDDジュークボックス内の階層一覧	120
用語解説	122
索引	124

電池についての安全上のご注意

漏液れ・破裂・発熱などによるけがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

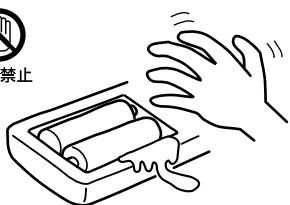
危険

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない



接触禁止



電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、数時間たってから症状が現れることもあります。

必ず次の処理をする



指示



- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

警告

電池は乳幼児の手の届かない所に置く



禁止



電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れて、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない



禁止

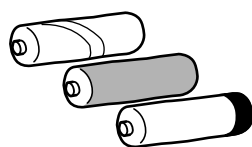


破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない



禁止

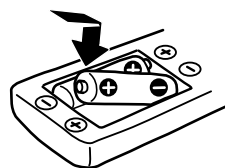


電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

＋と－の向きを正しく入れる



指示



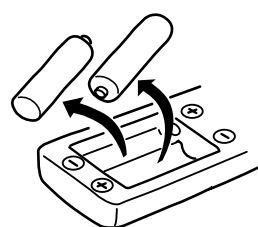
＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す



指示



電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

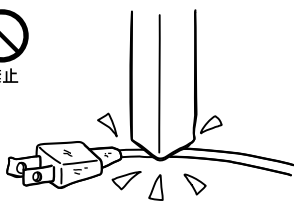


下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない



禁止



電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

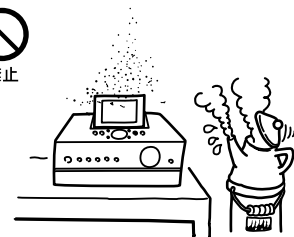
- 設置時に、製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷ついたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口へ交換をご依頼ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない



禁止

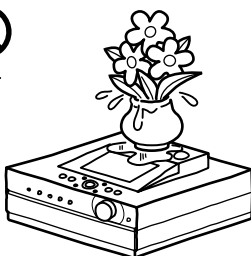


上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場などでは絶対に使用しないでください。

内部に水や異物が入らないようにする



禁止

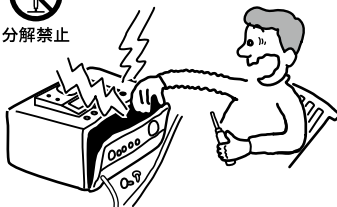


水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水のいったものを置かないでください。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口へご相談ください。

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない



分解禁止

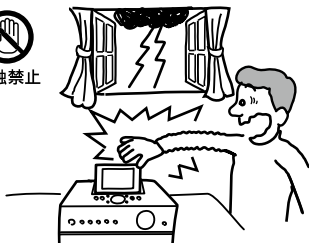


火災や感電、けがの原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口へご依頼ください。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない



接触禁止



本機やアンテナ線、電源プラグなどに触れると感電の原因となります。

本機を日本国外で使わない



指示

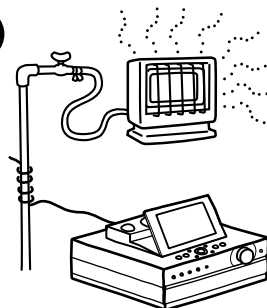


交流100Vの電源でお使いください。海外など、異なる電源電圧の地域で使用すると、火災・感電の原因となります。

ガス管にアース線やアンテナ線をつながない



禁止



火災や爆発の原因となります。

NETWORK(ネットワーク)コネクタに指定以外のネットワークや電話回線を接続しない



禁止

NETWORK(ネットワーク)コネクタに下記のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要な以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T/100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- PBX(デジタル式構内交換機)回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

⚠️ 注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない



ぬれ手禁止



感電の原因となることがあります。

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない



禁止

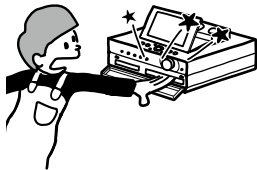


布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

幼児の手の届かない場所に置く



指のケガに注意



ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

大音量で長時間つづけて聞かない



禁止



耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くとときにご注意ください。呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない



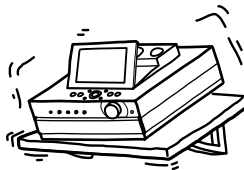
禁止

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。特に、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くとときにはご注意ください。

安定した場所に置く



禁止



ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する



指示

異常が起きた場合にプラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるように、電源プラグは容易に手の届くコンセントにつないでください。

通常、本機の電源スイッチを切ただけでは、完全に電源から切り離されません。

コード類は正しく配置する



禁止

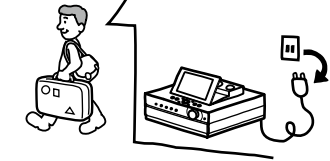


本機に取り付ける電源コードやAVケーブル、ネットワークケーブルは、足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。十分に注意して接続、配置してください。

長期間使わないときは、電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く



長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

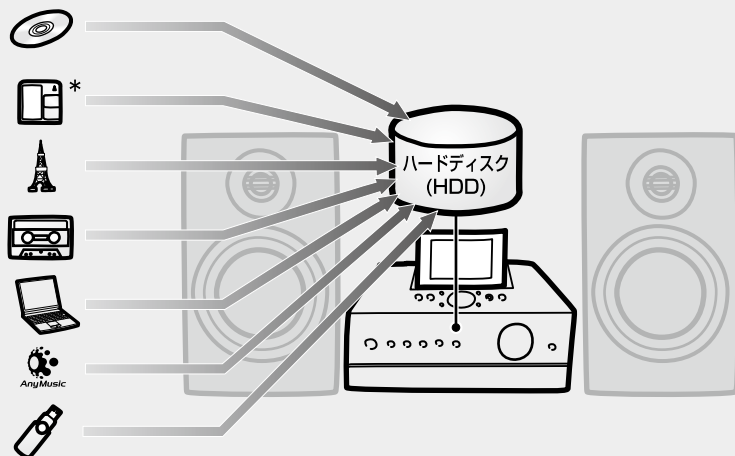


電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

こんなことができます

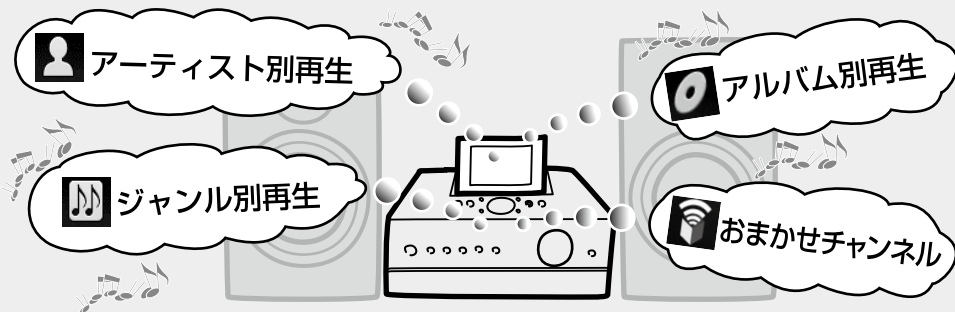
貯める

音楽CDやMD*などに入っている曲をHDD
ジュークボックスに貯めて・・・



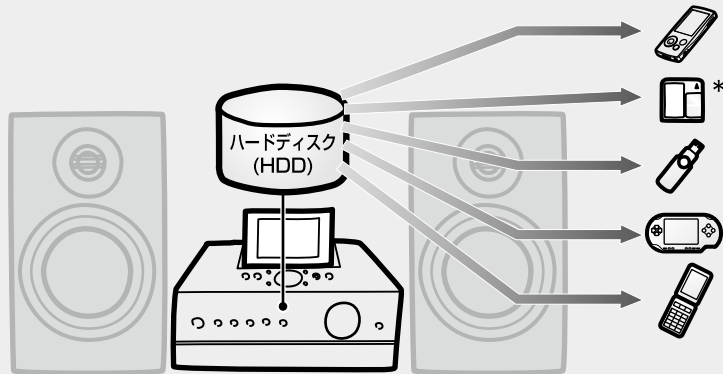
聴く

アーティスト別に聴いたり、おまかせチャンネル
を使って聴ける



持ち出す

“ウォークマン”やMD*などに転送して、曲を持ち運べる



さらにインターネットにつないでいると・・・

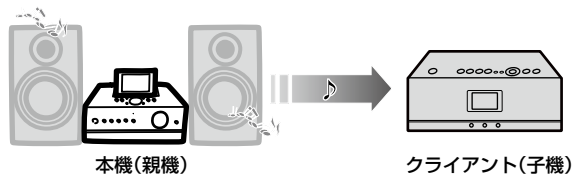
■ “エニーミュージック”から音楽を購入



■ Gracenoteからタイトル情報を自動取得



■ DLNA対応機器で本機の曲を再生できる(ホームネットワーク機能)



* NAS-M95HD/M75HDのみ

付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご連絡ください。

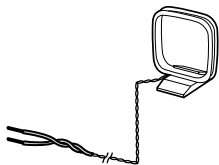
- スピーカーコード(2)
(NAS-M95HD/M75HDのみ)



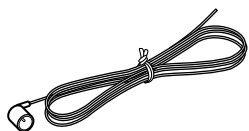
- スピーカーフット(8)



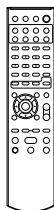
- AMループアンテナ(1)



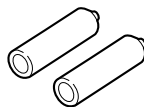
- FM簡易ワイヤーアンテナ(1)



- リモコン(1)



- リモコン用単3形(R6)乾電池(2)

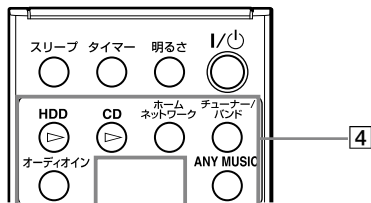


- 取扱説明書(本書)(1)
- ネットワーク紹介ガイド(1)
- “エニーミュージック”からのご案内(1)
- ソフトウェアに関する重要なお知らせ(1)
- ソフトウェア使用許諾契約書(1)
- 製品カスタマー登録のお願い(1)
- ソニーご相談窓口のご案内(1)
- 保証書(1)

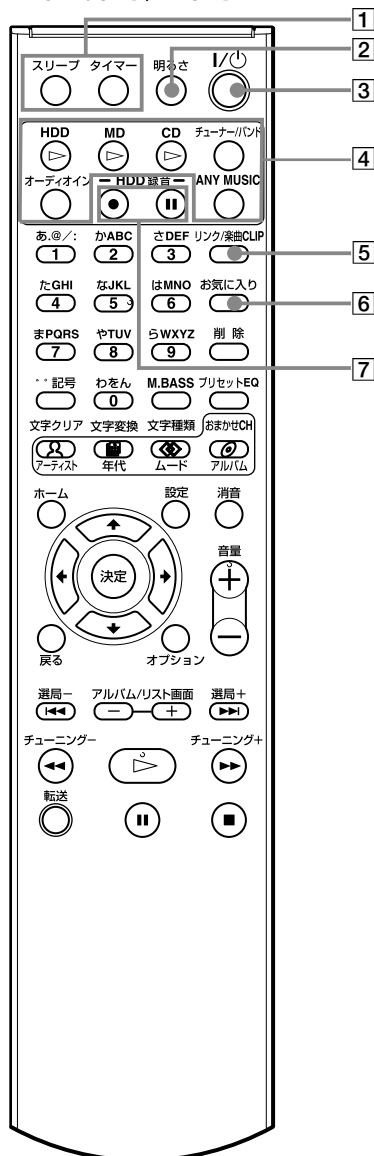
各部の名称とはたらき

リモコン

NAS-D55HD



NAS-M95HD/M75HD



① スリープ、タイマーボタン

- スリープボタン
スリープタイマーの設定/確認に使用します(90ページ)。
- タイマーボタン
タイマーを設定するとき使用します(91ページ)。

② 明るさボタン

画面の明るさを変えるときに使用します。

③ I/O(電源)ボタン

電源を入/切します。電源を切ると自動解析(42ページ)が始まり、イルミネーションランプがゆっくり点滅します。自動解析を中止してすぐに電源を切りたときは、■ボタンを押します。

④ ダイレクトプレイボタン

スタンバイ時に電源が入り、ファンクションが切り換わります。

- HDD▶ボタン(38ページ)
- MD▶ボタン(50ページ)(NAS-M95HD/M75HDのみ)
- CD▶ボタン(47ページ)
- チューナー/バンドボタン(52ページ)
- オーディオインボタン(55ページ)
- ANY MUSICボタン(80ページ)
- ホームネットワークボタン(88ページ)(NAS-D55HDのみ)

⑤ リンク/楽曲CLIPボタン

- リンクボタン
“エニーインフォ”表示時に関連する“エニーミュージック”のページにリンクします(38ページ)。
- 楽曲CLIPボタン
“NOW ON AIR”(82ページ)で表示された楽曲情報を保存します。

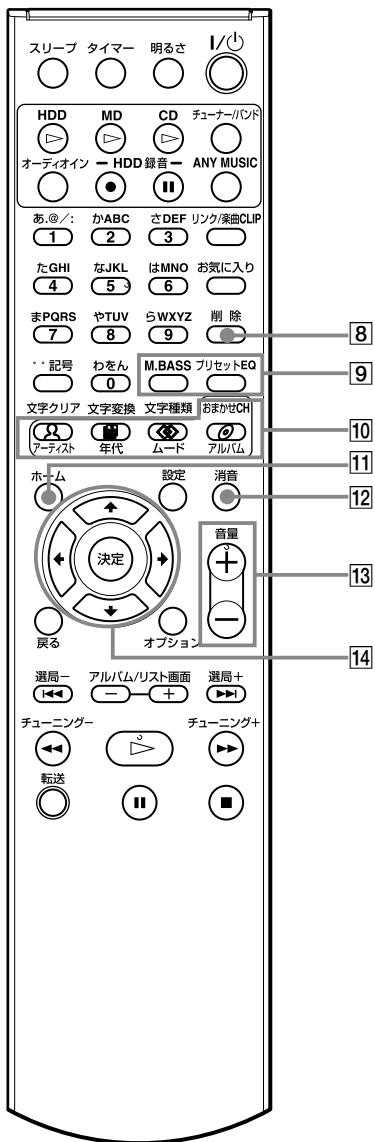
⑥ お気に入りボタン

曲をお気に入りリストに追加するとき使用します(46ページ)。

⑦ HDD録音ボタン

HDDジュークボックスへの録音に使用します。

- HDD録音●(録音開始)ボタン(30ページ)
- HDD録音■(録音一時停止)ボタン(30ページ)



*音量+ボタンには、凸点(突起)が付いています。操作の目印として、お使いください。

⑧ 削除ボタン

各ファンクションで削除を行うときに使います(62ページ)。

⑨ M.BASS、プリセットEQボタン

- M.BASSボタン
重低音を強調します。
ボタンを押すたびに、M.BASSの「ON」(低音強調)と「OFF」が切り換わります。お買い上げ時の設定は、「ON」です。
- プリセットEQボタン
あらかじめ登録されている音質に切り換えます。
ボタンを押すたびにプリセットEQが以下の順番で切り換わります。
◆FLAT→ROCK→POPS→JAZZ→CLASSIC→DANCE→FLAT→.....
(◆:お買い上げ時の設定)

⑩ おまかせCHボタン/MIXチャンネルボタン

- おまかせCHボタン(黄)
おまかせチャンネルを選んで再生します(44ページ)。
- 青、赤、緑、黄ボタン
おまかせチャンネルのMIXチャンネル機能に使います(44ページ)。

⑪ ホームボタン

ホームメニューからファンクションを選んで決定します。

↑/↓/←/→ボタンでファンクションを選び、決定ボタンを押します。

ホームメニューを消すには、決定ボタンを押す前にホームボタンまたは戻るボタンを押します。

⑫ 消音ボタン

音声を消します。

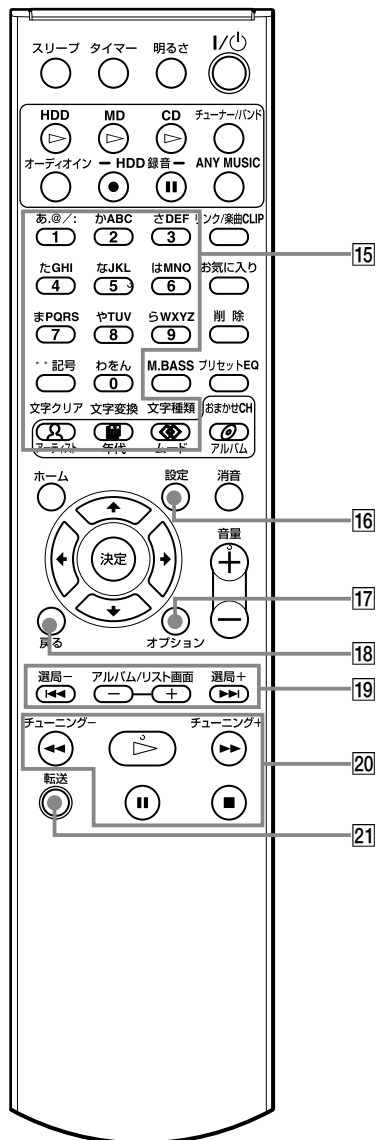
⑬ 音量+*、音量-ボタン

本機の音量を調節します。

⑭ メニュー操作ボタン

メニューを選んで決定します(19ページ)。

- ↑、↓、←、→ボタン
項目の選択や設定値を変更するときに使います。
- 決定ボタン
操作を決定するときに使います。



*のついたボタン(数字ボタンの「5」、共通▷(再生)ボタン)には、凸点(突起)が付いています。操作の目印として、お使いください。

15 数字*/文字入力ボタン

再生時の曲番の指定や文字入力に使用します(67ページ)。

16 設定ボタン

設定メニューを表示します(19ページ)。時計やネットワーク設定など、システムの設定を行います。

17 オプションボタン

オプションメニューを表示します(19ページ)。使用しているファンクションに合わせてメニューの内容が変わります。

18 戻るボタン

操作中の画面をひとつ前の画面に戻します。

19 ◀◀・選局-, ▶▶・選局+, アルバム/リスト画面+, アルバム/リスト画面- ボタン

- ◀◀、▶▶ボタン
曲の頭出しに使用します。
- 選局+, 選局- ボタン
ラジオ局のプリセット番号の選択に使用します。
- アルバム/リスト画面+, アルバム/リスト画面- ボタン
メイン画面では、アルバムまたはグループを選びます。リスト画面では、リスト表示全体を上下に移動します(38ページ)。

20 ファンクション共通操作ボタン

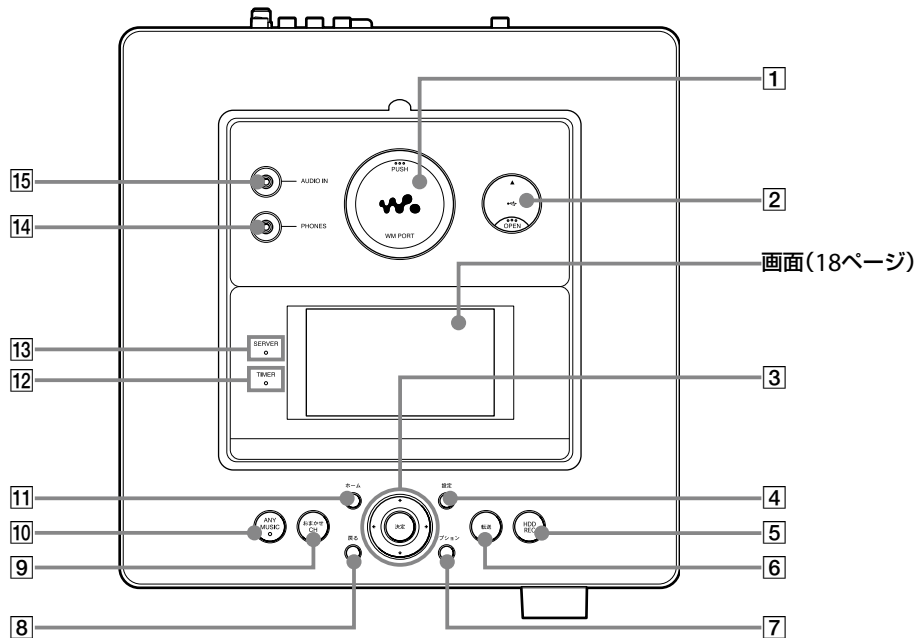
各ファンクション共通で使うボタンです。

- ▷(再生)ボタン*
- ◀◀(早戻し)/チューニング-, ▶▶(早送り)/チューニング+ボタン
- ||(一時停止)ボタン
- ■(停止)ボタン

21 転送ボタン

"ウォークマン"/MD*/ポータブル機器への転送に使用します(33ページ)。

本体上面



1 “ウォークマン”アタッチメント取り付け部(WM-PORT)

“ウォークマン”と接続するときに、“ウォークマン”に付属のアタッチメントを取り付けます。

2 USB端子

USBメモリなどのポータブル機器やUSB無線アダプターなどをつなぎます。

3 メニュー操作ボタン

メニューを選んで決定します。

- ↑、↓、←、→ボタン
項目の選択や設定値を変更するときに使います。
- 決定ボタン
操作を決定するときに使います。

4 設定ボタン

設定メニューを表示します(19ページ)。
時計やネットワーク設定など、システムの設定を行います。

5 HDD REC ●ボタン

HDDジュークボックスに録音します。

6 転送ボタン

“ウォークマン”/MD*/ポータブル機器への転送に使います(33ページ)。

7 オプションボタン

オプションメニューを表示します。使用しているファンクションに合わせてメニューの内容が変わります。

8 戻るボタン

操作中の画面をひとつ前の画面に戻します。

9 おまかせCHボタン

おまかせチャンネルを選んで再生します(44ページ)。

10 ANY MUSICボタン(80ページ)

11 ホームボタン

ホームメニューからファンクションを選んで決定します。

↑/↓/←/→ボタンでファンクションを選び、決定ボタンを押します。

ホームメニューを消すには、決定ボタンを押す前にホームボタンまたは戻るボタンを押します。

12 タイマーランプ

タイマーの状態を表します。

13 SERVERランプ

本機をサーバ(親機)として使用するとき、接続されたクライアント機器(子機)で曲を再生中に黄緑色に点灯します(86ページ)。

14 PHONES(ヘッドホン)端子

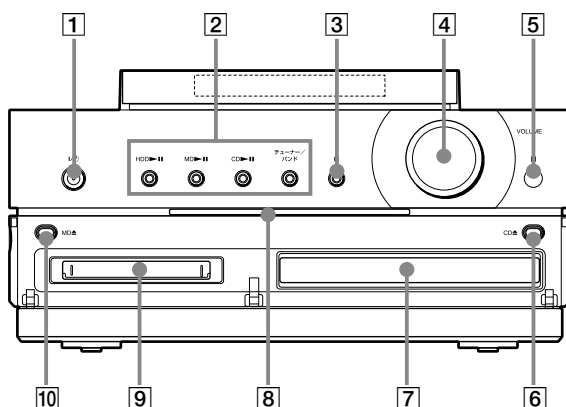
ヘッドホンをつなぎます。

15 AUDIO IN端子

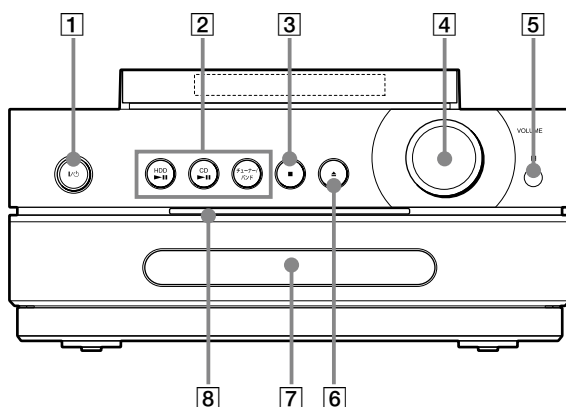
別売りの機器のアナログ出力端子をつなぎます。

本体前面

NAS-M95HD/M75HD



NAS-D55HD



1 I/O (電源)ボタン、オン/スタンバイランプ

- I/O (電源) ボタン
電源を入れる、または切ります (23ページ)。
- オン/スタンバイランプ
本体の電源状態 (23ページ) を表します。
 - 緑: 電源オン
 - 赤: 標準起動スタンバイ
 - オレンジ: 高速起動スタンバイまたは自動解析中 (42ページ)

2 ダイレクトプレイボタン

- スタンバイ時に電源が入り、ファンクションが切り換わります。
- HDD▶▶ボタン (38ページ)
 - MD▶▶ボタン* (50ページ)
 - CD▶▶ボタン (47ページ)
 - チューナー/バンドボタン (52ページ)

3 ■ (停止)ボタン

各種の操作の停止に共通に使えます。

4 ボリュームダイヤル

音量を調整します。

5 リモコン受光部

6 CD▲ボタン

ディスクトレイが開閉します (47ページ)。

7 ディスクトレイ

CDを挿入します (47ページ)。

8 イルミネーションランプ

電源オンのときに点灯し、自動解析中 (42ページ) はゆっくり点滅します。

9 MDスロット

MDを挿入します (50ページ)。

10 MD▲ボタン

MDを取り出します (50ページ)。

* NAS-M95HD/M75HDのみ

画面

ここでは、各画面の主な項目について説明します。

メイン画面



↑/↓/←/→
ボタンを押す。

リスト画面



←ボタンを繰り返し押し、一番左の階層アイコンを選んで、戻るボタンを押す。または、60秒間何もしない。

1 曲名

2 アーティスト

3 アルバム

4 階層アイコン

どの階層を表示しているかを示します。← / →ボタンを押すと、階層が変わります。

5 曲アイコン

- : ATRAC音声の曲
- : "エニーミュージック" からダウンロードした曲(ATRAC音声)
- : MP3音声の曲
- : リニアPCM音声の曲

ANY MUSIC/チューナー /オーディオイン/おまかせチャンネルの各ファンクションにはリスト画面はありません。

ホームメニュー

ホームボタンを押すと、表示されます。

NAS-M95HD/M75HD

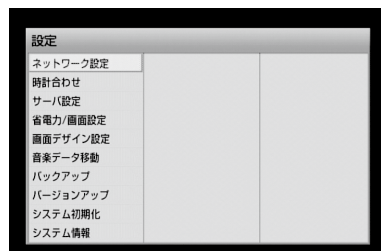


NAS-D55HD



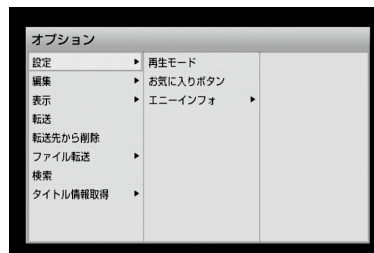
設定メニュー

設定ボタンを押すと、表示されます。



オプションメニュー

オプションボタンを押すと、表示されます。



各メニューの操作方法

- 1 メニューボタン(ホーム/オプション/設定)を押す。
- 2 ↑/↓/←/→ボタンを押して項目を選ぶ。
- 3 決定ボタンを押す。

接続する

モニター出力端子

外部のテレビに接続するときに使います。
22ページをご覧ください。

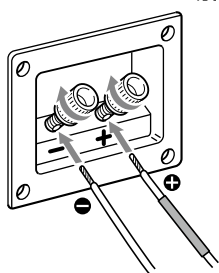
ネットワーク端子

ネットワークに接続するときに使います。
ネットワークの接続については、70ページをご覧ください。

USB端子

USBメモリなどのポータブル機器やUSB無線
アダプターなどをつなぐときに使います。
73ページをご覧ください。

NAS-M95HDの場合



端子の穴にスピーカーコードを差し込み、矢印方向に回して締めます。

NAS-D55HDの場合

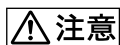
スピーカーコードは直出しです。

金属導線部(スピーカーコードがむき出しになっている部分)を確実にはさむ。

黒
赤

本体のイラストは
NAS-M75HDを使用しています。

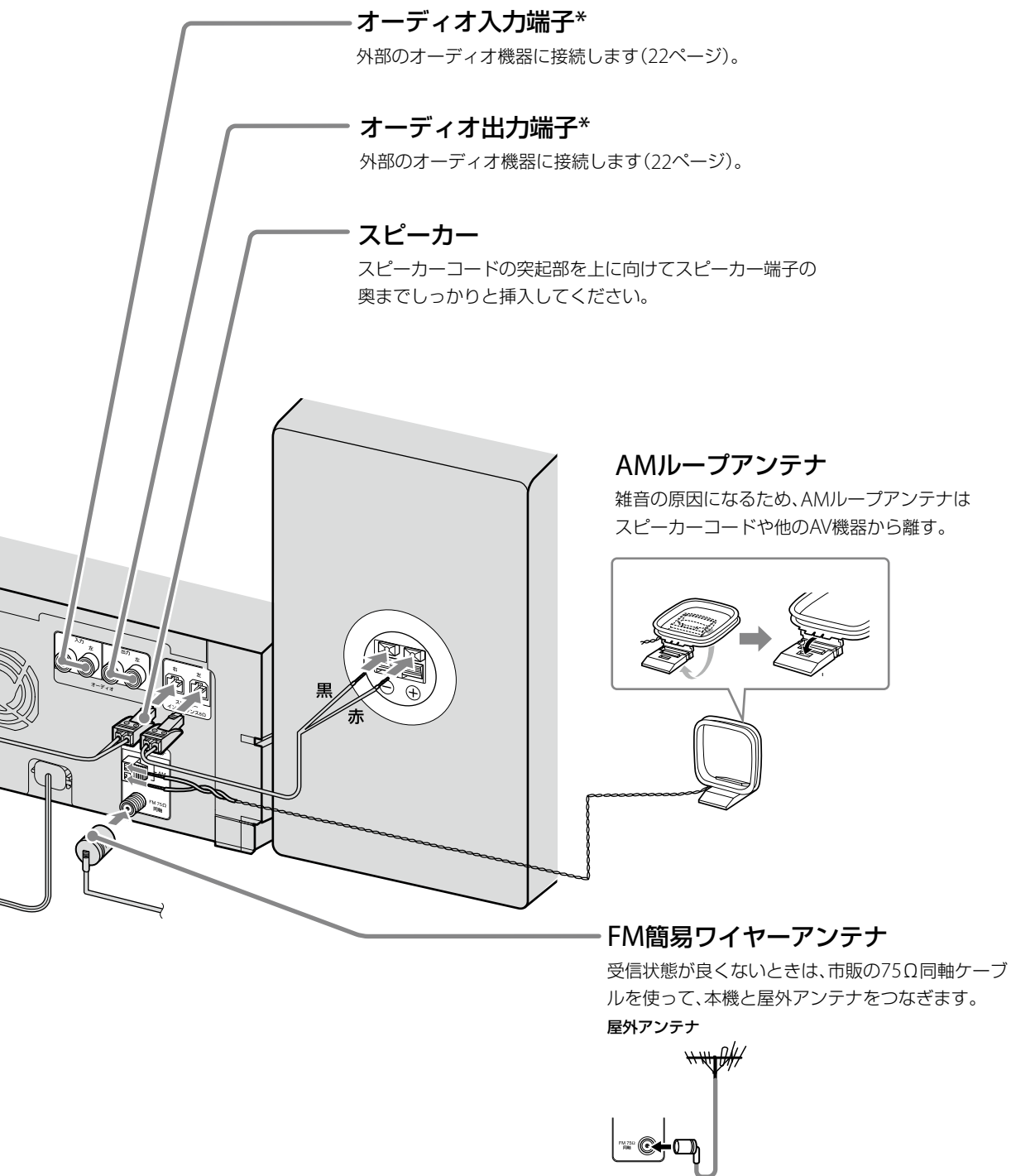
電源コード



注意

すべての機器をつないだあと、本機の電源コードを、コンセントにつないでください。
自動的に電源が入り、初期設定が始まります。自動的に電源が切れるまでお待ちください。本機の状態によっては、初期設定に数分かかる場合があります。

初期設定中に本機の電源を切らないでください。
故障の原因になります。



* NAS-M95HD/M75HDのみ

その他の端子について

オーディオ入力端子*

音声接続コード(別売り)を使って、別売りのオーディオ機器(カセットデッキなど)をつなぎます。本機でアナログ音声を再生、録音できます。

オーディオ出力端子*

音声接続コード(別売り)を使って、別売りのオーディオ機器(カセットデッキなど)をつなぎます。本機からアナログ音声出力されます。

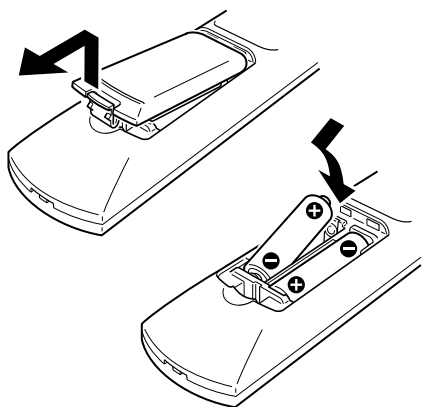
モニター出力端子

映像ケーブル(別売り)を使って、別売りのテレビなどをつなぎます。本機から画面の映像信号が出力されます。

リモコンに電池を入れる

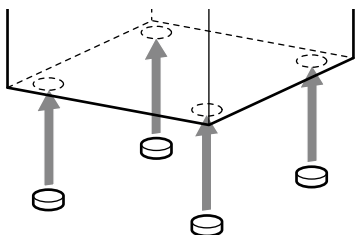
⊕と⊖の向きを合わせて、リモコンに単3形乾電池(R6、付属) 2個を入れます。

リモコン操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。

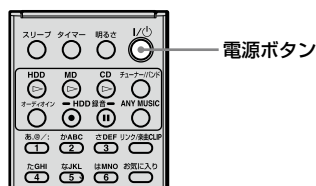


スピーカーフットを取り付ける

スピーカーが滑るのを防ぎ、安定して設置するために、スピーカー底面の4隅に付属のスピーカーフットを取り付けてください。



電源を入れる



1 本機の電源コードをコンセントにつなぐ。

自動的に本機の電源が入り、本機の初期設定が始まります。初期設定が完了すると、自動的に電源が切れます。

2 電源ボタンを押す。

本体の電源が入ります。

！ご注意

初期設定中に本機の電源コードを抜かないでください。故障の原因になります。

電源を切るには

本体またはリモコンの電源ボタンを押します。

電源ボタンを押してもすぐに電源が切れない時がありますが、これは本機がHDD（ハードディスク）のデータを自動解析しているためです（42ページ）。自動解析を中止してすぐに電源を切りたいときは、■ボタンを押します。電源を入れたいときは、もう一度電源ボタンを押します。また、本機をサーバ（親機）としてクライアント（子機）で音楽の再生中は、電源ボタンを押してもサーバ機能が継続され、電源が切れません（画面表示が消え、イルミネーションランプがゆっくりと点滅します）。サーバ機能を停止して電源を切るには、■ボタンを押します。

💡ヒント

本機のスタンバイモードには、高速起動スタンバイと標準起動スタンバイがあります。詳しくは95ページ「スタンバイモードの設定をする」をご覧ください。

本機の動作モードについて

本機には通常動作、高速起動スタンバイ、標準起動スタンバイ、自動解析動作の4つ動作状態があります。

スタンバイモード設定が高速起動スタンバイの場合、電源が切れていても、ときどきファン動作することがありますが、故障ではありません。

通常動作

電源が入っている状態です。

高速起動スタンバイ

次回の起動を高速にするために、内部の一部が稼働している状態でスタンバイに入ります。その際、本体背面のファンは本体内の温度を下げるために、時々動作することがありますが、異常ではありません。スタンバイモードの設定は設定メニューの「省電力/画面設定」で行なってください（95ページ）。

標準起動スタンバイ

次回起動に時間がかかりますが、スタンバイ時の消費電力は最小になるエコモードです。スタンバイモードの設定は設定メニューの「省電力/画面設定」で行なってください（95ページ）。本機のサーバ機能が使えません（86ページ）。

自動解析動作

本機のHDDジュークボックスに取込んだ楽曲の解析を行なって、おまかせチャンネルで各チャンネルに曲を分類するモードです。自動解析については、42ページをご覧ください。オン/スタンバイランプはオレンジ色に点灯し、イルミネーションランプがゆっくりと点滅します。自動解析を中止したいときは、■ボタンを押してください。自動解析を中断し、設定されたスタンバイモードに入ります。

	通常動作	高速起動スタンバイ	標準起動スタンバイ	自動解析中
オン/スタンバイランプ	緑	オレンジ	赤	オレンジ
イルミネーションランプ	点灯	消灯	消灯	ゆっくり点滅
画面	表示あり	消灯(表示なし)	消灯(表示なし)	消灯(表示なし)
ファン	回転	回転(温度により停止)	停止	回転
サーバ機能	○	○	×	○

時計を合わせる

本機の機能を正しく使うには、時計を正しく合わせておく必要があります。以下の手順で時計を合わせてください。インターネットに接続して自動で合わせることもできます(84ページ)。

- 1 設定メニューで[時計合わせ]を選び、決定ボタンを押す。



- 2 [インターネットによる自動時計合わせを利用]を選び、決定ボタンを押す。

- 3 [しない]を選び、決定ボタンを押す。

- 4 [日時入力]を選び、決定ボタンを押す。

- 5 ←/→ボタンで年/月/日を選び、↑/↓ボタンで日にちを合わせる。

- 6 ←/→ボタンで時/分を選び、↑/↓ボタンで時刻を合わせ、決定ボタンを押す。

- 7 [タイムゾーン]設定から[GMT+9 東京, Seoul]を選ぶ。

- 8 [夏時間]設定を選び、[標準]を選ぶ。

- 9 [設定反映]を選び、決定ボタンを押す。

現在時刻に反映されます。

- 10 [閉じる]を選び、決定ボタンを押す。

【ご注意】

電源を入れたあとに時計合わせ画面が表示された場合、何も操作しないで一定時間たつと自動的に画面が消えます。時刻を正しく合わせていないときは、設定メニューで正しく設定し直してください。

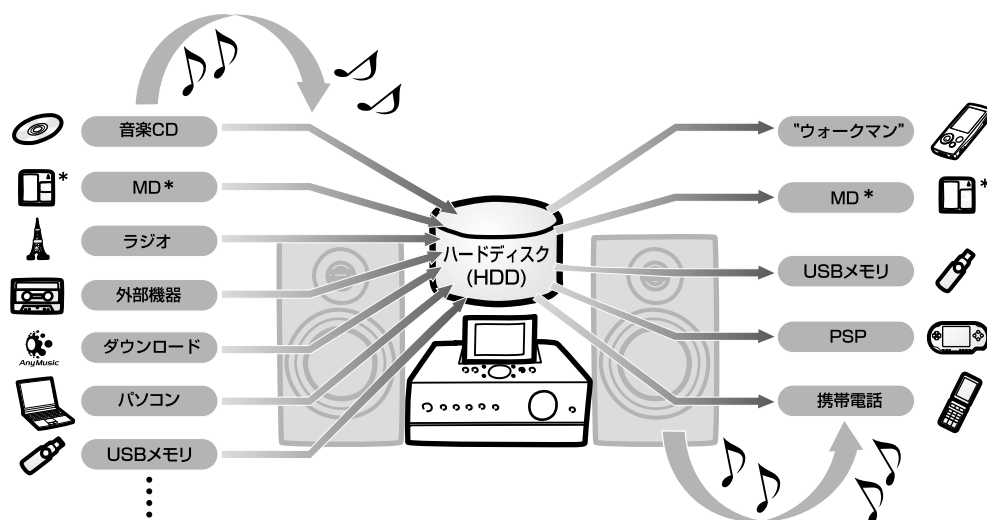
HDDジュークボックスへの取込みと転送について

多彩な音源から音楽をHDDジュークボックスに取込み、本機で音楽データを一括管理することができます。また、HDDジュークボックスに取込んだ音楽を“ウォークマン”などのお好みの機器に転送して持ち出すこともできます。

CD、ラジオからMD*や“ウォークマン”などに直接録音することはできません。HDDジュークボックスに取込んでから転送します。

パソコンに保存されている音楽データを取込むには、あらかじめネットワークの接続/設定が必要です。詳しくは、70ページをご覧ください。

音楽をHDDジュークボックスに取込む



HDDジュークボックスに取込んだ音楽を
機器に転送する

取込み時に設定可能なフォーマット

取込み元によって、取込める単位や、フォーマットが異なります。

取込み元	取込める単位	取込み可能なフォーマット*1			ビットレート
		リニアPCM*2	ATRAC	MP3	
CD	曲、アルバム	○	○	○	フォーマットごとに選択可能
MD*	全曲のみ	○	○	○	
チューナー	—	○	○	○	
オーディオイン	—	○	○	○	
"ウォークマン" PC共有フォルダ USBメモリ	フォルダ	取込み元と同じ			取込み元と同じ

*1 MD*に転送する場合、ATRAC3plus形式、MP3形式、リニアPCM形式の音楽データは、ATRAC3形式に自動変換して転送されます。

*2 リニアPCM形式で取込んだ音楽データは、あとからMP3形式やATRAC形式に変換できます。

！ご注意

- ATRAC形式で取込んだ場合、USBメモリに転送できません。USBメモリに転送する場合は、あらかじめMP3形式で取込んでください。
- WM-PORT、上面、後面のUSB端子に接続した場合、①WM-PORT ②上面 ③後面の順に優先的に認識されます。

転送できる単位/フォーマット

対応機種については、<http://www.sony.co.jp/netjuke-support/>をご覧ください。

転送先	転送できる単位	転送可能なフォーマット		
		リニアPCM*1	ATRAC	MP3
"ウォークマン"	フォルダ、アルバム、プレイリスト、曲	○	○	○
USBメモリ	フォルダ、アルバム、プレイリスト、曲	○	—	○
MD*	アルバム、プレイリスト、曲	○	○	○*2
PSP	アルバム、プレイリスト、曲	○	○	○*3
携帯電話	携帯電話の機種ごとに異なります。サポートページをご覧ください。			

*1 リニアPCM形式のファイルは変換して転送できます。(34ページ)

*2 ATRAC形式に自動変換されて転送されます。

*3 「メモリースティックオーディオ」として転送するとOMA形式のファイルとなります。
「USBメモリ(MSC)」として転送するとMP3形式のファイルとなります。

！ご注意

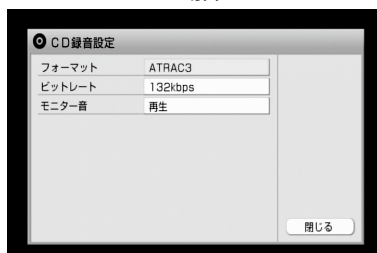
- 転送回数が制限されている音楽データを転送するときは、あらかじめ転送できる回数を確認してください(34ページ)。
- WM-PORT、上面、後面のUSB端子に接続した場合、①WM-PORT ②上面 ③後面の順に優先的に認識されます。
- MP3形式のファイルは、USBメモリに書き出すことができます。詳しくは、34ページをご覧ください。

録音/取込みの設定をする

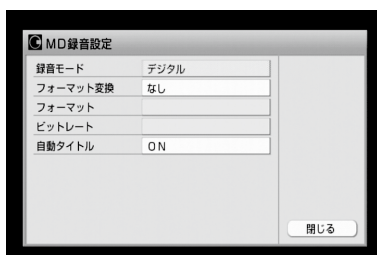
CDやMD*、ラジオなどを録音する際に、トラックマークや自動タイトルなどの設定を変更することができます。録音先のフォルダを変更することもできます。

1 各ファンクションのオプションメニューで[設定] - [録音]を選ぶ。

CDファンクションの場合



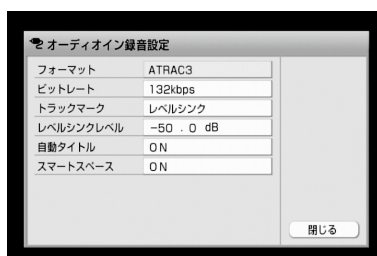
MDファンクション*の場合



チューナーファンクションの場合



オーディオインファンクションの場合



2 設定したい項目を選ぶ。

3 各項目を設定する。

プルダウンメニューから「設定項目一覧」の表にある各項目を選んで設定します。

4 [閉じる]を選ぶ。

設定項目一覧

フォーマット/ビットレート

フォーマットはHDDジュークボックスに録音する曲のデータ形式です。ビットレートは録音するときの情報量を表します。

フォーマット	ビットレート
◆ ATRAC3	66kbps
	105kbps
	◆ 132kbps
ATRAC3plus	48kbps
	64kbps
	256kbps
PCM	—
MP3	96kbps
	128kbps
	160kbps
	192kbps
	256kbps

(◆:お買い上げ時の設定)

モニター音再生(CDのみ)

CDをHDDジュークボックスに録音する場合、再生しながら録音するかどうかを選びます。録音が終了すると、モニター音再生も止まります。

◆ 再生	先頭曲から連続再生
イントロ再生	先頭曲から最終曲までの各曲をはじめの数秒再生(次の曲の録音が始まった時点で次の曲の再生が始まります。)
OFF	無音状態で録音する。 モニター音再生時よりも録音速度が速くなります。

(◆:お買い上げ時の設定)

* NAS-M95HD/M75HDのみ

スマートスペース(オーディオのみ)

◆ ON	3秒以上の無音部分を自動的に3秒にする。無音状態が30秒間続くと本機は録音一時停止状態になり、10分間続くと録音を停止する。無音部分のレベル検出はレベルシンクレベルの値で行う。
OFF	スマートスペース機能を使わない。

(◆:お買い上げ時の設定)

トラックマーク(オーディオン、チューナーのみ)

チューナーやオーディオンから録音するとき、トラックマークが自動的につきます。トラックマークの間隔を設定します。オートの場合、ラジオの音楽とトークを判別し、トラックマークがつきます。

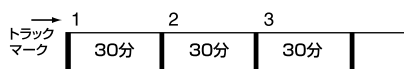
チューナー

10分	設定した時間単位でトラックマークがつく。
◆ 30分	
60分	
120分	
レベルシンク	1.5秒の無音があるとトラックマークがつく。
オート	ラジオの音楽とトークを判別する。

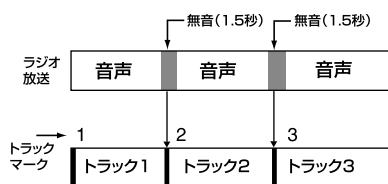
(◆:お買い上げ時の設定)

設定例

例:「30分」に設定



例:「レベルシンク」に設定



音楽とトークの自動判別について(ラジオ録音)

「トラックマーク」設定が「オート」のとき、音楽とトークを判別し、別々のトラックとして録音されます。



HDDジュークボックスを再生する際に、モードを変えると、トークのみ、音楽のみをまとめて再生することができます(40ページ)。

「オート」設定での音楽とトークの判別は完全なものではありません。場合によっては正しく判別できないことがあります。

ヒント

「トラックマーク」の設定が「オート」のときは、以下のようになります。

- HDDジュークボックスに録音したラジオの音声のタイトル名は、自動的に「[T] (トーク) または [M] (音楽) 日付 録音開始時刻 ラジオ局名(登録されていない場合は、バンドと周波数)」になります。
- 録音したものは、おまかせチャンネルのエアチェック (Talk)/(Music)チャンネルに分類されます。

オーディオン

10分	設定した時間単位でトラック
30分	マークがつく。
60分	
120分	
◆ レベルシンク	1.5秒の無音があるとトラック
	マークがつく。

(◆:お買い上げ時の設定)

レベルシンクレベル(オーディオン・チューナーのみ)*1

入力信号の検出レベルが調節できます。

設定範囲:	雑音が多く、曲番がつきにくいときは設定レベルを上げると曲番がつきやすくなる。お買い上げ時は-50.0dBに設定。
-96dB ~ 0dB	
◆ -50.0dB	

(◆:お買い上げ時の設定)

*1 「トラックマーク」の設定が「レベルシンク」の場合のみ

自動タイトル(オーディオン・MD*のみ)

◆ ON	曲の波形データをもとに曲を検索し、自動でタイトル情報を取得する*1。
OFF	自動タイトルを使わない。

(◆:お買い上げ時の設定)

*1 オーディオの録音では「トラックマーク」の設定が「レベルシンク」の場合のみ

録音モード(MD*のみ)

◆ デジタル	設定されたフォーマット・ビットレートで高速録音。再生音は聞こえない。
アナログ	設定されたフォーマット・ビットレートで、再生音を聞きながら等速録音。

(◆:お買い上げ時の設定)

フォーマット変換(MD*のみ) *1

あり	設定されたフォーマット・ビットレートで録音。 録音時間がかかる場合があります。
◆ なし	曲の録音モードがLP2 ステレオ、ステレオ、モノラル時、ATRAC3 (132kbps)で録音。 曲の録音モードがLP4ステレオ時、ATRAC3 (66kbps)で録音。

(◆:お買い上げ時の設定)

*1 「録音モード」が「デジタル」の場合のみ

！で注意

- 録音設定は録音中には設定できません。
- スマートスペース、レベルシンクは、曲の長さが16秒以上の場合だけ有効になります。

録音先のフォルダを変更する

CDやMD*、ラジオ、外部機器から録音するときに、オプションメニューの[設定] - [録音先]から以下の項目を設定することができます。

◆ マイライブラリ	お買い上げ時の設定
フォルダ	プルダウンメニューでフォルダの一覧が表示されます。 新しくフォルダを追加したい場合は新規フォルダを選ぶ。

！で注意

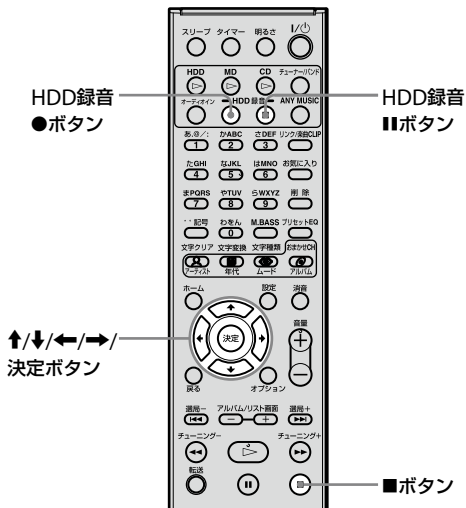
録音先設定は録音中および録音一時停止中には設定できません。

👁️ヒント

録音先設定はCD/MD*/チューナー /オーディオインの各ファンクションで独立して設定できます。

HDDジュークボックスに取込む

CD/MD*/ラジオ/外部機器から録音したり、USBメモリからファイルを取込みます。PC共有フォルダからファイルを取込んだり(83ページ)、インターネット接続して音楽データをダウンロードする(80ページ)こともできます。



CD/MD*/ラジオ/外部機器から録音する

1 録音の準備をする。

録音するファンクションを選びます。操作方法については下記をご覧ください。

- CDの場合：
「CDを再生する」(47ページ)をご覧ください。
- MD*の場合：
「MDを再生する」(50ページ)をご覧ください。
- ラジオの場合：
「ラジオを聞く」(52ページ)をご覧ください。
- 外部機器の場合：
「外部機器をつないで聞く」(54ページ)をご覧ください。

2 録音設定を変更したい場合は、オプションメニューで変更する(27～29ページ)。

ファンクションによって、設定できる項目は異なります。

3 HDD録音●ボタンを押す。

録音が始まります。

CDの場合、録音が終わると自動的にCDのメイン画面に戻ります。

MD*の場合、自動タイトル設定が「ON」のとき、録音終了後自動でタイトル名を取得したあと、自動的にMDのメイン画面に戻ります。

外部機器の場合、「自動タイトル」設定が「ON」のときおよび「トラックマーク」設定が「レベルシンク」のとき、録音終了後自動でタイトル名を取得したあと、自動的にメイン画面に戻ります。

ラジオおよび外部機器の場合、録音を止めるには■ボタンを押します。

ヒント

インターネットに接続している場合、最新のタイトル情報を検索/取得できます。ネットワーク接続については詳しくは、70ページをご覧ください。

録音を途中で止めるには

■ボタンを押します。

録音を一時停止するには(ラジオ、外部機器のみ)

HDD録音■ボタンを押します。

注意

CDからの録音時

CDの再生時に比べ、CD録音時に振動や音が大きくなる場合がありますが、高速回転でHDDジュークボックスに録音するため、故障ではありません。また、CDの種類によっては、振動や音の大きさが異なる場合があります。

MD*からの録音時

- 録音する曲を選んだり、途中から録音することはできません。最初の曲から録音されます。
- アナログ録音時、8秒以下の曲は、次の曲とつながって1つの曲として録音されます。
- 「録音モード」設定が「デジタル」のとき、録音を途中で止めると、中止の一つ前の曲までが録音されます。
- PCや本機などから転送された曲が含まれるMD*をHDDジュークボックスに録音すると、自動的にアナログ録音になります。

ヒント

- 「自動タイトル」設定がOFFのとき、MD*に記録されているディスク名と曲名がそのままHDDジュークボックスに記録されます。
- 2時間を超える曲が含まれるMD*は、自動的にアナログ録音になります。
- ラジオまたは外部機器からの録音中にHDD録音●ボタンを押すと、曲番がつきます(ラジオの場合は「トラックマーク」の設定が「オート」以外の場合)。曲番をつける間隔は、最小16秒です。
- 外部機器からの録音時、「自動タイトル」設定がOFFのときは、日付・時刻などが記録されます。

曲を選んで録音するには(CD)

- 1 CDファンクションにする。
- 2 CDを入れる。
- 3 録音設定を変更したい場合は、オプションメニューで変更する(27～29ページ)。
ファンクションによって、設定できる項目は異なります。
- 4 CDのメイン画面でHDD録音■ボタンを押す。
チェックマーク のついている曲が録音されません。
- 5 録音する曲を選ぶ。
録音しない曲は決定ボタンを押して、チェックマークをはずします。
- 6 HDD録音●ボタンを押す。
録音が始まります。

ヒント

すべての曲を選ぶには、オプションメニューで[トラック選択] - [全選択]を選びます。また、チェックマークをすべてはずすには、[トラック選択] - [全解除]を選びます。

USBメモリから取込む

USBメモリや“ウォークマン”などに保存されている曲を本機のHDDジュークボックスに取込むことができます。

注意

取込めるファイル形式はMP3形式またはOMA形式(著作権保護なし)のみです。

- 1 ホームメニューで[HDDジュークボックス]を選ぶ。

2 USBメモリをUSB端子につなぐ。

つなぐUSBメモリの取扱説明書もあわせてご覧ください。

3 オプションメニューで[ファイル転送] - [取込み] - [USBメモリ]を選ぶ。

WM-PORT、上面、後面のUSB端子に接続した場合、①WM-PORT ②上面 ③後面の順に優先的に認識されます。

目的の機器が見つからない場合は、優先順位の高いUSB端子に接続された機器をはずしてください。メディア選択画面が表示された場合はメディアを選んでください。(接続したUSBメモリにメディアが1つしかない場合はこの画面は表示されません。)

4 取込みたいアルバムを選ぶ。

選択したアルバムにチェックマークが入ります。選択後、もう一度決定ボタンを押すとチェックをはずすことができます。

5 [取込み]を選ぶ。

注意

一度に取込めるのは、最大10,000曲です(104ページ)。

パソコンから取込む

パソコンに保存している音楽を本機に取込むことができます。以下の手順に従って操作してください。

1 ネットワークの接続/設定をする。

詳しくは、70ページをご覧ください。

2 パソコンで共有フォルダを設定する。

詳しくは、96ページをご覧ください。

3 ファイルを取込む。

詳しくは、83ページをご覧ください。

* NAS-M95HD/M75HDのみ

HDDジュークボックスから 転送する

本機のHDDジュークボックスに保存されている音楽データを、MD*や“ウォークマン”(ATRAC AD)などのポータブル機器に転送できます。対応機種については、<http://www.sony.co.jp/netjuke-support/>をご覧ください。

🔔 ヒント

MD*に転送するとき、グループ内に入っている曲は、グループ設定が解除されて、曲単位で転送されます。

🚫 ご注意

- ポータブル機器にAC/パワーアダプターが付属している場合は、AC/パワーアダプターをつないで家庭用電源でお使いになることをおすすめします。
電池で使う場合は、電池の残量が充分にあることを確認してください。電池の残量不足による不具合や、転送の失敗、音楽データの破壊などについては保証いたしませんので、ご注意ください。
- “ウォークマン”(ATRAC AD)やUSBで接続できるポータブル機器に転送中は、USBケーブルを抜かないでください。本機および“ウォークマン”(ATRAC AD)やUSBで接続できるポータブル機器が正しく動作しなくなることがあります。
- MD*に転送する場合、録音モードをステレオ録音にした場合やATRAC3plus形式、MP3形式の曲を自動変換して転送する場合は、転送に時間がかかります。

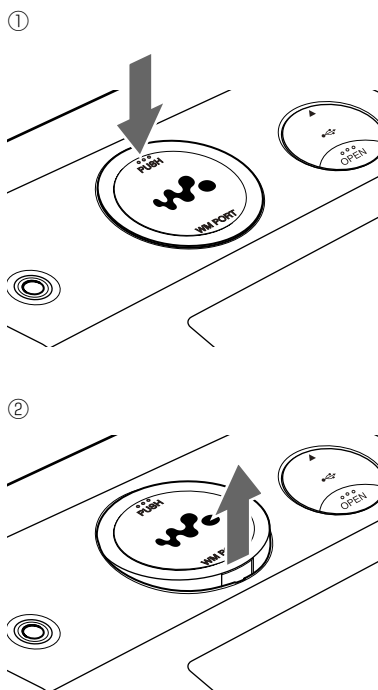
“ウォークマン”(ATRAC AD)などに転送した曲を削除するときの注意

“ウォークマン”(ATRAC AD)などに転送した曲を削除するときは、本機と接続して削除してください(37ページ)。

“ウォークマン”用のアタッチメントを取り付ける

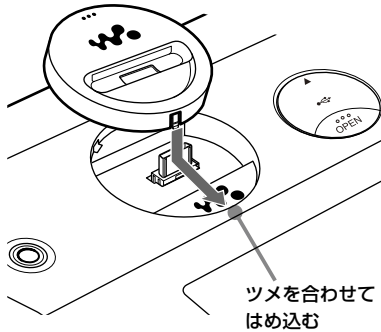
本体上面に“ウォークマン”用のアタッチメントを取り付けて、WM-PORT搭載の“ウォークマン”を挿して使うことができます。

1 本体の“ウォークマン”アタッチメント取り付け部(WM-PORT)のPUSH部分を押し取りはずす。



2 “ウォークマン”用のアタッチメント (“ウォークマン”に付属)を下図のように装着する。

お使いの“ウォークマン”によって、アタッチメントの形状が異なる場合があります。



4 転送ボタンを押す。

転送可能な機器が複数接続されているときは、転送先を選ぶ画面が表示されます。

このとき、“ウォークマン”(ATRAC AD)およびUSB接続端子に接続された機器は1つしか表示されないため、①WM-PORT ②上面 ③後面の順に優先的に認識されます。



📌 ヒント

選んだ設定がその転送機器ごとに記憶され、次回以降転送先が同じ場合は、転送先を選択する必要はありません。ただし、“ウォークマン”などUSBで接続できる機器とMD*の両方を認識した場合には、転送先を選ぶ画面が表示されます。違う設定で転送をしたい場合は、オプションメニューで[転送]を選んで転送先を指定してください。

“ウォークマン”/MD*/ポータブル機器に転送する

1 転送先を準備する。

次のいずれかの準備をします。

- MD*を入れる。
- WM-PORT搭載の“ウォークマン”を本体上面のWM-PORTに差し込む。
- USB接続できる“ウォークマン”(ATRAC AD)やポータブル機器を本体上面または後面のUSB端子に接続する(ポータブル機器の取扱説明書もあわせてご覧ください)。

2 HDDジュークボックスファンクションを選ぶ。

3 転送したいアルバムまたはプレイリスト、グループ、曲などを表示させる。

5 転送したいアルバムまたはプレイリスト、グループ、曲などを選択し、[実行]を選ぶ。または転送ボタンを押す。

転送時の設定を変更(34ページ)した場合は、設定変更後に転送対象を選んでください。

転送を途中で止めるには

戻るボタンを押します。ただし、転送を途中で止めると、時間がかかることがあります。

📌 ヒント

- “ウォークマン”(ATRAC AD)の削除予定リストに曲が登録されていると、本機および“ウォークマン”(ATRAC AD)に確認メッセージが表示されます。
- 本機のプレイリストを“ウォークマン”(ATRAC AD)に転送すると、“ウォークマン”(ATRAC AD)内でプレイリストとして認識されます。

* NAS-M95HD/M75HDのみ

転送できる回数について

オプションメニューで[表示]－[トラック情報]を選び、[転送回数制限]を確認します。
転送トラック選択画面で曲番の前に表示されるアイコンでも、転送できる回数を確認できます。

アイコン	アイコンの意味
∞	転送回数に制限なし(ATRAC形式)
3	あと3回以上転送可能(ATRAC形式)
2	あと2回転送可能(ATRAC形式)
1	あと1回転送可能(ATRAC形式)
0	転送不可能(ATRAC形式)
♪M	転送回数に制限なし(MP3形式)
♪P	転送回数に制限なし(リニアPCM形式)

USBメモリにMP3ファイルを書き出す

- 1 USBメモリをUSB端子につなぐ。
つなぐUSBメモリの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 2 ホームメニューで[HDDジュークボックス]を選ぶ。
- 3 転送したいアルバムまたはプレイリスト、グループ、曲などを表示させる。

4 オプションメニューで[ファイル転送]－[MP3書き出し]－[USBメモリ]を選ぶ。

メディア選択画面が表示された場合はメディアを選んでください。(接続したUSBメモリにメディアが1つしかない場合はこの画面は表示されません。)

ヒント

選んだ設定がその転送機器ごとに記憶され、次回以降転送先が同じの場合は転送先を選択する必要はありません。違う設定で転送をしたい場合は、オプションメニューで[転送]を選んで転送先を指定してください。

5 転送したいアルバムまたはプレイリスト、グループ、曲などを選択し、[実行]を選ぶ。または転送ボタンを押す。

転送時の設定を変更(このページ)した場合は、設定変更後に転送対象を選んでください。

転送時の設定を変更する

転送先グループ/フォルダの設定や、リニアPCM形式の音楽データの変換転送設定などを変更することができます。

MD*に転送する場合、リニアPCM形式の音楽データは自動的にATRAC3形式に変換されます。

1 転送対象選択画面を表示させる。

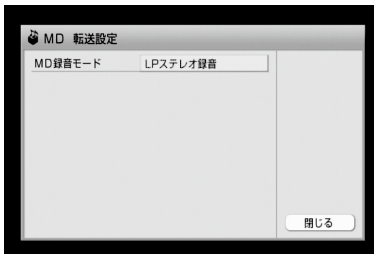


2 [設定]を選び、設定画面で設定を変更する。

■ “ウォークマン” (ATRAC AD) に転送する場合



■ MD* に転送する場合

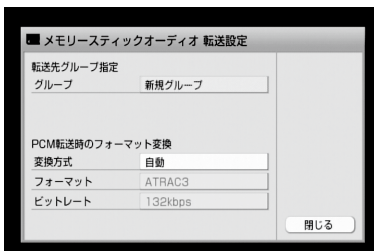


[MD録音モード]を選び、プルダウンメニューから録音モードを選ぶ。

◆ LPステレオ録音	転送する曲がATRAC3形式でビットレートが66kbpsの場合はLP4ステレオで録音されます。それ以外は、LP2ステレオで録音されます。再生するには、MDLPに対応したプレーヤーが必要です。
ステレオ録音	LPステレオ(MDLP)に対応していないMDプレーヤーでも再生できます。

(◆:お買い上げ時の設定)

■ 携帯電話の“メモリースティック”/PSP に転送する場合



- ① [転送先グループ]を選び、プルダウンメニューから転送先グループを選ぶ。

◆ 新規グループ	選ばれている曲を、新しくグループを作って転送します。
転送先グループ(既存グループ)	選ばれている曲を、既にあるグループに転送します。

(◆:お買い上げ時の設定)

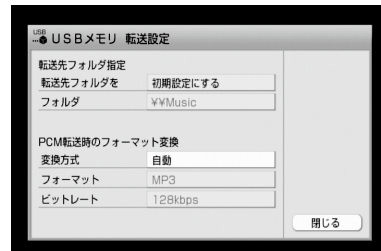
- ② リニアPCM形式の曲を転送する場合は、[変換方式]を選び、プルダウンメニューで[自動]または[フォーマット指定]を選ぶ。

◆ 自動	接続された機器で再生できるフォーマットを、本機が自動で選んで転送します。
フォーマット指定	手順③でお好みのフォーマットとビットレートを選んで転送します。

(◆:お買い上げ時の設定)

- ③ 手順②で[フォーマット指定]を選んだ場合は、[フォーマット]と[ビットレート]のプルダウンメニューからお好みのフォーマットとビットレートを選ぶ。

■ 携帯電話の内蔵メモリに転送する場合



- ① [転送先フォルダを]を選び、プルダウンメニューから転送先フォルダを選ぶ。

◆ 初期設定にする	転送先の音楽データフォルダに保存されます*1
rootに設定する	転送先のルートに保存されます。
指定する	転送先のフォルダ名を変えるときに入力してください。

(◆:お買い上げ時の設定)

*1 機種によっては、音楽データを保存できても再生できないことがあります。

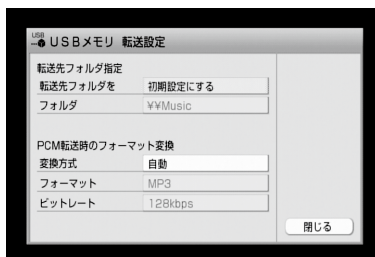
- ② リニアPCM形式の曲を転送する場合は、[変換方式]を選び、プルダウンメニューで[自動]または[フォーマット指定]を選ぶ。

◆ 自動	接続された機器で再生できるフォーマットを、本機が自動で選んで転送します。
フォーマット指定	MP3形式で転送します。(手順③でお好みのビットレートを選ぶことができます。)

(◆:お買い上げ時の設定)

- ③ 手順②で[フォーマット指定]を選んだ場合は、[ビットレート]のプルダウンメニューからお好みのビットレートを選ぶ。

■ USBメモリに転送する場合



- ① [転送先フォルダを]を選び、プルダウンメニューから転送先フォルダを選ぶ。

◆ 初期設定にする	「¥ ¥Music」に保存されます。
rootに設定する	USBメモリのルートに保存されます。
指定する	フォルダ名を入力してください。

(◆:お買い上げ時の設定)

- ② リニアPCM形式の曲を転送する場合は、[変換方式]を選び、プルダウンメニューで[自動]または[フォーマット指定]を選ぶ。

◆ 自動	接続された機器で再生できるフォーマットを、本機が自動で選んで転送します。
フォーマット指定	MP3形式で転送します。(手順③でお好みのビットレートを選ぶことができます。)

(◆:お買い上げ時の設定)

- ③ 手順②で[フォーマット指定]を選んだ場合は、[ビットレート]のプルダウンメニューからお好みのビットレートを選ぶ。

3 [閉じる]を選ぶ。

転送先の曲/プレイリストを削除する

MD*やポータブル機器などの曲を、本機で削除することができます。

削除すると、転送回数制限のある曲の場合、本機から転送できる回数は元に戻ります。

“ウォークマン” (ATRAC AD)のプレイリストを削除することもできます。削除するとプレイリストは消去されますが、プレイリスト内の音楽データは残ります。

！注意

削除が終了するまでは、機器やディスクなどを抜いたり、本機の電源を切らないでください。

！注意

“ウォークマン” (ATRAC AD)の削除予定リストに登録されていると、本機および“ウォークマン” (ATRAC AD)に確認メッセージが表示されます。

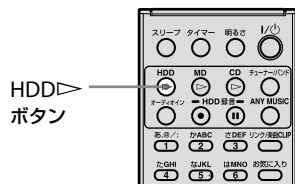
ヒント

本機につないだ“ウォークマン” (ATRAC AD)や携帯電話、PSPのオーディオデータを初期化することもできます。削除設定画面で[初期化]を選びます。

- 1 曲を削除したい“ウォークマン”やポータブル機器をつなぐ。またはMD*を挿入する。
- 2 HDDジュークボックスファンクションのオプションメニューで[転送先から削除]を選ぶ。
削除できる曲の入っている機器が複数接続されているときは、削除先の機器を選ぶ画面が表示されます。
- 3 削除する対象(グループ、曲など)を選ぶ。
- 4 [削除]を選ぶ。
- 5 画面の内容を確認し、決定する。
MD*の場合、曲を削除するか、HDDジュークボックスに戻すか選ぶことができます。
本機から転送した曲の場合は、[HDDジュークボックスに戻す]を選んでください。
[グループのみ削除する]を選んだ場合は、グループ内の曲は削除せずに、グループ設定のみが解除されます。

* NAS-M95HD/M75HDのみ

HDDジュークボックスを再生する



1 HDD▶ ボタンを押す。

曲の再生が始まります。
最後に再生/録音した曲が再生されます。



ヒント

- “エニーインフォ”は、“エニーミュージック”から提供される最新おすすめ情報です。ダウンロードできる音楽の情報やオンラインCDショップのレコメンド情報などが表示されます。リンクボタンを押すと、関連する“エニーミュージック”のページが表示されます。詳しくは「“エニーミュージック”を使う」(80ページ)をご覧ください。
- インターネットに接続していない場合は、メイン画面に「ネット接続でエニーインフォが見られます」と表示されます。

その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
一時停止する	⏸ボタンを押す。もう一度押すか、▶ボタンを押すと、停止した場所から再生が始まります。
曲中の聞きたいところを探す	再生中に◀◀/▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離す。
前後の曲を選ぶ	再生中に◀◀/▶▶ボタンで曲を選ぶ。
曲を選んで再生する	↑/↓/←/→ボタンで曲を選ぶ。または曲番の数字を数字ボタンで押したあと、決定ボタンを押す。 リスト画面で↑/↓ボタンを押し続けると高速でスクロールします。また、アルバム+/-ボタンを押すと画面単位でスクロールします。
アルバムを選ぶ	メイン画面でアルバム+またはアルバム-ボタンでアルバムを選ぶ。
時間表示を切り換える	再生中にオプションメニューで[表示] - [時間表示] - [経過時間]または[残り時間]を選ぶ。

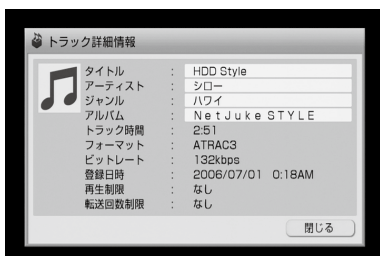
注意

トラック階層以外の階層では、数字ボタンを使って曲番を選ぶことはできません。

アルバムや曲の情報を見る

1 情報を見たいアルバムまたは曲を選ぶ。

2 オプションメニューで[表示]－[アルバム情報]または[トラック情報]を選ぶ。



タイトルまたはアーティスト、ジャンルの全文を見るには、[タイトル]または[アーティスト]、[ジャンル]、[アルバム]を選びます。

お好みの曲を集める(プレイリスト登録)

HDDジュークボックスのいろいろなところに入っているお好みの曲を「プレイリスト」に登録しておく、登録した曲をまとめて再生したり、転送することができます。また、おまかせチャンネルの中の「お気に入りチャンネル」としても楽しむことができます。

1 HDDジュークボックスファンクションで、プレイリストに登録したい曲の再生中にお気に入りボタンを押す。

！で注意

- プレイリストモードで再生中は、お気に入りボタンを押しても曲は登録できません。
- おまかせチャンネルファンクションの「お気に入りチャンネル」では、プレイリスト内の「お気に入りリスト」に登録されている曲のみが再生されます。

ヒント

プレイリストには10,000曲まで登録することができます。

プレイリストに登録した曲を聞くにはプレイリストモードにしてください(40ページ)。または、おまかせチャンネルファンクションで「お気に入りチャンネル」を選びます。

プレイリストを転送するには

「HDDジュークボックスから転送する」(32ページ)の操作手順に従って、プレイリストを転送します。

お気に入りボタンの登録先を変更するには

お買い上げ時は、登録先が、プレイリスト内の「お気に入りリスト」に設定されています。他のプレイリストに登録されるように変更することができます。あらかじめ、新しいプレイリストを作成してください(61ページ)。オプションメニューで[設定]－[お気に入りボタン]を選び、「登録先」から登録したいプレイリストを選びます。

！で注意

おまかせチャンネル内の「お気に入りチャンネル」で聴くためには、「お気に入りリスト」に登録する必要があります。その場合には登録先を変更しないでください。

複数の曲をまとめて登録するには

同じアルバムまたはグループ内の曲をまとめてプレイリストに登録できます。「お気に入りリスト」以外のプレイリストに登録する場合は、あらかじめプレイリストを作成してください(61ページ)。

1 HDDジュークボックスファンクションで、プレイリストに登録したいアルバムまたはグループを選ぶ。

2 オプションメニューで[編集]－[プレイリストに登録]を選ぶ。

選んだ曲のチェックマークがついていることを確認します。

同時に複数の曲を登録するには、登録したい曲にチェックマークをつけます。

3 [選択決定]を選ぶ。

4 登録したいプレイリストを選ぶ。

確認画面が表示されます。

5 [はい]を選ぶ。

選んだ曲がプレイリストに登録されます。

！で注意

同時に複数の曲を登録する場合、同じアルバムまたはグループ内の曲のみ登録できます。

ヒント




おまかせチャンネルをプレイリストに登録することもできます。詳しくは、46ページをご覧ください。

モードを選んで再生する

HDDジュークボックス内の曲を、アルバムごとや、アーティストごとなどのまとまりで表示し、曲を選びます。

1 ホームメニューで[HDDジュークボックス]を選ぶ。

2 ←ボタンを繰り返し押しして[モード]階層にし、モードの種類を選ぶ。

モードの種類	説明
◆アルバム 	アルバムごとに再生します。
アーティスト 	アーティストごとに再生します。
ジャンル 	クラシックやジャズなど、ジャンルごとに再生します。
録音ソース 	CDやMD*、チューナー(ラジオ)などの録音ソースから選んで再生することができます。
フォルダ 	マイライブラリフォルダや自分で新しく作ったフォルダやグループを選び、再生することができます。
プレイリスト 	お好みの曲ばかりを集め、再生することができます。

(◆:お買い上げ時の設定)

ラジオのトラックマーク設定をオートにして録音したとき

アルバムモード/録音ソースモードの場合

ラジオの録音開始から終了まで、音楽/トークが切り替わるたびに新しいトラックとして表示されます。

アーティストモード/ジャンルモードの場合

ラジオの録音開始から終了まで、音楽として認識された部分を1つのアルバムとして、トークとして認識された部分を別のアルバムとしてまとめて表示します。

！ご注意

- モードによってはすべての曲が表示されないことがあります。
- 複数のアーティストの曲が収録されているCDやMD*の場合、アーティストモードやジャンルモードでは別のアルバムとして表示されます。

各モード内でリストを並び替える—ソート

各モード内のリストの表示順を、古い日付順や、50音逆順などに並び替えることができます。

1 並び替えたいモードのリスト画面を表示させる。

2 オプションメニューで[表示]—[並び替え]—[(並び替えかた)]を選ぶ。

リスト	並び替え項目
アルバム	◆ 新しい日付順
	古い日付順
	50音順*
	50音逆順
アーティスト	◆ 50音順
	50音逆順
ジャンル	◆ 50音順
	50音逆順

* あ~ん→A~Z→0~9→記号、の順に並びます。
(◆:お買い上げ時の設定)

！ご注意

フォルダモード、プレイリストモードでは並び替えができませんが、編集により移動することはできます。(63ページ)

アルバムや曲を検索する

HDDジュークボックス内のアルバムや曲を検索できません。

1 オプションメニューで[検索]を選ぶ。
キーワード入力画面が表示されます。

2 キーワード(検索するアルバムまたは曲の名前)を入力する。

3 [アルバム]または[トラック]、[グループ](フォルダモードのみ)を選ぶ。

検索が始まります。

検索が終わると、タイトル検索結果画面が表示されます。

検索したアルバムまたは曲を表示するには

アルバムまたは曲を選びます。

アルバムまたはトラック検索画面に戻るには

[条件入力へ]を押します。

！ご注意

- プレイリストモードでは検索ができません。
- 再生中に検索を実行したときは、再生が止まります。検索終了あとも止まったままです。

おまかせチャンネルを使う

おまかせチャンネルとは、HDDジュークボックス内に録音・ダウンロード・取込みした曲の「雰囲気」を、ソニー独自の12音解析技術を使って解析し、29のチャンネルに分類したものです。例えば朝起きるとき、リラックスしたいとき、元気になるいきたいときなど、時間帯や気分に合わせてチャンネルを選ぶことができます。また、おまかせチャンネルから、アーティスト別、年代別、ムード別、アルバム別の曲を集めて聴ける、「MIXチャンネル」という機能もあります。自動解析は、電源がスタンバイモードのときに行われます。自動解析中は、オン/スタンバイランプがオレンジ色に点灯し、イルミネーションランプがゆっくり点滅します。合計60分のアルバムを解析するには、約15分かかります。

！ご注意

- 解析中は電源コードを抜かないでください。故障の原因となります。
- HDDジュークボックスへたくさんの音楽データを録音・取込みしたあとは、解析に時間がかかることがあります。

💡ヒント

解析の結果、1つの曲が複数のチャンネルに同時に分類されることもあります。

解析を途中で止めるには

■ボタン(停止ボタン)を押す。

解析が中断されます。解析されていない曲は、再度スタンバイモードになったときに解析されます。

自動解析の設定を確認するには

本機は、工場出荷時に、自動解析がONに設定されています。

オプションメニューで[設定] - [基本]を選び、[自動解析]の設定を確認します。

[自動解析]を[OFF]に設定すると、本機がスタンバイモードのときに自動解析は行われません。

手動で曲を解析するには

本機がスタンバイモードでないときに、解析されていないHDDジュークボックスの曲を手動で解析します。

1 おまかせチャンネルファンクションで、オプションメニューから[手動解析]を選ぶ。

ポップアップ画面が表示されます。

2 [実行]を選ぶ。

ポップアップ画面が表示され、解析にかかる時間を見ることができます。

手動解析を止めたいときは、[中止]を選びます。

おまかせチャンネルリスト

CH.	カテゴリ名	チャンネル名	内容
◆ 001	ベーシック	おまかせチャンネル -朝のおすすめ -昼のおすすめ -夕方のおすすめ -夜のおすすめ -深夜のおすすめ	時間帯別のおすすめ曲
◆ 002		お気に入りチャンネル	お気に入りリストの曲をシャッフル
◆ 003		気まぐれチャンネル	全曲をシャッフル
◆ 004		新着チャンネル	取込み日付が新しい曲をシャッフル
005		エアチェック (Music) * ¹	チューナー録音の音楽部分
006		エアチェック (Talk) * ¹	チューナー録音の音楽以外の部分
◆ 101	フィール	ファイン・デイ	元気が良くて楽しい曲など
◆ 102		レイニー・デイ	しっとり、もの悲しい曲など
103		シフトアップ	ノリの良い曲など
◆ 104		スローライフ	ゆったりとした曲など
201	スタイル	ソファラウンジ	ジャズっぽい曲など
202		フォレスト・ホール	クラシック調の曲など
203		ダンスフロア	リズムに乗ったラップ、R&Bなど
204		エクストリーム	激しいロック曲など
205		エモーショナル	バラード調の曲など
206		ノスタルジア	録音が古い感じの曲など
◆ 301	サウンド	アコースティック	アコースティック楽器を使った曲など
302		エレクトロニック	電子楽器を使った曲など
303		インストゥルメンタル	楽器だけの曲など
304		ボーカル	ボーカルの入った曲など
401	シーン: ライフ	おはようタイム	元気でさわやかなお目覚め曲
402		おやすみタイム	静かで穏やかなベッドルーム向けの曲
403		パーティータイム	アップテンポで明るい曲など
404		おそうじタイム	楽しくおそうじしたいときに
501	シーン: ワークアウト	ウォーク	お散歩、ウォーキングに
502		ラン	ジョギング、エクササイズに
503		メディテーション	集中したいときに
◆ 901	エクストラ	季節のチャンネル -季節のチャンネル・春 -季節のチャンネル・夏 -季節のチャンネル・秋 -季節のチャンネル・冬 -メリー・クリスマス	季節やイベントにマッチする曲など
909		隠れた名曲	どのチャンネルにも含まれない曲

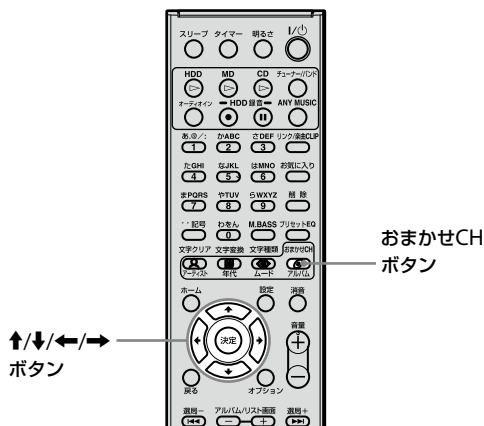
◆該当する曲がなくても常に表示されるチャンネル(お買い上げ時の設定)。

*¹ エアチェックチャンネルは、録音時、「トラックマーク」設定を「オート」にすると登録されます。

MIXチャンネルリスト

リモコンボタンの色	MIXチャンネル名	説明
青	アーティスト MIX	同じアーティストの曲
赤	年代 MIX	年代が近い曲
緑	ムード MIX	雰囲気か似ている曲
黄	アルバム MIX	同じアルバムの曲

おまかせチャンネルで再生する



その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
一時停止する	⏸ボタンを押す。もう一度押すか、⏪ボタンを押すと停止した場所から再生が始まります。
曲中の聞きたいところを探す	再生中に⏮/⏭ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離す。
前後の曲を選ぶ	⏮/⏭ボタンで曲を選ぶ。

ヒント

エアチェックチャンネルでは、チャンネル選択画面で、曲の盛り上がり部分ではなく、曲の先頭から再生されます。

ご注意

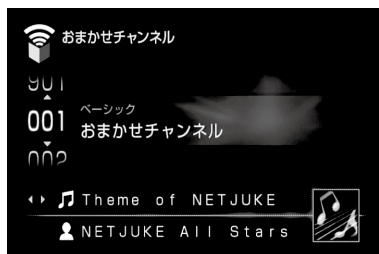
楽曲によっては印象と異なるチャンネルに分類されたり、曲の盛り上がり部分を誤検出することがあります。

1 おまかせCHボタンを押す。

チャンネル選択画面が表示され、表示されている曲の盛り上がり部分から再生されます。

ヒント

1つのチャンネルに5曲たまると、そのチャンネルが表示されます。



MIXチャンネルを使う

おまかせチャンネル再生中に青、赤、緑、黄のそれぞれのボタンを押すと、HDDジュークボックス内の曲を使って次のようなチャンネルを一時的に作成します。

- **青ボタン(アーティスト)** : 同じアーティストの曲のMIXチャンネル
- **赤ボタン(年代)** : 年代が近い曲のMIXチャンネル
- **緑ボタン(ムード)** : 雰囲気似ている曲のMIXチャンネル
- **黄ボタン(アルバム)** : 同じアルバムの曲のMIXチャンネル

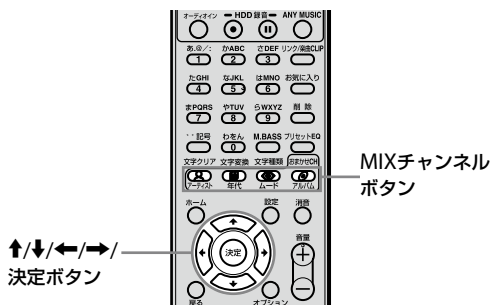
例えば、あるアーティストの曲を聴いているときに青ボタンを押すと、同じアーティストの曲を集めたチャンネルを一時的に作成し、再生することができます。

2 ↑/↓ボタンでチャンネルを選ぶ。

選ばれているチャンネルの先頭曲の盛り上がり部分から再生されます。

3 ←/→ボタンでチャンネル内の曲を選ぶ。

それぞれの曲は曲の盛り上がり部分から再生されます。決定ボタンを押すと、再生中の曲の先頭から再生が始まります。



1 おまかせチャンネルを再生する。



選べるMIXチャンネル

2 青または赤、緑、黄ボタンを押す。

MIXチャンネルが表示されます。

青ボタンを押した場合



赤ボタンを押した場合



緑ボタンを押した場合



黄ボタンを押した場合



3 ←/→ボタンで曲を選び、決定ボタンを押す。

再生が始まります。

MIXチャンネルから通常のおまかせチャンネルに戻るには、↑/↓ボタンまたは戻るボタンを押します。

！ご注意

- 年代MIXチャンネルに入る曲は、リリースされた年の情報のある曲に限ります。
- 年代MIXチャンネルの年代は必ずしも初版年ではありません。アルバムまたは曲に入っているCD情報のリリース年を基準としています。

ヒント

年代MIXチャンネルは以下のように構成され、表示されます。

1900～1949年：まとめて「1949年以前の曲」と表示されます。

1950～1989年：10年単位で集めます。

例：1960年から1969年までの曲を集めて「1960年代の曲」と表示されます。

1990～：

前後1年を含んだ計3年間の曲を集めます。

例：1995年の曲を聴いている場合は、「1995年頃の曲」と表示されます。

チャンネル間で曲を移動する

雰囲気ごとに分類されているチャンネル内の曲は、他のチャンネルに移動できます。

1 移動したい曲を選ぶ。

2 オプションメニューから[曲の移動]を選ぶ。

3 「移動先」のプルダウンメニューから、移動先のチャンネルを選ぶ。

4 [はい]を選ぶ。

！ご注意

- CH.002～006からの移動および他のチャンネルからCH.002～006への移動はできません。
- CH.001で解析済みの曲が少ない場合は曲の移動ができないことがあります。

おまかせチャンネルを設定する

起動時のチャンネルを設定するには

- 1 オプションメニューで[設定]－[基本]を選ぶ。
- 2 [起動時のチャンネル]－[(設定)]を選ぶ。

前回のチャンネル	前回選ばれていたチャンネルの曲で起動します。
◆ おまかせ (CH.001)	おまかせチャンネル(CH.001)の曲で起動します。

お気に入りチャンネルに曲を登録するには

- 1 おまかせチャンネルを再生中に、お気に入りボタンを押す。
再生中の曲がお気に入りチャンネルに登録されます。また同時にHDDジュークボックスの「お気に入りリスト」にも登録されます。

不要な曲を非表示にするには

おまかせチャンネルに登録された曲を非表示にすることができます。曲を削除することはできません。曲の非表示を解除すると別のチャンネルに移動した曲が再度表示されます。

- 1 表示したくない曲を再生する。
- 2 リモコンの削除ボタンを押す。
ポップアップ画面が表示されます。
- 3 [はい]を選ぶ。

曲を表示させるにはオプションメニューで[曲の非表示]－[解除]－[現在のチャンネル]または[全てのチャンネル]を選びます。ポップアップ画面が表示され、[はい]を選びます。

！ご注意

CH.002～006の曲は、非表示にできません。

不要なチャンネルを非表示にするには

- 1 オプションメニューで[設定]－[チャンネル表示]を選ぶ。
チャンネル表示画面が表示され、選択されているチャンネルの各曲の盛り上がり部分が再生されません。
- 2 表示したくないチャンネルを選び、チェックマークをはずす。
表示したい場合は、再度決定ボタンを押してチェックを入れてください。

おまかせチャンネルを転送する

おまかせチャンネルをプレイリストとしてHDDジュークボックスに登録し、“ウォークマン”(ATRAC AD)やMD*に転送することができます。1つのプレイリストには、選んだチャンネルから最大50曲が選ばれ、登録されます。

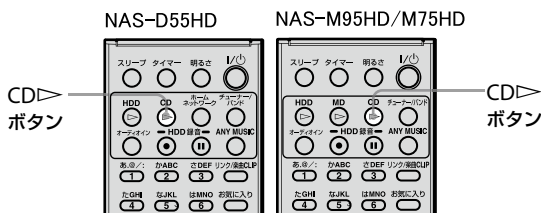
- 1 転送したいチャンネルを再生する。
- 2 オプションメニューで[プレイリスト作成]を選ぶ。
ポップアップ画面が表示されます。
- 3 [実行]を選ぶ。
ポップアップ画面が表示されます。
- 4 [閉じる]を選ぶ。
プレイリストとして登録されます。
- 5 33ページの手順に従ってプレイリストを転送する。

🔔ヒント

HDDジュークボックスファンクションでプレイリストモードを選ぶと、登録されたプレイリストを確認できます。プレイリスト名はチャンネル名と登録日が表示されます。

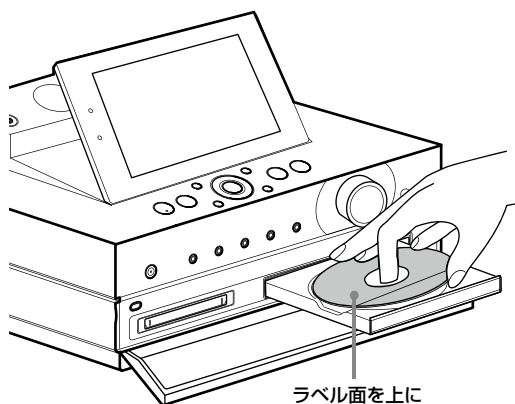
CDを再生する

音楽CDとMP3音声ファイルが記録されたCD-R/RWを聞くことができます。再生可能なCDについて詳しくは、117ページをご覧ください。



1 CD▲ボタンを押して、ディスクを入れる。

ディスクトレイが出てきます。



もう一度CD▲ボタンを押すとトレイは閉まります。

本機のデータベースから自動的にタイトル情報を検索して表示します。

タイトル情報がない場合は表示されません。

インターネットに接続していると、インターネット上のサーバに存在するデータベースから最新のタイトル情報を取得することができます(79ページ)。

2 CD▶ボタンを押す。

再生が始まります。

音楽CDまたはMP3音声記録されたCD-R/RWを本機が判別して、自動的にモードを切り換えます。両方のフォーマットで記録されたディスクの場合は、手動で切り換える必要があります(48ページ)。



MP3ファイルの階層と再生順序

MP3ファイルはアルバムとトラックの2階層になっています。アルバム内にサブアルバムが含まれる場合もあります。一つのアルバム(またはサブアルバム)内の全トラックを再生したあとに、次のアルバム(またはサブアルバム)の最初のトラックが再生されます。

本機では、MP3ファイルが記録されたデータCDの場合、第10階層まで表示できます。

ヒント

MP3CDのID3情報は、この画面では表示されません。オプションメニューで[表示] - [トラック情報(ID3)]を選んで見てください(49ページ)。

その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
一時停止する	⏸ボタンを押す。もう一度押すか、▶ボタンを押すと、停止した場所から再生が始まります。
曲中の聞きたいところを探す	再生中に◀◀/▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離す。
前後の曲を選ぶ	再生中に◀◀/▶▶ボタンで曲を選ぶ。
曲を選んで再生する	↑/↓(MP3では↑/↓/←/→)ボタンで曲を選ぶ。
数字ボタンを使って曲番を選ぶ	曲一覧画面(トラック階層)で曲番の数字ボタンを押してから決定ボタンを押す。
アルバムを選ぶ(MP3のみ)	アルバム+またはアルバム-ボタンでアルバムを選ぶ。
ディスクを取り出す	本体のCD▲ボタンを押す。
時間表示を切り換える	再生中にオプションメニューで[表示] - [時間表示] - [経過時間]または[残り時間]を選ぶ。
音楽CD・MP3モードを切り換える	オプションメニューで[モード切り換え] - [音楽CD]または[MP3]を選ぶ。

！ご注意

MP3モードの場合、アルバム階層では数字ボタンを使って曲番を選ぶことはできません。

タイトル情報を手動で取得するには

CDを入れると、自動的にタイトル情報が取得されますが、手動でタイトル情報を取得することもできます。

1 停止中に、オプションメニューで[タイトル情報] - [取得]を選ぶ。

タイトル情報を検索後、タイトル情報検索結果画面が表示されます。

2 検索結果を確認し、[取得]を選ぶ。

タイトル情報が取得されます。
[取得]の代わりに▶ボタンを押すと、すぐにCDの再生が始まります。

タイトル情報をクリアするには

オプションメニューで[タイトル情報] - [クリア]を選びます。

取得結果が複数表示されたときは

取込みたいタイトル情報を一覧から選びます。

アルバム内のトラック情報を確認するには

表示されているアルバムを選びます。

📌ヒント

インターネットに接続していると、最新のタイトル情報が自動的に取得されます。

タイトル情報取得の設定を変更するには

1 オプションメニューで[設定] - [タイトル情報取得]を選ぶ。



2 各項目を設定する。

タイトル情報自動取得

◆ ON	CDを入れると自動的にタイトル情報を取得します。
OFF	タイトル情報を自動的に取得しません。

CD TEXT表示*

CD TEXTを表示したい言語を選びます。お買い上げ時は[日本語優先]に設定されています。

* タイトル情報を取得しなかった場合、CD TEXTが表示されます。

CD TEXTはCD TEXT対応ディスクのみ記録されています。

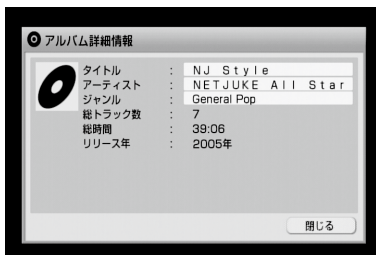
3 [閉じる]を選ぶ。

CDの情報を見る

- 1 停止中に、リスト画面で情報を見たい曲を選ぶ。
- 2 オプションメニューで[表示]—[アルバム情報]または[トラック情報]を選ぶ。

アルバム情報*1	ディスクの詳細情報(アルバム詳細情報画面)を表示します。
トラック情報*1	選んだ曲の詳細情報(トラック詳細情報画面)を表示します。
トラック情報 (ID3)	選んだMP3音声の曲のID3タグ情報(トラック(ID3)詳細情報画面)を表示します。

*1 音楽CDのときのみ表示されます。

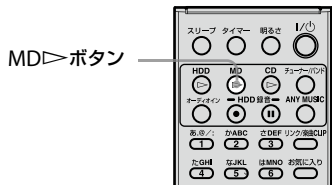


タイトルまたはアーティスト、ジャンル、アルバム名*2の全文を見るには、↑/↓ボタンで[タイトル]または[アーティスト]、[ジャンル]、[アルバム名]*2を選びます。

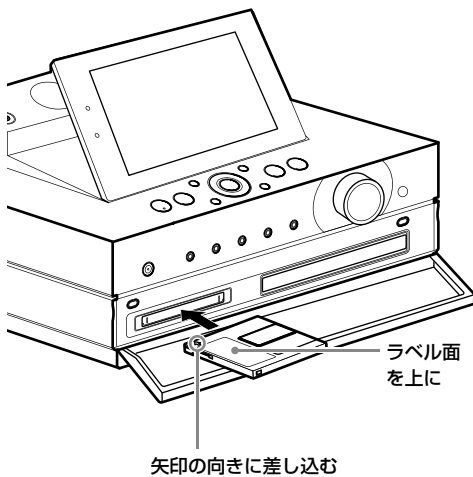
画面をスクロールするには、↑/↓ボタンを押します。

*2 トラック(ID3)詳細情報画面のときのみ表示されます。

MDを再生する (NAS-M95HD/M75HDのみ)



1 MDを入れる。



2 MD▶ボタンを押す。

再生が始まります。



MDの階層と再生順序

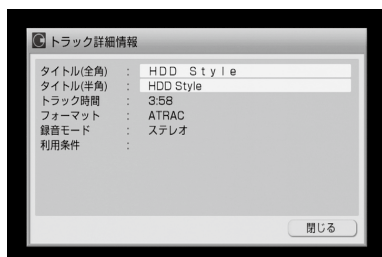
MDはグループとトラックの2階層になっています。一つのグループ内の全トラックを再生したあとに、次のグループの最初のトラックが再生されます。

その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
一時停止する	⏸ボタンを押す。もう一度押すか、▶ボタンを押すと、停止した場所から再生が始まります。
曲中の聞きたいところを探す	再生中に◀◀/▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離す。
前後の曲を選ぶ	再生中に◀◀/▶▶ボタンで曲を選ぶ。
曲を選んで再生する	↑/↓ボタンで曲を選ぶ。または曲番の数字を数字ボタンで押したあと、決定ボタンを押す。
グループを選ぶ	アルバム+またはアルバム-ボタンでグループを選ぶ。
時間表示を切り換える	オプションメニューで[表示] - [時間表示] - [経過時間]または[残り時間]を選ぶ。
MDを取り出す	本体のMD▲ボタンを押す。
タイトル表示を切り換える	オプションメニューで[表示] - [タイトル表示] - [全角]または[半角]を選ぶ。

ディスクや曲の情報を見る

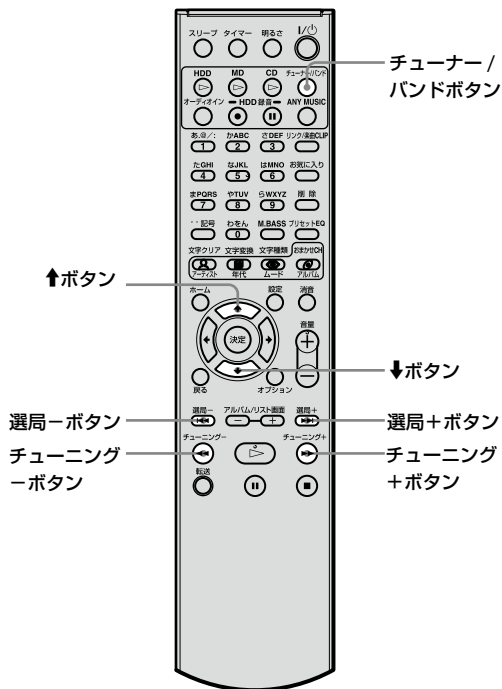
- 1 停止中に、情報を見たいディスクまたは曲を選ぶ。
- 2 オプションメニューで[表示]—[ディスク情報]または[トラック情報]を選ぶ。



タイトルの全文を見るには、↑/↓ボタンで見たいタイトルを選びます。

ラジオを聞く

オートチューニングやマニュアルチューニングでラジオ局を受信できます。ラジオ局を登録すると、プリセットチューニングで受信できます。



“エニーミュージック”に登録済みの場合は

FM放送のオンエア情報(放送中の番組情報や放送された曲の情報など)を見ることができます。

詳しくは、「FMオンエア情報を保存する」(81ページ)をご覧ください。

ヒント

- FMステレオ放送受信中に雑音が多いときは、オプションメニューで[設定] - [FMモード設定] - [常時モノラル]を選びます。モノラル受信になりますが、雑音が少なくなります。元に戻すときは、同様の操作で[自動ステレオ]を選びます。
- 受信状態が悪いときは、アンテナを窓の近くや外に置くなど、アンテナの向きや置き場所、張る位置を変えてみてください。それでも受信状態がよくなりえないときは、市販の屋外アンテナの使用をおすすめします。

ラジオ局の詳細情報を見るには

オプションメニューで[詳細情報]を選ぶ。

詳細情報の全文を見るには、↑/↓ボタンで項目を選びます。

1 チューナー / バンドボタンを押す。

2 FMまたはAMを選ぶ。

チューナー / バンドボタンを押して、FM/AMを切り換えます。

3 チューニング+/-ボタンを長押しする。

放送を受信すると停止します。途中でやめたいときは■ボタンを押します(オートチューニング)。聞きたいラジオ局の周波数に合わせたいときは、チューニング+/-ボタンを繰り返し押します(マニュアルチューニング)。

ラジオ局を登録する

“エニーミュージック”に登録している場合は、81ページの手順に従って登録してください。

- 1 AMまたはFMに切り換える。
- 2 オプションメニューで[プリセット登録]を選ぶ。
- 3 登録するプリセット番号を選ぶ。
- 4 [ラジオ局名を]のプルダウンメニューからお住まいの地域を選ぶ。
ラジオ局名を新規で入力したい場合は [新規に
入力する]を選びます。
- 5 [ラジオ局名]のプルダウンメニューから局名を選ぶ。
- 6 [周波数]を選び、↑/↓ボタンで周波数を合わせる。
[周波数設定を]のプルダウンメニューで[オート
でチューニングする]を選んだ場合は放送を受信
するまで周波数が進みます。
- 7 [登録]を選ぶ。

他のラジオ局を登録するには

手順3から7を繰り返します。

🔔 ヒント

FMステレオ放送をモノラル受信にして雑音を少なくするには、プリセット登録画面の[FMモード]を[常時モノラル]にします。元に戻すときは[自動ステレオ]にします。この設定はラジオ局の設定として記憶されます。

登録した放送局を聞くには

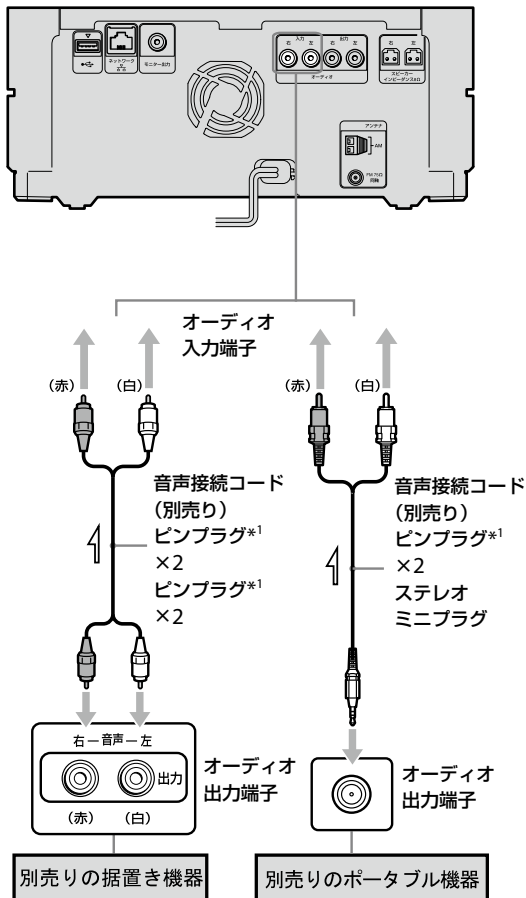
↑/↓ボタンもしくは選局+/-ボタンでラジオ局を選びます。

外部機器をつないで聞く

本体上面と後面*のオーディオ入力端子に音声接続コード(別売り)をつないでカセットデッキなどの音を聞いたり、録音することができます。

本機のオーディオ入力端子と別売りの機器のオーディオ出力端子を音声接続コード(別売り)でつなぎます。つなぐときはプラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと雑音の原因になります。

本体後面*につなぐ



*1 白(L)端子には白プラグを、赤(R)端子には赤プラグをつなぎます。

本体上面につなぐ



1 オーディオインボタンを押す。



2 ←/→ボタンで[上] *¹または[後]を選ぶ*。

*¹ お買い上げ時の設定

3 本機につないだ機器を再生する。

本機のスピーカーから音声が出力されます。
詳しくは、つないだ機器の取扱説明書をご覧ください。

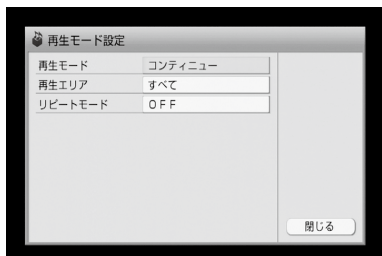
入力レベルを調整するには(上面のみ)

つないだ機器側の出力レベルが大きい、または小さい場合は、本機の入力レベルを調整することができます。
オプションメニューで[設定] - [感度(接続機器)] - [高(ポータブル機器)]または[低(ホーム機器)]を選びます。

リピート/シャッフル再生 HDD CD MD

曲順を変えて再生(シャッフル)したり、1曲だけを繰り返し再生(リピート)したりできます。

1 各ファンクションの停止中に、オプションメニューで[設定] - [再生モード設定]を選ぶ。



2 設定したい項目を選ぶ。

3 各項目を設定する。

以下の「設定項目一覧」の表の各項目を、プルダウンメニューから選んで設定します。

4 [閉じる]を選ぶ。

各項目の設定内容が表示されます。



設定項目一覧

再生モード

◆ コンティニュー (表示なし)	記録されているとおりの曲順で再生
シャッフル SHUF	曲順を変えて再生

(◆:お買い上げ時の設定)

再生エリア(CD*1/MD*の場合)

グループ/アルバム GROUP ALBUM	現在選ばれているグループ(ATRAC)/アルバム(MP3)のすべての曲を再生
◆ すべて	すべての曲を再生

(◆:お買い上げ時の設定)

*1 音楽CDの場合は、選ぶことができません。

再生エリア(HDDジュークボックスの場合)

モード(40ページ)によって再生する範囲が異なります。

アルバム	アルバム ALBUM	現在選ばれているアルバムのすべての曲を再生
	◆すべて ALL	すべての曲を再生
アーティスト	アルバム ALBUM	現在選ばれているアルバムのすべての曲を再生
	アーティスト ARTIST	現在選ばれているアーティストのすべての曲を再生
◆すべて	ALL	すべての曲を再生
	ジャンル ALBUM	現在選ばれているアルバムのすべての曲を再生
ジャンル	ジャンル GENRE	現在選ばれているジャンルのすべての曲を再生
	◆すべて ALL	すべての曲を再生

録音ソース	アルバム ALBUM	現在選ばれているアルバムのすべての曲を再生
	録音ソース SOURCE	現在選ばれている録音ソースのすべての曲を再生
	◆すべて ALL	すべての曲を再生
フォルダ	グループ GROUP	現在選ばれているグループのすべての曲を再生
	フォルダ FOLDER	現在選ばれているフォルダのすべての曲を再生
	◆すべて ALL	すべての曲を再生
プレイリスト	リスト LIST	現在選ばれているプレイリストのすべての曲を再生
	◆すべて ALL	プレイリスト登録されているすべての曲を再生

(◆:お買い上げ時の設定)

リピートモード

◆ OFF (表示なし)	リピート再生しない
ON ↺	再生エリア内のすべての曲を繰り返し再生
トラック ↺1	1曲だけを繰り返し再生

(◆:お買い上げ時の設定)

タイトル情報を検索/取得する

本機にあらかじめ入っている情報を使ってタイトル情報を検索して、検索結果を登録することができます。

1 情報を検索したいアルバムまたは曲を選び、オプションメニューで[タイトル情報取得]を選ぶ。

2 検索/取得したい情報に従って[オリジナルアルバム][トラック][トラック一括登録]を選ぶ。

オリジナルアルバム	アルバム単位で一括してタイトルをつける。HDDジュークボックスに入っているアルバム内の曲がオリジナルアルバムの順番どおりに並んでいるときに有効。
トラック	1曲ごとに検索して、タイトルをつける。間違えて取得されたタイトルを取得し直すときに便利。
トラック一括登録	HDDジュークボックス内の「アルバム」に入っている曲に、1曲ごとに検索して、タイトルを自動取得する。HDDジュークボックス内の曲がオリジナルアルバムどおりに並んでいないときにまとめて取得するのに便利。

検索が始まります。

3 複数の検索結果が表示された場合([オリジナルアルバム][トラック]選択時のみ)、取得したい情報を選び、[取得]を選ぶ。

違う内容のタイトル情報を取得するにはインターネットに接続している場合、インターネット上のサーバに存在するタイトル情報のデータベースから、最新のタイトル情報を取得することができます。詳しくは「最新のタイトル情報を取得する」(79ページ)をご覧ください。

画像をつける HDD

ネットワーク上のPC共有フォルダ(96ページ)やUSBメモリにある画像ファイルを、アルバム、グループ、曲、プレイリストに登録することができます。

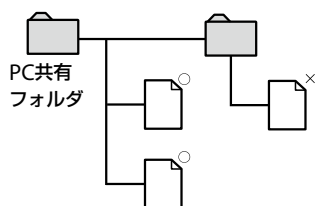
登録できる画像のファイル形式は、以下の形式です。

- JPEG*形式(拡張子JPG、JPEG)
- GIF*形式(拡張子GIF)

* 最大約630万画素(6,291,456画素)

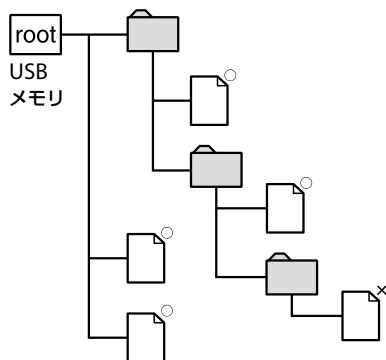
画像を登録できるファイルは、下図の○がついているもののみです。

PC共有フォルダ



PC共有フォルダに直接保存されているファイルのみ登録できます。

USBメモリ



USBメモリ内で画像を登録できるファイルは第3階層までです。

！ご注意

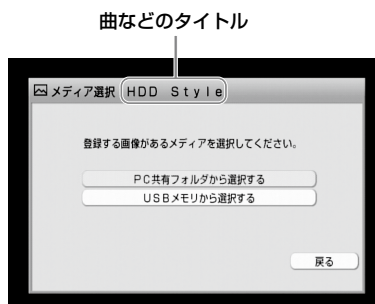
本体上面、後面両方のUSB端子に接続した場合、上面に接続された機器が優先されます。

- 1 HDDジュークボックスファンクションで、登録先(アルバムまたはグループ、曲、プレイリスト)を選ぶ。

- 2 オプションメニューで[編集] - [画像登録]を選ぶ。

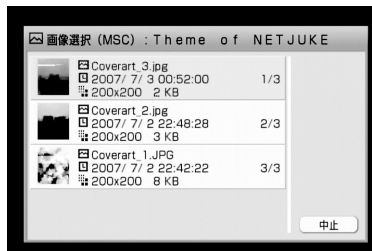
- 3 確認画面で[はい]を選ぶ。

メディア選択画面、画像選択画面のタイトル部分にタイトルが表示されます。



- 4 登録元を選ぶ。

PC共有フォルダを選んだ場合は、共有フォルダ設定画面が表示されるので、内容を確認してから[接続]を選び、決定します(96ページ)。



- 5 画像ファイルを選ぶ。

画像確認画面が表示されます。

6 [はい]を選ぶ。

選んだ画像ファイルが登録されます。
すでに登録された画像がある場合は、上書き登録確認画面が表示され、[はい]を選ぶと、画像が上書きされます。
アルバム、グループ階層で画像を登録する場合、同じ画像をトラックにもつけるかを確認するダイアログが表示されます。

登録されている画像を削除するには

オプションメニューで[編集] - [情報編集]を選んで対象を選び、[画像削除]を選びます。

⚠️注意

削除したり、上書きをして消された画像を元に戻すことはできません。

💡ヒント

オプションメニューで[編集]-[情報編集]-[(登録先)]-[画像登録]を選んで画像を登録することもできます。メディア選択画面が表示されたら、上記の手順4以降と同じ操作を行ってください。

編集する

名前を変更する (HDD) (MD)

フォルダやグループ、ディスク、アルバム、曲(トラック)、アーティスト、ジャンル、プレイリストの名前を変更できます。ファンクションによって変更できる項目が異なります。

- HDDジュークボックスファンクション: フォルダ名、アルバム名、グループ名、曲名、アーティスト名、ジャンル名、プレイリスト名
- MDファンクション*: ディスク名、グループ名、曲名

1 ■ HDDジュークボックスファンクションの場合
オプションメニューで[表示] - [モード切り換え] - [(モードの種類)]を選び、変更する対象を選ぶ。

■ MDファンクション*の場合
オプションメニューで[編集] - [情報編集] - [(対象の種類)]を選び、変更する対象を選ぶ。

2 ■ HDDジュークボックスファンクションの場合
オプションメニューで[編集] - [情報編集]を選ぶ。

■ MDファンクション*の場合
手順3に進む。

3 変更する項目を選ぶ。

4 名前を入力する。

文字の入力のしかたについては「文字を入力する」(67ページ)をご覧ください。

5 [閉じる]を選ぶ。

ジャンルを新しく作成するには

ジャンルの一覧につけたいジャンルがない場合は、ジャンルを新しく作成できます。

- 1 情報編集画面で[ジャンル新規]を選ぶ。
文字入力画面が表示されます。
- 2 ジャンル名を入力する。
- 3 [決定]を選ぶ。

ジャンルを整理するには

HDDジュークボックス内の使用していないジャンルを自動的に削除します。

- 1 情報編集画面で[ジャンル整理]を選ぶ。
- 2 [[はい]を選ぶ。

新しいプレイリストを作る

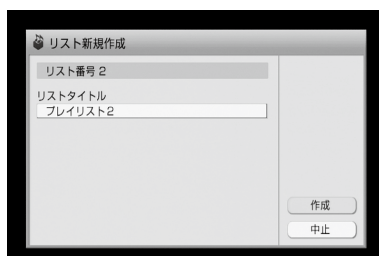
(HDD)

新しいプレイリストを作って、その中に曲を登録することができます。プレイリストは1,000まで作ることができます。

1 HDDジュークボックスファンクションの停止中に、←ボタンを繰り返し押しして「モード階層」にし、プレイリストモードを選ぶ。

プレイリスト一覧画面が表示されます。

2 オプションメニューで[編集] - [新規作成]を選ぶ。



3 [リストタイトル]を選ぶ。

文字入力画面が表示されます。

4 タイトルを入力する。

5 [作成]を選ぶ。

プレイリストが作成されます。

2 削除する対象のリスト画面を表示させる。

3 リモコンの削除ボタンを押す。

選んだ対象にチェックマーク がつきます。同時に複数のものを削除するには、削除したいものすべてにチェックマーク をつけます。



削除する (HDD) (MD)

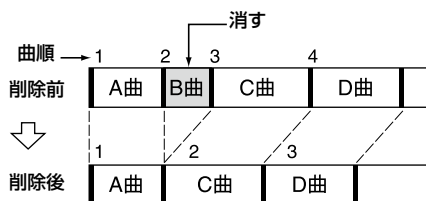
HDDジュークボックス内や、本機に挿入したMD*内のフォルダやアルバム、グループ、曲、プレイリストなどを削除できます。ファンクションによって、削除できる項目が異なります。

- HDDジュークボックスファンクション: フォルダ、アルバム、グループ、曲、プレイリスト
- MDファンクション*: ディスク、グループ、曲

一度消すと元には戻せません。

曲を消すと、曲番は順にくり上がります。例えば、曲番2を消すと、元の曲番3が2にくり上がります。

例) B曲を消す



“ウォークマン”やポータブル機器に入っている曲を削除するには

「転送先の曲/プレイリストを削除する」(37ページ)をご覧ください。

1 対象ファンクションのオプションメニューで[表示]－[モード切り換え]－[(モードの種類)]を選ぶ。

MDファンクション*の場合は、モードを切り換えずに手順3に進んでください。

4 [削除]を選ぶ。

削除確認画面が表示されます。

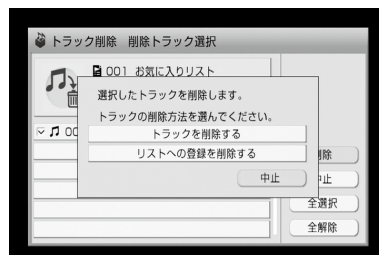
MDファンクション*の場合、そのまま削除するか、HDDジュークボックスに戻すか選ぶことができます。

本機から転送した曲を削除する場合は、[HDDジュークボックスに戻す]を選んでください。

5 [はい]を選ぶ。

ヒント

プレイリストの曲を削除する場合、プレイリストから削除するか、音楽データを削除するか選ぶことができます。



MD*内のグループを削除するには

MDファンクション*のオプションメニューで [編集]－[削除]－[グループ] を選びます。[グループのみ削除する]を選んだ場合は、グループ内の曲は削除せずに、グループ設定のみが解除されます。

MD*内の全曲を削除するには

MDファンクション*のオプションメニューで [編集]－[削除]－[ディスク]を選びます。

移動する (HDD) (MD)

フォルダやグループ、曲、プレイリストを好きな位置に移動できます。曲順を変えると、曲番号頭から順につけ直されます。

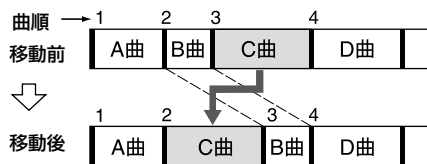
ファンクションによって、移動できる項目が異なります。

- HDDジュークボックスファンクション: フォルダ、グループ、曲、プレイリスト
- MDファンクション*: グループ、曲

！ご注意

HDDジュークボックス内からMD*に音楽データを移動することはできません。また、MD*からHDDジュークボックス内に移動することもできません。

例) C曲をB曲の前に移動する



- 1 移動を行うファンクションのオプションメニューで[表示] - [モード切り換え] - [(モードの種類)]を選ぶ。

MDファンクション*の場合は、モードを切り換えずに、手順3に進んでください。

- 2 移動する対象(フォルダまたはグループ、曲、プレイリスト)を選ぶ。

- 3 ■ HDDジュークボックスファンクションの場合
オプションメニューで[編集] - [移動]を選ぶ。

- MDファンクション*の場合
オプションメニューで[編集] - [情報編集] - [グループ/トラック]を選ぶ。

選んだ対象のチェックマーク が付いていることを確認します。

同時に複数の対象を移動するには、移動したい対象にチェックマーク をつけます。



- 4 [選択決定]を選ぶ。

移動先選択画面が表示されます。

- 5 移動先を選ぶ。

移動確認画面が表示されます。

他のフォルダやアルバム、グループに移動するには、↑/↓/←/→/決定ボタンで移動先のフォルダやアルバム、グループを選んでから、移動先を選びます。

- 6 [はい]を選ぶ。

選んだ対象が移動します。

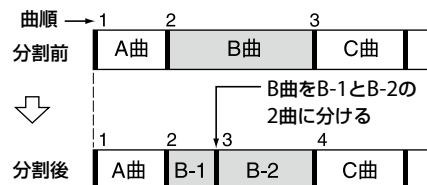
曲を分ける(分割) (HDD)

1曲を分割して2曲にします。分けた曲以降の曲番号は、頭から順につけ直されます。

リニアPCM形式とATRAC形式*1の曲のみ分けることができます。

*1 "エンターミュージック"からダウンロードした曲を分けることはできません。

例) B曲を2つに分ける



1 HDDジュークボックスファンクションのオプションメニューで[表示]—[モード切り換え]—[フォルダ]を選ぶ。

！ご注意

フォルダモード以外では曲を分けることはできません。

2 オプションメニューで[編集]—[分割]を選ぶ。



3 分けたい曲を選ぶ。

4 分けたい位置で、決定ボタンを押す。

決定ボタンを押した位置から繰り返し再生されます。



↑/↓/←/→ボタンで分割位置(m:分、s:秒、ms:ミリ秒)を変更すると、そこから後の2秒間を繰り返し再生します。

5 分割位置を正しく再生していたら、決定する。

6 [実行]を選ぶ。

曲が分かれます。

！ご注意

プレイリストに登録されている曲を分割するとプレイリストから削除されます。

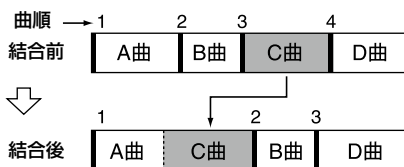
曲をつなぐ(結合) HDD

2曲をつないで1曲にします。曲番は、頭から順につけ直されます。

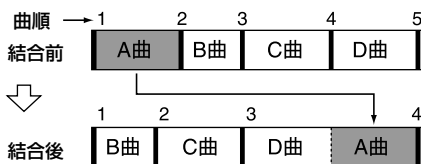
リニアPCM形式とATRAC形式*1の曲のみつなぐことができます。

*1 "エニーミュージック"からダウンロードした曲をつなぐことはできません。

例) A曲にC曲をつなぐ



例) D曲にA曲を合わせる



曲名はDになります。

1 HDDジュークボックスファンクションのオプションメニューで[表示]—[モード切り換え]—[フォルダ]を選ぶ。

！ご注意

フォルダモード以外では曲をつなげることはできません。

2 前につなぎたい曲を選ぶ。

3 オプションメニューで[編集]—[結合]を選ぶ。

選んだ曲にチェックマーク が付いていることを確認します。



4 後ろにつなげたい曲を選ぶ。

5 [結合]を選ぶ。

6 [実行]を選ぶ。

チェックマークをつけた順に曲につながります。

つなぎたい2曲の順番を変えるには

手順5のあとで[入れ替え]を選びます。

！ご注意

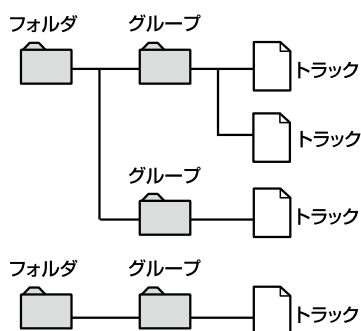
- フォーマットやビットレートが異なる曲をつなぐことはできません。
- プレイリストに登録されている曲をつないだ場合、つないだ曲はプレイリストから削除されます。

フォルダ・グループを作る

HDD MD

新しいフォルダやグループを作って、その中に、曲を貯めたり、曲を移動したりすることができます。

■HDDジュークボックスファンクションの場合

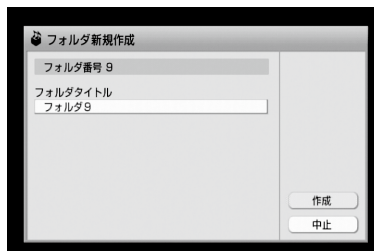


🔔ヒント

フォルダの中にはグループのみが作成できます。グループの中には曲(トラック)のみが入ります。

- 1 停止中にオプションメニューで[表示]—[モード切り換え]—[フォルダ]を選ぶ。
- 2 ←ボタンでフォルダー一覧画面またはグループ一覧画面を表示させる。

3 オプションメニューで[編集]—[新規作成]を選ぶ。



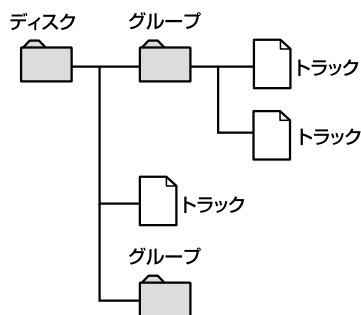
4 [フォルダタイトル]または[グループタイトル]を選ぶ。

5 タイトルを入力する。

6 [作成]を選ぶ。

■MDファンクション*の場合

グループ作成のみ可能です。



🔔ヒント

ディスク中の曲(トラック)と同じ階層にグループが作成できます。グループの中には曲(トラック)のみが入ります。

- 1 オプションメニューで[編集]—[グループ新規作成]を選ぶ。
- 2 [グループタイトル]を選ぶ。
- 3 タイトルを入力する。
- 4 [作成]を選ぶ。

* NAS-M95HD/M75HDのみ

曲のデータ形式を変換する

HDD

HDDジュークボックス内のリニアPCM形式の曲をATRAC3形式、ATRAC3plus形式、MP3形式に変換します。HDDの残量を増やしたいときに、便利です。

！ご注意

- ATRAC3形式、ATRAC3plus形式、MP3形式の曲はフォーマット変換できません。
- 曲のデータ形式を変換すると、元のリニアPCM形式の曲は削除されます。

🌐ヒント

リニアPCM形式で保存した音楽データは、HDDジュークボックス上でデータ形式を保持したまま、転送の際に変換して転送することもできます(34ページ)。

4 フォーマット(27ページ)とビットレート(27ページ)をプルダウンメニューから選ぶ。

5 [実行]を選ぶ。

データ形式が変換されます。

！ご注意

一度にフォーマット変換できるのは99曲までです。

1 HDDジュークボックスファンクションで、変換したい曲を選ぶ。

2 オプションメニューで[編集]—[フォーマット変換]を選ぶ。

選んだ曲のチェックマークがついていることを確認します。

同時に複数の曲を変換するには、変換したい曲にチェックマークをつけます。



3 [選択決定]を選ぶ。

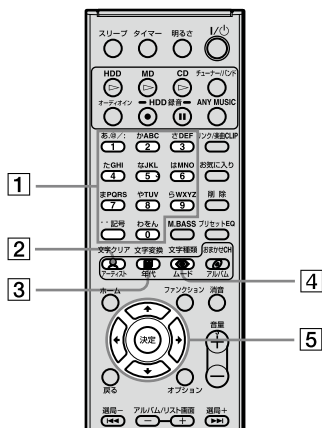
フォーマットとビットレートの選択画面が表示されます。



文字を入力する

本機に付属のリモコンで、携帯電話と同じ感覚で文字を入力できます。予測変換機能により、手早く入力できます。

リモコン



イラストは、NAS-M75HDに付属のリモコン。

1 数字/文字入力ボタン

入力したい文字が割り当てられているボタン(あ(行)、か(行)、ABC、DEFなど)を繰り返し押しすと、希望の文字を表示します。漢字の場合は、入力したい文字のボタンを押してから上下キーを押すか、文字変換ボタンを押してから、希望の漢字候補を選びます。

2 文字クリアボタン

文字を削除します。

3 文字変換ボタン

入力した文字を漢字などに変換します。

4 文字種類ボタン*

入力する文字の種類を選びます。ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。
[漢字]→[全カナ]→[全英]→[全数]→[半カナ]→[半英]→[半数]→[漢字]→.....

* 入力できる文字の種類は、画面によって異なります。

5 ↑/↓/←/→ボタン

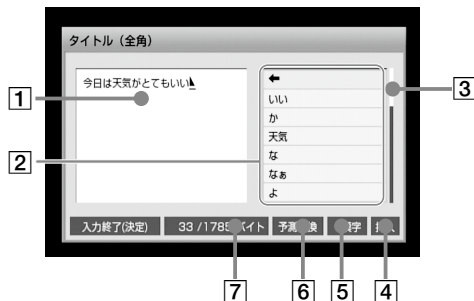
• ↑/↓/←/→ボタン

カーソルを移動したり、文節の区切りを変更します。

• 決定ボタン

入力した文字や設定を決定します。

文字入力画面



1 文字入力エリア

入力した文字が表示されます。

2 候補表示エリア

予測候補が一覧表示されます。

3 スクロールアイコン

候補表示エリアに予測候補を表示しきれないときに表示されます。

4 入力モード(上書き/挿入)の表示エリア

5 入力文字種類の表示エリア

文字種類ボタンを押すたびに、表示が以下のように切り換わります。

表示	入力できる文字の種類*
漢字	漢字/ひらがな
全カナ	全角カタカナ
全英	全角英字
全数	全角数字
半カナ	半角カタカナ
半英	半角英字
半数	半角数字

* 入力できる文字の種類は、画面によって異なります。

6 変換状態の表示エリア

予測変換	予測変換機能がONの状態
予測変換	予測変換機能がONの状態 で文字変換ボタンを押したとき
	予測変換機能がOFFの状態

7 入力バイト数の表示エリア

[入力済みバイト数/入力可能最大バイト数]が表示されます。使用中の入力画面により、入力できる最大文字数は異なります。

文字入力数とバイト数について

半角英字/数字	1文字:1バイト
全角文字/半角カタカナ	1文字:3バイト

文字を入力する

文字を入力する項目を選ぶと、文字入力画面が表示されます。

1 文字種類ボタンを繰り返し押し、入力する文字の種類を選ぶ。

2 数字/文字入力ボタンを繰り返し押し、文字を選ぶ。

オプションメニューで[予測変換] - [ON]を選んでいるときは、入力した文字から予測される単語を一覧表示します。

漢字を入力しないときは、手順4に進んでください。

3 一覧表示された単語から選ぶ。

入力したい単語が表示されない場合は、文字変換ボタンを押してから選びます。

4 決定ボタンを押す。

📌 ヒント

予測変換と通常変換は、入力文字種類が[漢字]のときのみ有効です。

その他の操作

こんなときは	操作
前の状態に戻す	戻るボタンを押す。
カーソルを移動する	↑/↓/←/→ボタンを押す。
大文字または小文字を入力する(「ヤ」「ャ」、「A」「a」など)	入力したい文字(ひらがな/カタカナ/英字)が割り当てられているボタンを繰り返し押す。
濁点文字または半濁点文字を入力する(「が」、「ぱ」など)	濁点または半濁点をつけたい文字を入力したあとに記号ボタンを繰り返し押す。
記号の全角/半角を切り換える	オプションメニューで[記号文字入力][全角]または[半角]を選ぶ。
文節の区切りを変更する	未確定の状態で←/→ボタンを押す。
変換方法を切り換える(予測変換切換)	文字入力画面で、オプションメニューで[予測変換][ON]または[OFF]を選ぶ。
入力モード(上書き/挿入)を切り換える	オプションメニューで[挿入モード]または[上書きモード]を選ぶ。

区点コードを使って入力するには

入力する文字の読みかたが分からない場合や本機で漢字変換できない場合は、「区点コード表」を使って入力します。区点コード表は<http://www.sony.co.jp/netjuke-support/>をご覧ください。

1 オプションメニューで[区点コード入力]を選び、決定ボタンを押す。

2 決定ボタンを押す。

3 ↑/↓ボタンで区点コードの4桁目を入力し、→ボタンを押す。

4 手順3を繰り返し、3桁目、2桁目、1桁目を入力する。

5 決定ボタンを押す。

6 [確定]を選ぶ。

選んだ文章を他の場所にも使うには —コピー / 切り取り / 貼り付け

- 1 オプションメニューで[編集]—[コピー]または[切り取り]を選び、決定ボタンを押す。
- 2 ←/→ボタンでコピーまたはカットしたい部分の始点の文字を選び、決定ボタンを押す。
- 3 ←/→ボタンでコピーまたはカットしたい部分の終点の文字を選び、決定ボタンを押す。
[切り取り]を選んだときは、選んだ部分が削除されます。
- 4 貼り付けたい位置にカーソルを置く。
- 5 オプションメニューで[編集]—[貼り付け]を選ぶ。
コピーまたはカットした部分がカーソル位置に挿入されます。
上書きモードに設定されている場合でも、上書きされず挿入されます。

よく使う語句を辞書に登録するには

あらかじめよく使う単語を辞書に登録しておけば、早く候補表示エリアに表示され便利です。

登録できる単語数は最大300件です。登録が300件を超えると古いものから順に削除されます。

- 1 オプションメニューで[辞書編集]—[登録]を選び、決定ボタンを押す。
文章が入力されていないと[登録]を選べません。
- 2 ←/→ボタンで登録したい部分の始点の文字を選び、決定ボタンを押す。
- 3 ←/→ボタンで登録したい部分の終点の文字を選び、決定ボタンを押す。
- 4 決定ボタンを押す。
- 5 [読み]の欄にひらがなで読みを入力し、決定ボタンを押す。
- 6 →ボタンで[登録]を選び、決定ボタンを押す。
指定した範囲の文章がスペースのみの場合は登録できません。

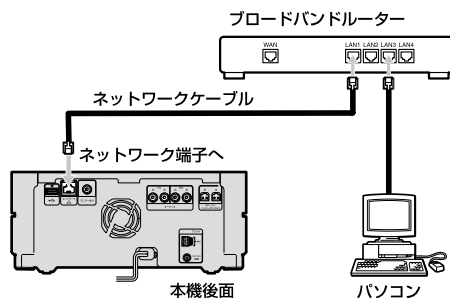
その他の操作

こんなときは	操作
辞書に登録した語句を削除する	オプションメニューで[辞書編集]—[削除]を選び、削除したい語句を選んでから、[削除]を選ぶ。
学習情報をリセットする	オプションメニューで[学習情報リセット]を選ぶ。 予測変換と通常変換の学習情報(よく使う語句などの情報)をすべて削除します。

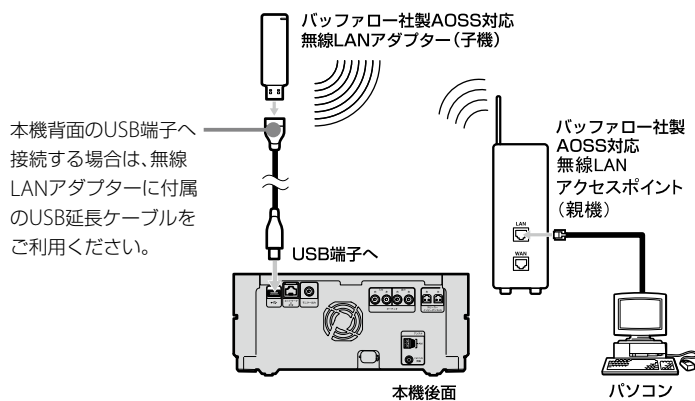
ネットワークに接続する

お使いのパソコンがインターネットにつながっている場合、パソコンがつながっている環境(ネットワーク)に本機をつなぐと、本機もインターネットに接続することができます。本機をネットワークにつなぐ方法として、有線と無線があります。

有線でつなぐ



無線でつなぐ



！ご注意

ルーターやアクセスポイントの設定は、ルーターやアクセスポイントの取扱説明書をご覧になって設定してください。

有線でつなぐ

準備する

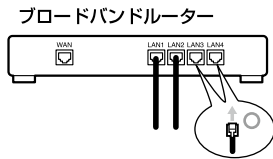
有線でつなぐ場合には下記が必要です。

- LANケーブル
- ルーター
- ハブ(接続口(ポート)が空いていない場合)

パソコンにつながっている機器の接続口(ポート)の状態によって、接続方法が異なります。

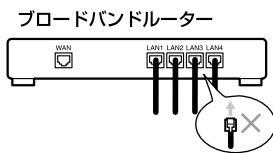
パソコンにつながっている機器の接続口(ポート)が空いている場合

LANケーブルを使って本機と機器をつないでください。



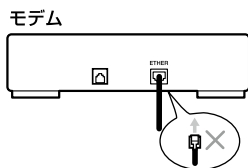
パソコンにつながっている機器の接続口(ポート)が空いていない場合

ハブが必要です。機器にハブをつなぎ、接続口の本機をつないでください。



パソコンにつながっている機器の接続口(ポート)が一つあり、埋まっている場合

ルーターが必要です。機器からパソコンをはずし、ルーターをつないでください。ルーターの接続口にパソコンと本機をつないでください。ルーターの設定はルーターの取扱説明書をご覧ください。

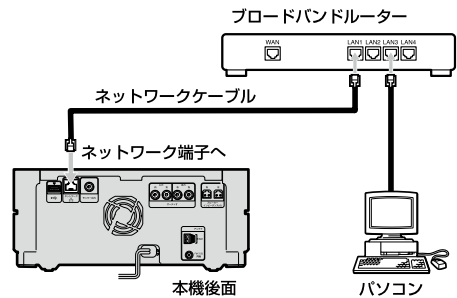


有線LANの接続、設定をする

有線LANで接続した場合と、イーサネットメディアコンバーターを使って無線LANの環境を作る場合の設定内容です。

プロバイダからの指定や、ルーターの使用状況に合わせた設定が必要な場合があります。

1 本機を、パソコンにつながっている機器につなぐ。

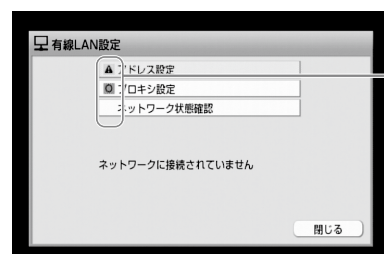


2 設定メニューで[ネットワーク設定]を選ぶ。

3 [有効にするLAN] - [有線LAN]を選ぶ。

4 [有線LAN設定]を選ぶ。

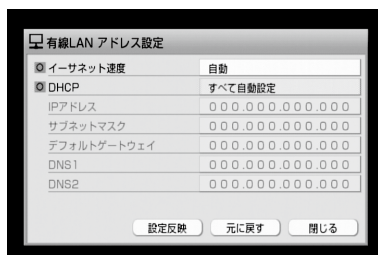
「ネットワーク設定を確認中です」というメッセージが表示されたあと、有線LAN設定画面が表示されます。



○の場合:
設定は不要
です。

△の場合:
設定が必要
です。手順5
に進んでく
ださい。

5 [アドレス設定]を選ぶ。



以下を確認してください。

- [イーサネット速度]が[自動]に設定されている。
- [[DHCP]が[すべて自動設定]に設定されている。この設定にしておくと、IPアドレスが自動的に取得されます。

！ご注意

ご利用のプロバイダによっては、手動で設定する必要があります。詳しくは、「IPアドレス/プロキシを設定する」(77ページ)をご覧ください。

6 [設定反映]を選ぶ。

設定の反映が行われます。

7 [閉じる]を選ぶ。

ネットワークの設定が完了しました。

インターネットにつながっているか確認するには

1 ANY MUSICボタンを押す。

“エニーミュージック”のトップ画面の右側にジャケット写真が表示されている場合、インターネットにつながっています。



ルーターや、ハブとうまく接続できない場合は、手順5で [イーサネット速度] を [100Mbps] または [10Mbps] に設定すると、接続できることがあります。または、アドレスの設定をご確認ください(「ネットワークの接続設定を確認するには」(76ページ))。

無線でつなぐ

無線LANアダプターの設置について

無線LANアダプターは設置する向きによって通信品質が変わることがあります。

うまく通信できない場合は無線LANアダプターの向きを調整してください。

(最適な設置方法はお使いの環境によって異なります。)

無線でつなぐ場合には下記が必要です。

- **AOSS対応無線LANアダプター WLI-U2-KG54またはWLI-UJ-G**
WLI-U2-KG54またはWLI-UJ-G以外の無線LANアダプターについては、<http://www.sony.co.jp/netjoke-support/>をご覧ください。
- **AOSS対応無線LANアクセスポイントWHR-HP-G**
自動設定を利用できます。
(上記以外でも、AOSS対応の無線LANアクセスポイントであれば、自動設定を利用できます)
- **AOSS非対応の無線LANアクセスポイント**
自動設定を利用できません。アクセスポイントを検索して設定するか、手動で設定します。

AOSSを利用して無線LANの接続、設定をする

AOSS対応無線LANアダプター WLI-U2-KG54またはWLI-UJ-G (WLI-U2-KG54またはWLI-UJ-G以外の無線LANアダプターについては、<http://www.sony.co.jp/netjoke-support/>をご覧ください)とAOSS対応無線LANアクセスポイントWHR-HP-Gをお使いの場合に自動設定を利用できます。(上記以外でも、AOSS対応の無線LANアクセスポイントであれば、自動設定を利用できます。)

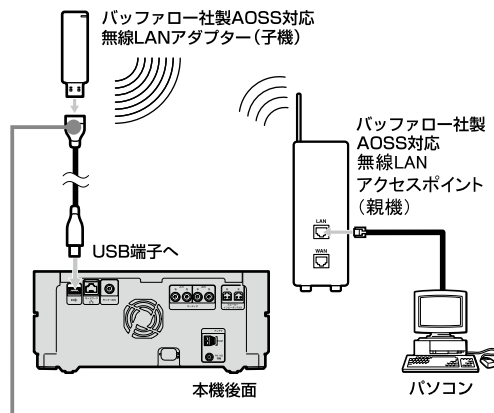
ボタン一つで簡単に、自動的に設定できます。

あらかじめ、アクセスポイントの準備をしてください。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

AOSSとは

無線LANの接続・設定を簡単にする株式会社バッファローの技術です。

1 AOSS対応無線LANアダプターを本機のUSB端子につなぐ。



本機背面のUSB端子へ接続する場合は、無線LANアダプターに付属のUSB延長ケーブルをご利用ください。

2 設定メニューで[ネットワーク設定]を選ぶ。

3 [有効にするLAN] – [USB無線LAN]を選ぶ。

4 [USB無線LAN設定]を選ぶ。

5 [アクセスポイント設定] – [自動で設定する(AOSS)]を選ぶ。

画面の指示に従って操作してください。AOSSボタンを押す指示が表示されたら、アクセスポイントのAOSSボタンを押してください。アクセスポイントが自動で設定されます。

6 [閉じる]を選ぶ。

USB無線LANの設定が完了しました。

ヒント

AOSS対応の無線LANアクセスポイントをお持ちの場合は、AOSS対応イーサネットメディアコンバーターを本機につないで無線LAN環境を作ることもできます。詳しくは、イーサネットメディアコンバーターの取扱説明書をご覧ください。なお、この場合本機においては「有線LAN接続」となりますので、ネットワークの設定については「有線LANの接続、設定をする」(71ページ)の手順2以降を行ってください。

本機を有線でネットワークにつないでいる場合は、プロバイダからの指定や、ルーターの使用状況に合わせた設定が必要な場合があります。

インターネットにつながっているか確認するには

1 ANY MUSICボタンを押す。

“エニーミュージック”のトップ画面の右側にジャケット写真が表示されている場合、インターネットにつながっています。



接続できない場合、アクセスポイント設定、アドレス設定をご確認ください(76ページ)。

アクセスポイントを検索して無線LANの設定をする

AOSS対応無線LANアダプター WLI-U2-KG54またはWLI-UJ-G(WLI-U2-KG54またはWLI-UJ-G以外の無線LANアダプターについては、<http://www.sony.co.jp/netjoke-support/>をご覧ください)とAOSS非対応の無線LANアクセスポイントをお使いの場合は、アクセスポイントを検索して設定するか、手動で設定します。自動設定は利用できません。

あらかじめ、アクセスポイントの準備をしてください。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

1 AOSS対応無線LANアダプターを本機のUSB端子につなぐ。

2 設定メニューで[ネットワーク設定]を選ぶ。

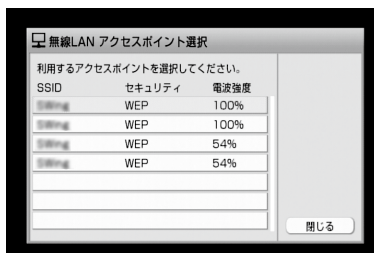
3 [有効にするLAN]－[USB無線LAN]を選ぶ。

4 [USB無線LAN設定]を選ぶ。

5 [アクセスポイント設定]－[利用できるアクセスポイントを検索する]を選ぶ。

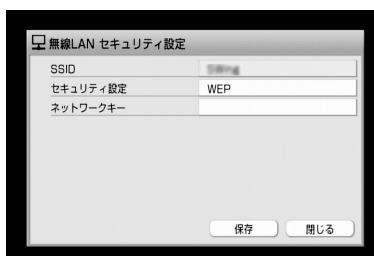
現在利用できるアクセスポイントのSSIDの一覧が表示されます。

SSIDとは、ワイヤレスネットワークにおけるアクセスポイントの識別名(Service Set Identifier)の略です。



6 検索結果からアクセスポイントを選ぶ。

7 ネットワークキーを設定する。



セキュリティ設定が[WEP]と表示された場合のみネットワークキー(セキュリティキー)の入力が必要です。セキュリティキーがわからない場合はアクセスポイントの設定をご確認ください。ネットワークキーを入力後、[保存]を選んでください。

8 「閉じる」を選ぶ。

USB無線LANの設定が完了しました。

インターネットにつながっているか確認するには

「インターネットにつながっているか確認するには」(74ページ)をご覧ください。

接続できない場合、アクセスポイント設定、アドレス設定をご確認ください(「ネットワークの接続設定を確認するには」(76ページ))。

ヒント

上記手順5で、「手動で設定する」を選んで、手動でアクセスポイントを設定することもできます。

ネットワークの設定を確認する

インターネットにうまく接続できないときは、それぞれの設定画面で、接続状態を確認したり、ネットワーク状態を確認します。

ネットワーク状態を確認する

ネットワークの接続設定を確認するには

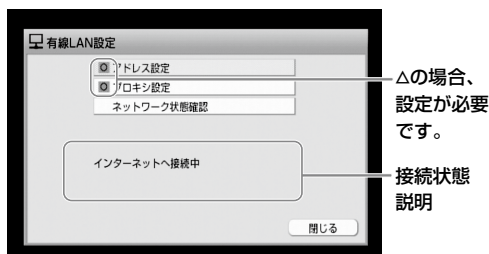
- 1 設定メニューで[ネットワーク設定]を選ぶ。
- 2 [有効にするLAN]で[有線LAN] (有線でない場合)または[USB無線LAN] (無線でない場合)を選ぶ。
- 3 [有線LAN設定] (有線でない場合)または[USB無線LAN設定] (無線でない場合)を選ぶ。

「ネットワーク設定を確認中です」というメッセージが表示されたあと、設定画面が表示されます。

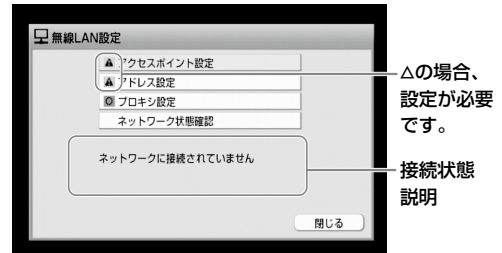
！ご注意

ネットワーク設定の確認メッセージで[中止]を選ぶと、正しいネットワークの状態が表示されないことがあります。その場合にはネットワーク状態を確認してください(このページ)。

有線LAN設定画面



無線LAN設定画面



接続状態説明に「ホームネットワークへ接続中/インターネットへの接続はできません。」と表示されている場合は、DNSの取得が失敗している可能性があります。以下の手順に従って、ネットワークの状態を確認してください。

ネットワーク状態を確認するには

- 1 設定メニューで[ネットワーク設定]を選ぶ。
- 2 [有効にするLAN]で[有線LAN] (有線でない場合)または[USB無線LAN] (無線でない場合)を選ぶ。
- 3 設定画面で[ネットワーク状態確認]を選ぶ。
- 4 [実行]を選ぶ。

ネットワーク状態の確認が始まります。確認には数分かかることがあります。

確認が終わると、各項目ごとに[OK]または[NG]が表示されます。

- すべての接続に[OK]が表示されたときは、手順7に進んでください。
- [NG]が表示されたときは、手順5に進んでください。

- 5 [NG]が表示されている項目の[詳細]を選ぶ。

想定される原因が表示されます。

- 6 画面の指示に従って接続や設定をやり直し、すべての[NG]の項目が[OK]になるまで、手順4から5を繰り返す。

ヒント

社内LANなど一部の環境では、すべての項目が[OK]とならない場合がありますが、これはネットワーク上の制限です。そのため[OK]でなくてもつながることがあります。つながらない場合は、ご使用のネットワークの管理者などにお問い合わせください。

7 [閉じる]を選ぶ。

IPアドレス/プロキシを設定する

お使いのルーターやアクセスポイントの使用状況に合わせた値や、ご利用のプロバイダから指定がある場合など、ネットワークの設定によっては、IPアドレスやプロキシを設定する必要があります。

以下の設定については、あらかじめ各機器の取扱説明書や、プロバイダからの情報をご覧ください。

IPアドレスを設定するには

- 1 設定メニューで[ネットワーク設定]を選ぶ。
- 2 [有線LAN設定] (有線をつないでいる場合) または [USB無線LAN設定] (無線をつないでいる場合)を選ぶ。
- 3 [アドレス設定]を選ぶ。
- 4 [DHCP]の設定で[DNSのみ手動設定]または[すべて手動設定]を選ぶ。
- 5 [IPアドレス][サブネットマスク][デフォルトゲートウェイ]にプロバイダが指定する値を設定する。

設定値を入力する位置にカーソルを合わせ、↑/↓ボタンで数値を設定します。

IPアドレス	ネットワークに接続する機器に割り当てられる固有の番号。
サブネットマスク	ネットワークを区切るために、ネットワークに接続する機器に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するしくみ。
デフォルトゲートウェイ	所属するネットワーク外の機器へアクセスするとき使用するコンピューターやルーターなどを指定。IPアドレスで特定。

6 [設定反映]を選ぶ。

7 [閉じる]を選ぶ。

ヒント

設定を変更前の状態に戻すときは、設定の途中で[元に戻す]を選びます。

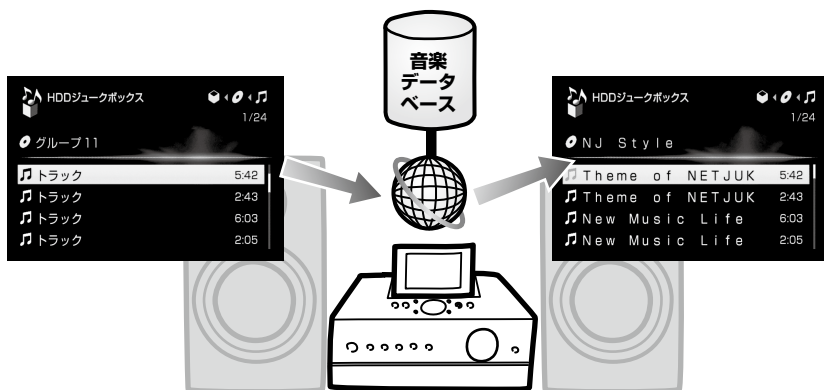
プロキシを設定するには

- 1 設定メニューで[ネットワーク設定]を選ぶ。
- 2 [有線LAN設定] (有線をつないでいる場合) または [USB無線LAN設定] (無線をつないでいる場合)を選ぶ。
- 3 [プロキシ設定]を選ぶ。
- 4 [インターネットへ]の設定を[プロキシ経由で接続]に変える。
- 5 [プロキシサーバ]および[ポート]にプロバイダが指定する値を入力する。
- 6 [閉じる]を選ぶ。

インターネットに接続して できること

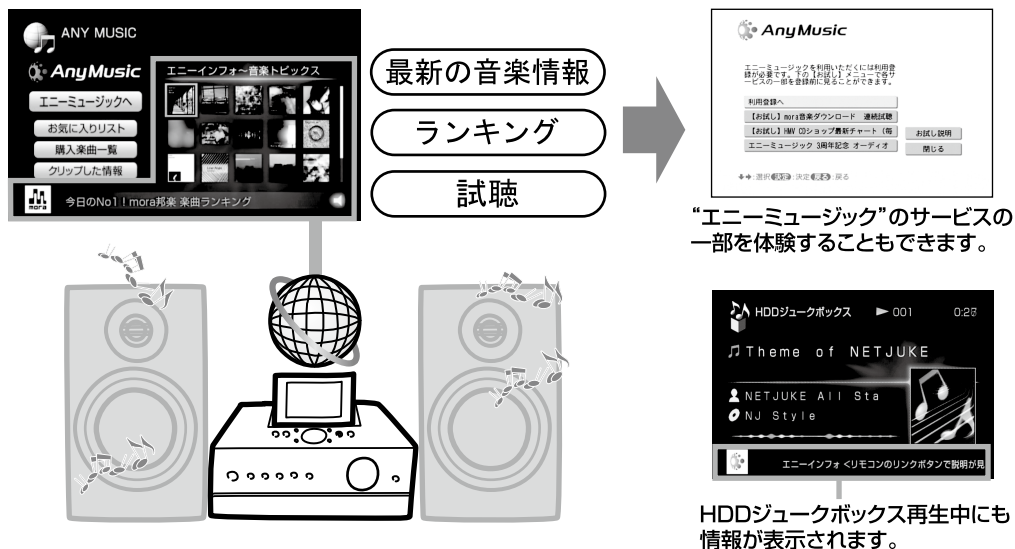
最新のタイトルをつける

録音、取込みの際にタイトルがなかった曲に、インターネット経由でタイトルをつけることができます。



最新の音楽情報を見る・試聴する

“エニーミュージック”^{*1}の最新の音楽情報やランキング情報を見たり、おすすめ曲の試聴をすることができます。



“エニーミュージック”のサービスの一部を体験することもできます。

HDDジュークボックス再生中にも情報が表示されます。

さらに“エニーミュージック”に登録すると、曲のダウンロードやオンラインCDショップなどが利用できます。

*1 “エニーミュージック”は、パソコンを使わずに本機などのオーディオ機器で直接楽しめる音楽サービスです。

最新のタイトル情報を取得する

本機には、Gracenote® Music Recognition Serviceが提供しているタイトル情報の一部が入っています。本機にタイトル情報がなく、ネットワークの設定(71、73ページ)が行われていると、インターネット経由で検索します。Gracenote® Music Recognition Serviceは、インターネット上のサーバに存在するタイトル情報のデータベースから、音楽CDのアルバム名、アーティスト名、曲名などのタイトル情報を読み込めるサービスです。

！ご注意

データCDの情報を読み込むことはできません。

CDの最新のタイトル情報を取得するには

CDを入れると、自動的に最新のタイトル情報が検索/取得されますが、手動でタイトル情報を取得することもできます。

手動で取得するには

- 1 オプションメニューで[タイトル情報] - [取得]を選ぶ。
- 2 検索結果画面が表示されたら、[再検索]を選ぶ。

タイトル情報をクリアするには

オプションメニューで[タイトル情報] - [クリア]を選びます。

HDDジュークボックス内の曲の最新のタイトル情報を取得するには

- 1 情報を検索したいアルバムまたは曲を選び、オプションメニューで[タイトル情報取得]を選ぶ。

- 2 検索/取得したい情報に従って[オリジナルアルバム][トラック][トラック一括登録]を選ぶ。

オリジナルアルバム	アルバム単位で一括してタイトルをつける。HDDジュークボックスに入っているアルバム内の曲がオリジナルアルバムの順番どおりに並んでいるときに有効。
トラック	1曲ごとに検索して、タイトルをつける。間違えて取得されたタイトルを取得し直すときに便利。
トラック一括登録	HDDジュークボックス内の「アルバム」に入っている曲に、1曲ごとに検索して、タイトルを自動取得する。HDDジュークボックス内の曲がオリジナルアルバムどおりに並んでいないときにまとめて取得するのに便利。

検索が始まります。

- 3 複数の検索結果が表示された場合([オリジナルアルバム][トラック]選択時のみ)、取得したい情報を選び、[取得]を選ぶ。
- 4 検索結果画面でオンライン[再検索]を選ぶ。
最新のタイトル情報の検索が始まり、タイトル情報があった場合、タイトル情報検索結果画面に取得結果が表示されます。違う内容のタイトル情報がなく、同じタイトル情報のみの場合でも、取得結果として表示されます。

取得結果が複数表示されたときは

取込みたいタイトル情報を一覧から選びます。

アルバム内のトラック情報を確認するには表示されているアルバムを選びます。

“エニーミュージック”を使う

本機ではエニーミュージック(株)が運営・提供する“エニーミュージック”の各種サービスをご利用いただけます。“エニーミュージック”を利用すると、音楽ダウンロード、試聴、CD購入などが可能です。詳しくは、別紙の“エニーミュージック”からのご案内をご覧ください。

！ご注意

“エニーミュージック”のサービス内容および手順は変更になる場合があります。

🗨️ヒント

“エニーミュージック”を利用するには、インターネットに接続し(70ページ)、“エニーミュージック”に登録する必要があります(このページ)。

最新の音楽情報を見たり試聴してみる

1 ANY MUSICボタンを押す、または、ホームメニューで[ANY MUSIC]を選ぶ。

エニーインフォ

インターネットに接続していると(70ページ)、以下の操作ができます。

- ジャケット写真を選択すると、試聴データがある場合に再生されます。
- 決定ボタンを押すと、曲の購入画面が表示されます。(“エニーミュージック”に登録していない場合は、サービス体験・利用登録の画面が表示されます。)



ボタン

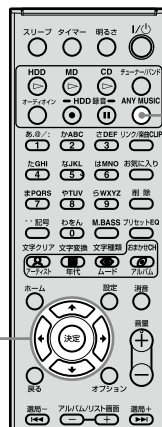
- エニーミュージックへ “エニーミュージック”のサービストップ画面が表示されます。
- お気に入りリスト お気に入りボタンを押して登録したページの一覧が表示されます。
- 購入楽曲一覧 購入した楽曲が確認できます。
- クリップした情報 クリップした楽曲情報が保存されています。クリップした情報を使って、曲のダウンロードや、購入ができます。

インターネットに接続してなくても、サービスのデモを見ることができます。デモを見るには、ANY MUSICボタンを押し、[デモストラレーションをみる]を選んでください。

曲をダウンロードする

曲のダウンロードやCDショップの利用には、利用登録が必要です。

利用登録するには



ANY MUSIC
ボタン

↑/↓/←/→/
決定ボタン

1 ANY MUSICボタンを押す。

“エニーミュージック”のトップ画面が表示され、本体のANY MUSICボタンが点灯します。

2 [エニーミュージックへ]を選ぶ。



3 [利用登録へ]を選ぶ。

以降は画面の指示に従ってください。

4 利用登録後、登録したユーザー IDとパスワードを入力する。

[ユーザー IDとパスワードを]のプルダウンメニューから[保存する]を選ぶと、次回から入力する必要がなくなります。

5 [接続]を選ぶ。

サービストップ画面が表示されます。



曲をダウンロードするには

邦楽ランキングや、アーティスト名、曲名から曲を選んでダウンロードすることができます。

1 “エニーミュージック”のトップ画面で、[エニーミュージックへ]を選ぶ。

2 サービストップ画面で、[音楽ダウンロード]を選ぶ。

音楽ダウンロードサイトの画面が表示されます。



3 ダウンロードしたい曲を選ぶ。

試聴マークが付いている曲をフォーカスすると、自動的に試聴が始まります。

4 価格や曲名を確認してから[購入へ]を選ぶ。

5 [購入する]を選ぶ。

曲が本機にダウンロードされます。今すぐに聴く場合は、[はい]を選びます。

ダウンロードした曲は、本機のHDDジュークボックスファンクションで聴くことができます。詳しくは「HDDジュークボックスを再生する」(38ページ)をご覧ください。

FMオンエア情報を保存する — 楽曲クリップ

FM局を登録すると、FM放送のオンエア情報(放送中の番組情報や放送された楽曲情報など)を見たり、保存(クリップ)することができます。(あらかじめ“エニーミュージック”の利用登録が必要です。)

FM局を登録するには

“エニーミュージック”に利用登録をする前に、FMのプリセット登録が済んでいる場合は、以下の操作は必要ありません。利用登録後、オンエア情報が取得できます。

1 ファンクションを[チューナー]に切り換え、FMを選ぶ。

2 オプションメニューで[プリセット登録]を選ぶ。

3 登録するプリセット番号を選ぶ。

4 [ラジオ局名を]のプルダウンメニューから[地域のリストから選択]または[全国のリストから選択]を選ぶ。

5 [ラジオ局名]のプルダウンメニューから局名を選ぶ。

6 [周波数]を選び、↑/↓ボタンで周波数を合わせる。

[周波数設定を]のプルダウンメニューで[オートでチューニングする]を選んだ場合は放送を受信するまで周波数が進みます。

7 [登録]を選ぶ。

オンエア情報を保存するには

プリセットチューニングでFM放送を受信中、オンエア情報が提供されている場合、画面上のNOW ON AIRが点灯し、オンエア情報が自動的に表示されます。

1 プリセットチューニングでFM放送を受信する。



- オンエア番組情報:
番組放送開始、終了時刻、番組名
- オンエア楽曲情報:
オンエア開始時刻、楽曲のタイトル、アーティスト名

！ご注意

ラジオ局の名前を新規に入力したときは、「エニーミュージック」のオンエア情報は表示されません。

2 欲しいオンエア情報があったら、楽曲CLIPボタンを押す。

楽曲情報選択画面には、最新の楽曲を含め過去3曲分の情報が表示されます。

3 楽曲情報を選ぶ。

楽曲情報がクリップ(保存)されます。

4 [閉じる]を選ぶ。

確認画面が閉じ、トップ画面に戻ります。

クリップした情報を見るには、「エニーミュージック」のトップ画面の[クリップした情報]を選び、一覧から見たい情報を選びます。

🔗ヒント

楽曲情報を検索キーとして、音楽のダウンロードや、オンラインCDショップでの購入もできます。

クリップした情報を削除するには

「エニーミュージック」のトップ画面で[クリップした情報]を選び、削除したい情報を選んでから削除ボタンを押します。

その他、「エニーミュージック」サービスについて詳しくは、「エニーミュージック」サイトのホームページをご覧ください。

<http://www.anymusic.jp/>

パソコン内の音楽を取込む

パソコン内の音楽を本機のHDDジュークボックスに取込むことができます。取込んだ曲は、HDDジュークボックスで聴くことができます。パソコンの音楽データを取込むには、あらかじめパソコンのフォルダを共有フォルダに設定してください(96ページ)。

- 1 ホームメニューで[HDDジュークボックス]を選ぶ。
- 2 オプションメニューで[ファイル転送]－[取込み]－[PC共有フォルダ]を選ぶ。
- 3 以下の項目を設定してから[接続]を選ぶ

コンピュータ名	コンピュータ名またはIPアドレスを入力(半角英数字で15文字まで)
共有名	共有フォルダを設定したとき(96ページ)につけた共有名
ユーザー名	共有フォルダを設定したときにアクセス許可したユーザー名
パスワード	共有フォルダにパスワードがかかっているときのみ必要

- 4 取込みたいアルバムを選ぶ。
選択されたアルバムにチェックマークが入りません。
選択後、もう一度決定ボタンを押すとチェックマークがはずれます。

- 5 [取込み]を選ぶ。

！で注意

一度に取込めるのは、最大10,000曲です(104ページ)。

時計を自動的に合わせる

インターネットのNTP*サーバに接続すると、時刻を正確に合わせられます。

あらかじめネットワークの接続・設定を行ってください(70ページ)。

* NTPはNetwork Time Protocolの略です。

1 設定メニューで[時計合わせ]を選び、決定ボタンを押す。

時計合わせ画面が表示されます。

2 [インターネットによる自動時計合わせを利用]を選び、決定ボタンを押す。

3 [する]を選び、決定ボタンを押す。

4 [サーバ名]を選び、決定ボタンを押す。

文字入力画面が表示されます。

「NTPServer」と表示されている場合は、あらかじめ設定されているサーバに接続します。サーバ名を変更しない場合は、手順6に進んでください。

5 サーバ名を入力し、決定ボタンを押す。

文字入力のしかたについては、「文字を入力する」(67ページ)をご覧ください。

6 [タイムゾーン]設定から[GMT+9 東京、Seoul]を選ぶ。

7 [夏時間]設定を選び、[標準]を選ぶ。

8 [設定反映]を選び、決定ボタンを押す。

時計が自動的に設定されます。

9 [閉じる]を選び、決定ボタンを押す。

サーバ名をお買い上げ時の設定に戻すには

手順5でサーバ名が消えるまで文字クリアボタンを押し続けます。

設定を途中でやめるには

戻るボタンを押します。

【ご注意】

- 「インターネット設定」が正しく設定されていないと、NTPサーバへ接続できない場合があります。
- プロキシサーバを使っているときは、ご利用のプロキシサーバがNTPサーバへの通信を中継しない場合がありますので、プロバイダなどにご確認ください。

本機のサーバやクライアント機能について

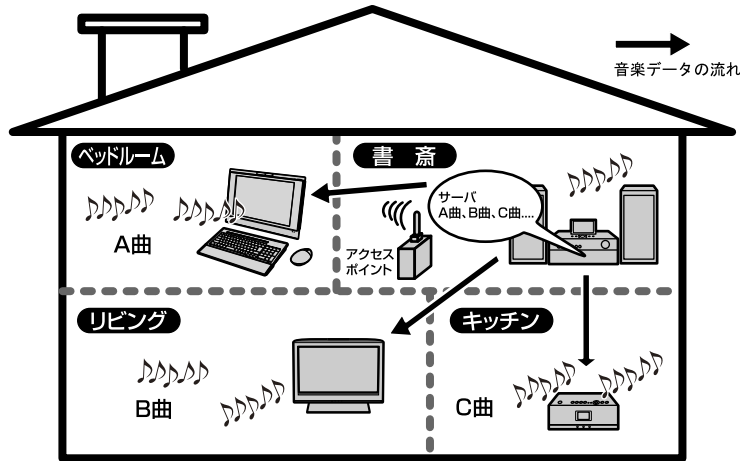
ホームネットワーク機能を使って、本機内の音楽データを他のネットジョークで再生したり、パソコン内の音楽データを本機で再生することができます。

本機のサーバ機能

本機はDLNA対応のデジタルメディアサーバです。本機をサーバ(親機)として、DLNA対応のクライアント(子機)*で本機内の音楽データを再生することができます。

複数のクライアントをお持ちの場合、同じ曲だけでなく、異なる曲を同時に再生することができます。

* 本機で対応確認済みのクライアントなどの最新情報は<http://www.sony.co.jp/netjuke-support/>をご覧ください。

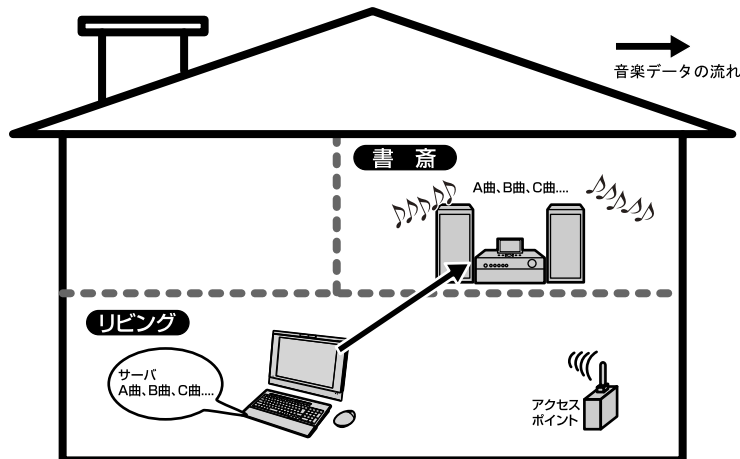


同時に再生できるクライアント(子機)の数は再生する曲のフォーマットやネットワーク環境に影響されます。詳しくは、<http://www.sony.co.jp/netjuke-support/>をご覧ください。

本機のクライアント機能

本機をDLNA対応のクライアント(子機)として、DLNA対応のデジタルメディアサーバ*内の音楽データを再生することができます。

* 本機で対応確認済みのサーバなどの最新情報は<http://www.sony.co.jp/netjuke-support/>をご覧ください。



本機をサーバとして使う

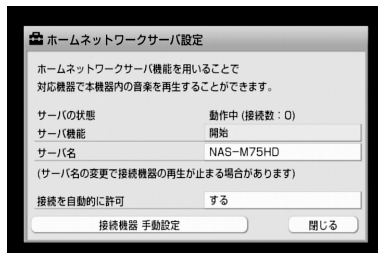
工場出荷時、本機のサーバ機能は停止しています。設定メニューでサーバ機能を開始すると、最大20台まで本機に接続できます。このとき、ネットワーク上で認識できる機器は自動的に接続を許可されます。接続機器の設定を変更するには、「機器の接続状態を設定するには」(87ページ)をご覧ください。

本機をサーバとして使用できる動作状態について

通常動作	使用できます
高速起動スタンバイ	使用できます
標準起動スタンバイ	使用できません
自動解析中	使用できます

1 設定メニューで[サーバ設定]を選ぶ。

2 「サーバ機能」のプルダウンメニューから[開始]を選ぶ。



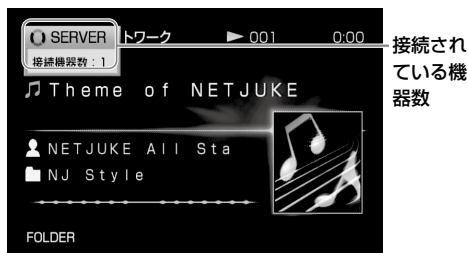
3 クライアント側から本機に接続し、曲を選んで再生する。

再生が始まると、SERVERランプが黄緑色に点灯します。

本機に接続できない(SERVERランプが点灯しない)ときは、下記をご確認ください。

- 本機のスタンバイモード設定が高速起動スタンバイになっていない→「スタンバイモードの設定をする」(95ページ)
- 本機でクライアントの機器登録に失敗している→「接続機器を手動で登録するには」(87ページ)
- 本機でクライアントの接続が拒否設定されている→「機器の接続状態を設定するには」(87ページ)

接続機器数が増えると、4秒間ほど画面にポップアップが表示されます。



クライアントで再生できない、またはリストが表示されない

クライアント側で再生できないフォーマットを再生させる場合は本機でホームネットワークファンクションを選んでください。ただし、この場合、接続できるクライアントは1台のみとなります。

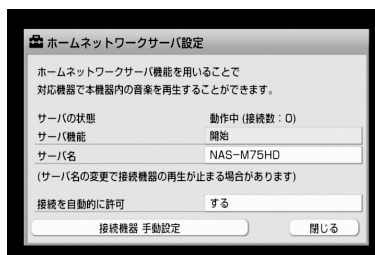
！ご注意

- 自動解析中にクライアントからの接続があると、解析は中断されます。接続がなくなると、解析を再開します。
- 録音(タイマー録音含む)、取込み、編集(おまかせチャンネルの手動解析含む)、バックアップ、バージョンアップ、画面デザイン設定、音楽データ移動、システム初期化中はサーバ機能を中断します。

サーバの設定を確認するには

クライアントから本機に接続できないときは、本機のサーバ設定を確認してください。

- 1 設定メニューで[サーバ設定]を選ぶ。
- 2 「サーバ機能」が[停止]になっている場合は、プルダウンメニューから[開始]を選ぶ。



サーバ名を変更するには

「サーバ名」を選び、文字入力画面で名前を変更します。

機器の自動接続を拒否する場合

「接続を自動的に許可」の設定が[する]に設定されている場合、第三者の機器から本機の音楽データが再生される可能性があります。機器の自動接続を拒否する場合は、「接続を自動的に許可」-[しない]を選びます。

3 [閉じる]を選ぶ。

機器の接続状態を設定するには

特定の機器の接続を許可したり、拒否するよう設定できます。

1 設定メニューで[サーバ設定]を選ぶ。

2 [接続機器 手動設定]を選ぶ。

3 設定したい機器を選び、[許可]または[拒否]を選ぶ。

続けて、他の機器を設定したい場合は、手順3を繰り返します。

4 [閉じる]を選ぶ。

接続機器を手動で登録するには

接続機器を自動で認識できない場合は、手動で登録できます。

MACアドレスについては、接続機器の取扱説明書などをご覧ください。

1 設定メニューで[サーバ設定]を選ぶ。

2 [接続機器 手動設定]を選ぶ。

ネットワーク上の機器の一覧が表示されます。

3 [手動登録]を選ぶ。

4 「MACアドレス」を選び、文字入力画面でアドレスを入力し、決定ボタンを押す。

MACアドレスは、英数字の0-9、A-Fを用いた12文字で入力します。

機器名を変更するには

「機器名」を選び、文字入力画面で名前を入力します。

5 [閉じる]を選ぶ。

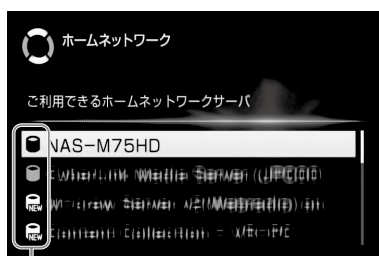
本機をクライアントとして使う

DLNA対応のデジタルメディアサーバ内の音楽データを再生します。





パソコン内の音楽を再生する

- 1 ホームメニューで[ホームネットワーク]を選ぶ。またはホームネットワークボタンを押す(NAS-D55HDのみ)。

サーバ選択画面が表示されます。



アイコン

アイコン	アイコンの意味	サーバの状態
 (白または黒*)	接続可能なサーバ	接続可能
	前回接続したサーバ	接続可能
	初めて接続するサーバ	接続可能
	不明なサーバ	接続可能だが、内容が不明な状態

* 画面のデザインの色によってアイコンの色が変わります(95ページ)。上記アイコンは、画面デザインがタイプ1のときのものです。

！ご注意

本機のサーバ機能が動作中の場合は本機も表示されません。

- 2 サーバ選択画面で接続するサーバを選ぶ。

「ホームネットワークサーバ接続中です」と表示され、メイン画面が表示されます。

- 3 再生したい曲を選ぶ。

再生が始まります。



！ご注意

サーバの接続中は、サーバの電源を切ったり、曲を削除したりしないでください。

👉ヒント

サーバ選択画面にサーバが表示されない場合は、オプションメニューで[表示] - [最新情報に更新]を選んでみてください。

その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
前後の曲を選ぶ	再生中に◀◀/▶▶ボタンで曲を選ぶ。
曲を選んで再生する	↑/↓/←/→ボタンで曲を選ぶ。
数字ボタンを使って曲番を選ぶ	曲番の数字を数字ボタンで押したあと、決定ボタンを押す。
時間表示を切り換える	オプションメニューで[表示] - [時間表示] - [経過時間]または[残り時間]を選ぶ。
繰り返し曲を再生する	オプションメニューで[設定] - [再生モード設定] - [リピートモード] - [OFF] (リピート再生しない)または[ON] (全曲を繰り返し再生する)、[トラック] (1曲だけ繰り返し再生する)を選ぶ。

！ご注意

- 数字ボタンを使って曲番を選べるのはメイン画面とトラックリスト画面です。
- 停止中は時間表示を切り換えられません。
- 接続しているサーバによっては残り時間が正しく表示されない場合があります。

曲のデータ形式について

サーバ内の曲には、本機で再生できないフォーマットのものもあります。リスト画面に表示される曲のアイコンで確認することができます。

リスト画面



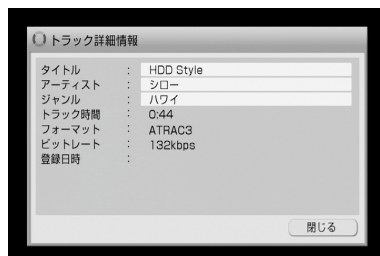
曲のアイコン

アイコン	アイコンの意味
	再生可能
	不明な曲/データ取得前の曲
	再生不可能

曲の情報を見る

1 情報を見たい曲を選ぶ。

2 オプションメニューで[表示] - [トラック情報]を選ぶ。



タイトルまたはアーティスト、ジャンルの全文を見るには、[タイトル]または[アーティスト]、[ジャンル]を選びます。

画面をスクロールするには、↑/↓ボタンを押します。

スリープタイマーを使う

本機の電源が自動的に切れるまでの時間を30分単位で決めることができます。急用で出かけるときや、眠るときに便利です。

1 スリープボタンを押す。

スリープタイマーのポップアップ表示が出ます。ボタンを押すたびに、以下のように表示が切り換わります。

OFF → 30 → 60 → 90 → 120 → 150 → 180
→ OFF …

設定したい時間を表示させるだけで登録は完了です。スリープタイマー中は、タイマーランプが点灯します。

！ご注意

- タイマーの動作中は、スリープタイマーの設定は取り消されません。
- タイマー録音が設定されている場合、タイマー予約開始時刻にまたがってスリープタイマーを設定することはできません。

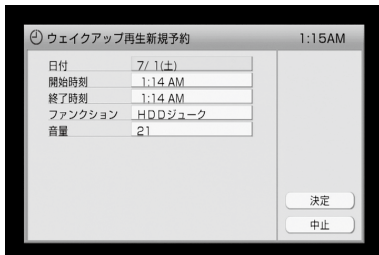
ウェイクアップタイマーを使う

毎日指定した時刻に自動的に電源が入り、自動的に切れるように設定できます。音楽の自動再生が可能です。あらかじめ時計を合わせておいてください(24, 84ページ)。最大3件まで登録できます。

1 タイマーボタンを押す。

予約一覧画面が表示されます。

2 オプションメニューで[新規予約]—[ウェイクアップ再生]を選ぶ。



3 各項目を設定する。

「ウェイクアップタイマー設定項目」の表にある各項目を選んで設定します。

4 [決定]を選ぶ。

予約が登録され、予約一覧画面に表示されます。

5 タイマーボタンまたは戻るボタンを押す。

タイマーが設定され、タイマーランプが点灯します。

設定した時刻になると、再生/受信が始まります。HDDジュークボックスファンクションの場合は、最後に再生した曲が再生されます。

CDやMD*ファンクションの場合は、最初の曲が再生されます。

おまかせチャンネルファンクションの場合は、起動時のチャンネルに設定されているチャンネルの曲が再生されます。起動時のチャンネルの変更については、46ページをご覧ください。

！注意

- すでにタイマーが設定されている時間帯は、重ねてタイマー設定することができません。
- タイマー開始時刻の約1分前から、一部の操作ができなくなります。
- タイマー開始直前に行っている操作によっては、タイマーの開始が遅れることがあります。

設定項目一覧

設定項目	設定値
日付	今日～4週間先までの月日 毎(日)～毎(土) 月一金 月一土 毎日
開始時刻	時/分
終了時刻	時/分
ファンクション	CD ◆ HDDジューク MD* おまかせチャンネル チューナー
音量	MIN～MAX

(◆:お買い上げ時の設定)

終了時刻以降も再生を続けるには

ウェイクアップ再生中にタイマーを解除することができます。終了時刻設定がキャンセルされるので、再生がそのまま続きます。

ウェイクアップタイマー動作中に、オプションメニューで[タイマーキャンセル]を選びます。

タイマー録音する

ラジオおよびオーディオ入力端子に接続してある外部機器からの音をタイマー録音できます。あらかじめ時計を合わせておいてください(24、84ページ)。最大10件まで登録できます。

！ご注意

タイマー録音中はサーバ機能が中断します。

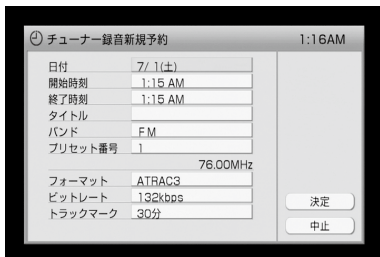
ラジオをタイマー録音する

本機のチューナーの音声をタイマー録音できます。あらかじめ時計とラジオ局を設定しておいてください。

1 タイマーボタンを押す。

予約一覧画面が表示されます。

2 オプションメニューで[新規予約] - [チューナー録音]を選ぶ。



3 各項目を設定する。

「タイマー録音設定項目」の表にある各項目を選んで設定します。

4 [決定]を選ぶ。

予約が登録され、予約一覧画面に表示されます。

5 タイマーボタンまたは戻るボタンを押す。

タイマーが設定され、タイマーランプが点灯します。

タイマー録音を途中で止めるには

■を押します。

終了時刻以降も録音を続けるには

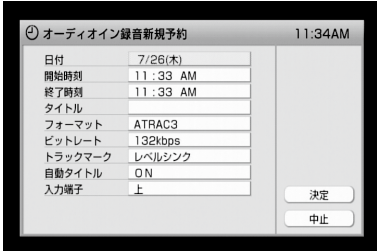
タイマー録音中にタイマーを解除することができます。終了時刻設定がキャンセルされるので、録音がそのまま継続します。

タイマー録音動作中に、オプションメニューで[タイマーキャンセル]を選びます。

！ご注意

- すでにタイマーが設定されている時間帯は、重ねてタイマー設定することができません。タイマーを「保留」することにより、新しいタイマーを優先させることもできます(94ページ)。
- 現在時刻に近い時刻を、終了時刻として設定することはできません。
- タイマー開始時刻の約1分前から、一部の操作ができなくなります。
- タイマー開始直前に行っている操作によっては、タイマーの開始が遅れることがあります。
- タイトルに何も入力しないときは、自動的に設定内容が入ります。
- タイマー録音中に音を出すには、消音ボタン、または音量+ボタンを押して、消音状態を解除してください。

外部機器の音楽をタイマー録音する

- 1 タイマーボタンを押す。
 - 2 オプションメニューで[新規予約]ー[オーディオイン録音]を選ぶ。
- 
- 3 各項目を設定する。
 - 4 [決定]を選ぶ。
 - 5 タイマーボタンまたは戻るボタンを押す。

タイマー録音を途中で止めるには

■を押します。

終了時刻以降も録音を続けるには

タイマー録音中にタイマーを解除することができます。終了時刻設定がキャンセルされるので、録音がそのまま継続します。

タイマー録音動作中に、オプションメニューで[タイマーキャンセル]を選びます。

設定項目一覧

設定項目	設定値
日付	今日～4週間先までの月日 毎(日)～毎(土) 月一金 月一土 毎日
開始時刻	時/分
終了時刻	時/分
タイトル	予約名
バンド(チューナーのみ)	◆ FM/AM
プリセット番号(チューナーのみ)	プリセット番号
フォーマット/ビットレート*1	◆ ATRAC3 66kbps 105kbps ◆ 132kbps ATRAC3plus 48kbps 64kbps 256kbps PCM MP3 96kbps 128kbps 160kbps 192kbps 256kbps
トラックマーク	10分/30分/60分/120分/ レベルシンク*2/オート(チューナーのみ)*3
自動タイトル(オーディオインのみ)*4	◆ ON/OFF
入力端子*5	◆ 上/後

*1 フォーマット/ビットレートについて詳しくは、27ページをご覧ください。

*2 レベルシンクについて詳しくは、28ページをご覧ください。またレベルシンクレベルの項目もあわせてご覧ください。

*3 「オート」について詳しくは、28ページをご覧ください。

*4 自動タイトルが「ON」のとき、設定項目の「タイトル」は上書きされます。

*5 オーディオインのみ。NAS-M95HD/M75HDのみ。

タイマー設定を確認する

1 タイマーボタンを押す。

予約一覧画面が表示されます。
もう一度タイマーボタンを押すと表示が消えます。



1	●	録音タイマー
	▶	ウェイクアップタイマー
2	タイトル	予約のタイトル名が表示されます。
3	日付	予約日が表示されます。
4	時刻	タイマー録音の開始/終了時刻が表示されます。
5	● (青)	待機中
	● (赤)	動作中
	● (グレー)	保留
	×	失敗 停電などにより録音ができなかった場合に表示されます。ただし、毎日または毎週など繰り返し予約された設定の場合は表示されません。失敗した予約内容は残りますので、削除してください(このページ)。

タイマーを削除するには

1 タイマーボタンを押す。

予約一覧画面が表示されます。

2 削除したい予約情報を選ぶ。

3 削除ボタンを押す。または、オプションメニューで[削除]を選ぶ。

確認画面が表示されます。

4 [はい]を選ぶ。

選んだ予約情報が予約一覧画面から削除されます。
[いいえ]を選ぶと操作がキャンセルされます。

5 タイマーボタンまたは戻るボタンを押す。

タイマーを変更するには

1 タイマーボタンを押す。

2 変更したい予約情報を選び、決定する。

予約変更画面が表示されます。

3 変更したい項目を選ぶ。

4 登録内容を変更する。

5 [決定]を選ぶ。

変更した予約情報が上書きされ、予約一覧画面に表示されます。

6 タイマーボタンまたは戻るボタンを押す。

イベント

オプションメニューでも同じ操作ができます。

定期的な予約を一時的に解除するには —保留

予約を保留すると、保留した予約時間中に他の予約を入れることができます。

1 タイマーボタンを押す。

2 保留したい予約情報を選び、決定する。

予約変更の画面が表示されます。

3 [この予約を]で、[保留にする]を選ぶ。

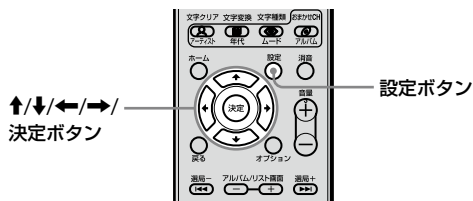
4 [決定]を選ぶ。

選んだ予約情報が保留され、選択中の予約情報のアイコンがグレーになります。

5 タイマーボタンまたは戻るボタンを押す。

本機の設定を変更する

画面の設定をする



画面サイズを変更するには

お好みに合わせて画面サイズを選ぶことができます。

- 1 設定メニューで[省電力/画面設定]を選ぶ。
設定画面が表示されます。
- 2 [本体表示]を選ぶ。
- 3 [ワイドズーム]または[ノーマル]を選ぶ。
- 4 [閉じる]を選ぶ。

！ご注意

モニター出力の映像には反映されません。

スクリーンセーバーを設定するには

何も操作しない状態が続くと、パソコンのようにスクリーンセーバーが働くように設定できます。

- 1 設定メニューで[省電力/画面設定]を選ぶ。
設定画面が表示されます。
- 2 [スクリーンセーバー]を選ぶ。
- 3 [ON]を選ぶ。

ON	何もボタンを押さない状態で15分経過すると、スクリーンセーバーが起動します。
◆ OFF	スクリーンセーバーは起動しません。

(◆:お買い上げ時の設定)

- 4 [閉じる]を選ぶ。

画面デザインを変えるには

本機の画面デザインを変えることができます。

- 1 設定メニューで[画面デザイン設定]を選ぶ。

- 2 デザインの選択で、[タイプ1]または[タイプ2]を選ぶ。
- 3 [決定]を選ぶ。
選択した画面デザインに変わります。

スタンバイモードの設定をする

- 1 設定メニューで[省電力/画面設定]を選ぶ。
- 2 [スタンバイモード]を選ぶ。
- 3 [高速起動]または[標準(省電力)]を選ぶ。

◆ 高速起動 (オン/スタンバイランプ: オレンジ)	電源を入れてから起動するまでが早いです。消費電力は高くなります。本機のサーバ機能が使えます*1。
標準(省電力) (オン/スタンバイランプ: 赤)	消費電力を抑えて本機を使えますが、電源を入れてから起動するまでに時間がかかります。本機のサーバ機能は使えません。

(◆:お買い上げ時の設定)

*1 設定メニューでサーバ機能を開始する必要があります(86ページ)。

- 4 [閉じる]を選ぶ。

👉ヒント

- 自動解析中(42ページ)は、電源ボタンを押して本機の電源を切ったとき、オン/スタンバイランプがオレンジ色に点灯します。
- 高速起動スタンバイの場合、電源が切れていても、ときどきファンが動作することがありますが、故障ではありません。

パソコンで共有フォルダを設定する

パソコンのフォルダを共有フォルダに設定しておくと、パソコンに保存された音楽や画像のデータを取込んだり、音楽データをパソコンにバックアップすることができます。設定について詳しくは、お使いのWindowsの取扱説明書、ヘルプをご覧ください。

！ご注意

共有フォルダに対応するパソコンは、以下のバージョンのWindowsが標準インストールされている必要があります(日本語標準インストールのみ)。

- Windows 2000 Professional
- Windows XP Home Edition
- Windows XP Professional
- Windows Vista Home Basic
- Windows Vista Home Premium
- Windows Vista Ultimate
- Windows Vista Business

下記では、例としてWindows XP Home Editionでの操作を説明します。設定について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書およびヘルプをご覧ください。

1 共有設定したいフォルダを右クリックして[共有とセキュリティ]を選ぶ。

2 [ネットワーク上でこのフォルダを共有する]および[ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する]をクリックしてチェックする。

3 [OK]をクリックして、フォルダのプロパティを閉じる。

！ご注意

ネットワーク上の共有フォルダは、半角英数字のみで名前をつけてください。

共有フォルダを利用するにはコンピュータ名とIPアドレスが必要です。

コンピュータ名を確認するには

(Windows XP Home Editionの場合)

スタートメニューで[コントロールパネル]→[システム]を選び、システムのプロパティ画面の[コンピュータ名]タブをクリックすると、[フルコンピュータ名]欄に表示されます。

(Windows Vista Home Premiumの場合)

スタートメニューで[コントロールパネル]→[システム]を選ぶと、コンピュータ名、フルコンピュータ名が表示されます。

IPアドレスを確認するには

(Windows XP Home Editionの場合)

スタートメニューで[コントロールパネル]→[ネットワーク接続]を選んでから、使用しているネットワークを選び、[サポート]タブをクリックすると、表示されます。

(Windows Vista Home Premiumの場合)

スタートメニューで[コントロールパネル]→[ネットワークと共有センター]を選び、[接続]の[状態の表示]をクリック、[詳細]をクリックすると、表示されます。

システムを管理する

データをバックアップする

本機のHDDジュークボックスに保存した音楽データを、ネットワーク上のPC共有フォルダや、本機に接続したUSBハードディスクに一括コピーしてバックアップしたり、バックアップしたデータを本機に復元することができます。

また、前回のバックアップデータがある場合、その差分のみをバックアップすることで、バックアップにかかる時間を短縮することができます。

なお、バックアップしたデータを本機に復元する際に、音楽データの有効化が必要です。音楽データの有効化をするには、インターネット経由での認証が必要になるため、音楽データを不正に複製することができないようになっています。データがある程度たまってきたら、万一に備えてデータをバックアップしておくことをおすすめします。

！ご注意

バックアップしたデータを復元するには、本機をインターネットに接続している必要があります。

バックアップに必要なハードディスクの形式と容量

本機のデータをUSBハードディスクにバックアップするためには、FAT32形式でフォーマットされたUSBハードディスクが必要です。

ご使用量以上の容量のHDDをご用意ください。本機のHDDの使用可能容量については、99ページを、HDDの残量については設定メニューの[システム情報]をご覧ください。

！ご注意

- 本機に保存されているデータ量やUSBハードディスク、パソコン、ネットワークの状態により、バックアップには長時間(最長数十時間)かかることがあります。
- バックアップしたデータは、本機以外(パソコンなど)にコピーして利用することはできません。
- USBハードディスクをパソコンなどで既にFAT32形式でフォーマット済みの場合、第一パーティションにバックアップします。このパーティションに必要な空き容量がない場合はバックアップできません。お使いのパソコン等でパーティションを変更して、空き容量を確保してください。
- USBハードディスクをフォーマットしていない場合、本機で第一パーティションをFAT32形式でフォーマットしたあと(99ページ)、バックアップしてください。
- 本機の時計が正しく設定されていないと、差分バックアップが正しく行われないことがあります。

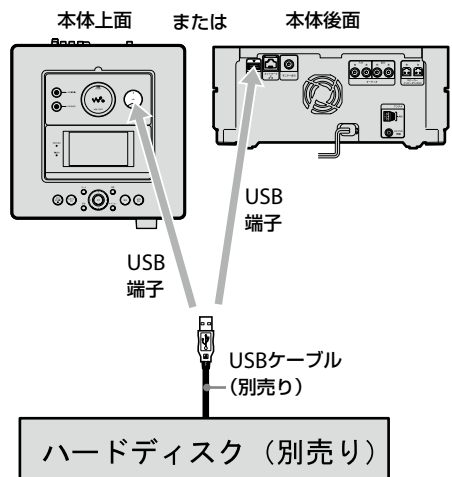
USBハードディスクにバックアップするには

本機のハードディスク内の音楽のデータをUSBハードディスク(別売り)に保存(バックアップ)します。

1 USBケーブルを使って本機のUSB端子にハードディスクをつなぐ。

！ご注意

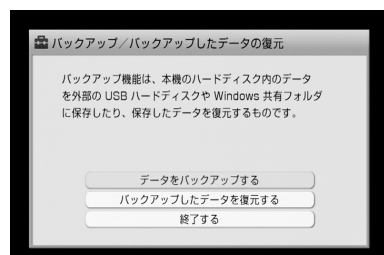
- 上面、後面両方のUSB端子に接続した場合、上面に接続された機器が優先されます。
- 後面につないだUSBハードディスクをバックアップ対象とする場合は、上面のUSB端子につないでいる機器は、はずしてください。



- 外付けハードディスク側のUSB端子の形状は機種によって異なります。
- 本機で使用できるUSBハードディスクの機種は、<http://www.sony.co.jp/netjuke-support/>をご覧ください。本機に対応していないUSBハードディスクをつなぐと、故障の原因となることがあります。

2 設定メニューで[バックアップ]を選ぶ。

バックアップ設定画面が表示されます。



3 [データをバックアップする]を選ぶ。

バックアップ先のドライブ選択画面が表示されます。

4 [USBハードディスク]を選ぶ。

ドライブの確認画面が表示されます。

5 画面の内容を確認し、[はい]を選ぶ。

バックアップが始まります。

バックアップが終わると「バックアップが正常に終了しました」と表示されます。

過去のバックアップデータがあるときは

- 1 上記の手順5で[フルバックアップ]または[差分バックアップ]を選ぶ。

フルバックアップ	既存のデータに上書き保存する。
差分バックアップ	既存のデータ以外のデータを保存する。
戻る	バックアップを中止し、前の画面に戻る。

- 2 [はい]を選ぶ。

バックアップが始まります。

バックアップが終わると「バックアップが正常に終了しました」と表示されます。

バックアップを途中でやめるには

- 1 バックアップ中に[中止]を選ぶ。

確認画面が表示されます。

- 2 [処理を中止]を選ぶ。

パソコンにバックアップするには

本機のハードディスク内の音楽のデータをお手持ちのパソコンのハードディスクに保存(バックアップ)します。

1 共有フォルダを設定する(96ページ)。

2 設定メニューで[バックアップ]を選ぶ。

バックアップ設定画面が表示されます。

3 [データをバックアップする]を選ぶ。

バックアップ先のドライブ選択画面が表示されます。

4 [ネットワーク上のWindows共有フォルダ]を選ぶ。

5 以下の手順で設定する。

- ① 項目を選ぶ。

コンピュータ名	コンピュータ名またはIPアドレスを入力(半角英数字で15文字まで)
共有名	共有フォルダを設定したとき(96ページ)につけた共有名
ユーザー名	共有フォルダを設定したときにアクセス許可したユーザー名
パスワード	共有フォルダにパスワードがかかっているときのみ必要

- ② 文字を入力する。

入力できる文字は、半角英数字のみです。

- ③ [確認]を選ぶ。

6 過去のバックアップデータがあるときは手順7に進む。

過去のバックアップデータがないときは、手順8に進んでください。

7 [フルバックアップ]または[差分バックアップ]を選ぶ。

フルバックアップ	既存のデータに上書き保存する。
差分バックアップ	既存のデータ以外のデータを保存する。
戻る	バックアップを中止し、前の画面に戻る。

8 [はい]を選ぶ。

バックアップが始まります。

バックアップが終わると、「バックアップが正常に終了しました。」と表示されます。

バックアップを途中でやめるには

- 1 バックアップ中に[中止]を選ぶ。

確認画面が表示されます。

- 2 [処理を中止]を選ぶ。

【ご注意】

- バックアップを途中でやめるとバックアップ先のデータが不完全になり、そのデータを復元することができなくなります。その場合は、もう一度最初からフルバックアップしてください。
- USBハブは使用できません。
- USB延長ケーブルをご使用の場合の動作の保証はできません。
- バックアップ中にUSBケーブルやネットワークケーブルを引き抜いたり、機器の電源を切らないでください。故障の原因となります。
- ネットワーク上の共有フォルダは、半角英数字のみで名前をつけてください。

データを復元する

USBハードディスクにバックアップしたデータを復元するには

外付けのUSBハードディスクにバックアップしたデータを本機に戻します。

1 バックアップ設定画面で[バックアップしたデータを復元する]－[USBハードディスク]を選ぶ。

復元の確認画面が表示されます。

2 画面の内容を確認し、[はい]を選んでいく。

インターネットに接続して認証が行われます。認証が終わると、復元が始まります。

復元が終わると、「データの復元が正常に終了しました。」と表示されます。

復元中に[中止]を選ぶと、復元がキャンセルされません。

パソコンにバックアップしたデータを復元するには

ネットワーク上の共有フォルダにバックアップしたデータを本機に戻します。

1 バックアップ設定画面で[バックアップしたデータを復元する]－[ネットワーク上のWindows共有フォルダ]を選ぶ。

2 PC共有フォルダの設定をして、[確認]を選ぶ。

3 画面の内容を確認し、[はい]を選んでいく。

インターネットに接続して認証が行なわれます。認証が終わると復元が始まります。

復元が終わると、「データの復元が正常に終了しました。」と表示されます。

復元中に[中止]を選ぶと、復元がキャンセルされません。

USBハードディスクをフォーマットするには

1 設定メニューで[バックアップ]を選ぶ。

バックアップ設定画面が表示されます。

2 オプションメニューで[USB-HDDのフォーマット]を選ぶ。

確認画面が表示されます。

3 画面の内容を確認し、[はい]を選んでいく。

USBハードディスクのフォーマットが始まります。フォーマットが完了すると、「USBハードディスクのフォーマットが正常に終了しました。」というメッセージが表示されます。

4 [終了する]を選ぶ。

バックアップ設定画面に戻ります。

【ご注意】

- バックアップしたデータの復元を途中でやめると、本機のハードディスクのデータが不完全になり、本機が正常に動作しなくなることがあります。その場合は、バックアップしたデータをもう一度最初から復元してください。
- フォーマット開始後、途中で中止することはできません。
- USBハブは使用できません。
- USB延長ケーブルをご使用の場合の動作の保証はできません。
- データの復元中にUSBケーブルやネットワークケーブルを引き抜いたり、機器の電源を切らないでください。故障の原因となります。

システム情報を確認する

本機のハードディスクの残量、アプリケーションのバージョン情報、システムマイコンのバージョン情報などを確認することができます。

1 設定メニューで[システム情報]を選ぶ。

【ヒント】

HDD残量は、本機の音楽データを記録する領域の残量を示しています。実際の使用可能領域(100%時)は以下のとおりです。

NAS-D55HD:約69GB

NAS-M75HD:約69GB

NAS-M95HD:約225GB

本体ソフトウェアを更新する

本体ソフトウェアをダウンロードすることで、新しい機能が追加されるなど、本機をより便利にお使いいただけるようになります。

バージョンアップが可能な場合、本機がインターネットにつながっていると、電源を入れたときに画面にメッセージが表示されます。

！ご注意

更新中は電源を切ったり、ネットワークケーブルを抜かないでください。

1 設定メニューで[バージョンアップ]を選ぶ。

バージョンアップ画面が表示されます。

2 画面の指示に従って操作する。

バージョンアップが始まります。バージョンアップには数十分かかることがあります。更新終了後、自動的に再起動します。

システムを初期化する

本機をお買い上げ時の状態に戻します。録音や取込みでHDDジュークボックスに保存した音楽データだけでなく、時計合わせやインターネットの設定などの、すべての情報が消去されるので、ご注意ください。なお、[バージョンアップ]で更新された内容は消去されません。

1 設定メニューで[システム初期化]を選ぶ。

システム初期化の確認画面が表示されます。

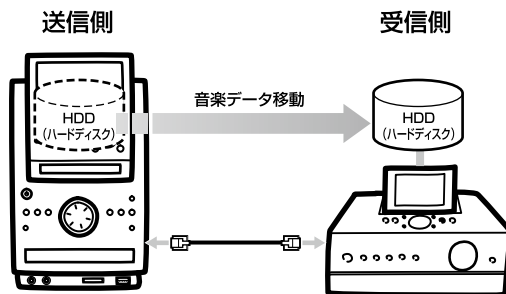
2 [はい]を選ぶ。

初期化が始まります。

途中で数回自動的に再起動してから数分後に作業が終了し、電源が切れます。

音楽データを移動する

本機のHDDジュークボックスに保存している音楽データを他のネットジュークに移動したり、他のネットジュークのHDDジュークボックスに保存している音楽データを本機に移動することができます。他のネットジュークに音楽データを移動すると、移動した音楽データは送信側から削除されます。データを移動するには、送信側と受信側のそれぞれの機器の設定メニューに[音楽データ移動]の項目が必要です。項目がない場合は、バージョンアップを行ってください(このページ)。



必ずお読みください

音楽データの移動には時間がかかる場合があります。

例: 5,000曲で約20時間

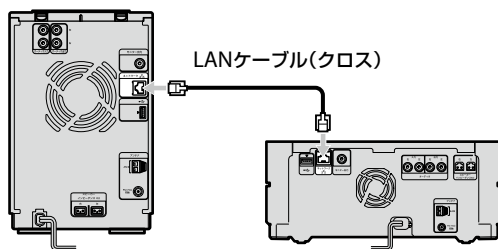
音楽データの移動を中断し、中断したところから再開することができます。

中断した場合でも、送信側、受信側ともに通常どおりお使いできます。

！ご注意

- 音楽データを移動すると、送信側のネットジュークからその音楽データは削除されます。
- 音楽データの移動を中断した場合、移動されていない音楽データは送信側に残ります。
- 音楽データの移動中に、送信側や受信側のネットジュークの電源を切ったり、リセットしたりしないでください。
- 転送回数制限のある曲を他のデバイスに転送したまま、本機で音楽データの移動を実行すると、送信側と受信側の両方で転送回数を戻すことができません。
- 送信側より受信側のほうが古い機種の場合、音楽データを移動することはできません。
- 以下のデータは移動できません。
 - HDDジュークボックスのお気に入りリスト
 - “エニーミュージック”で設定されたブックマーク
 - “エニーミュージック”での登録情報 (ANY MUSIC ID、ニックネーム、パスワード)
 - 設定情報 (ネットワーク設定、タイマー予約など)
- 送信側より新しい機種にデータを移動した場合、おまかせチャンネルを使うには、解析する必要があります。
- 送信側のネットジュークで、おまかせチャンネル間で移動した曲は、受信側で元のチャンネルに戻ります。

1 送信側と受信側を別売りのLANケーブル(クロス)でつなぐ。



！ご注意

一般のLANケーブル(ストレート)は使えません。通常ネットワークに接続する際はLANケーブル(ストレート)を使用しています。LANケーブル(ストレート)とLANケーブル(クロス)は形状が同じですのでご注意ください。

2 送信側の機器で、設定メニューから[音楽データ移動]を選ぶ。

3 「音楽データ移動 はじめにお読みください」をお読みの上、[次へ]を選ぶ。

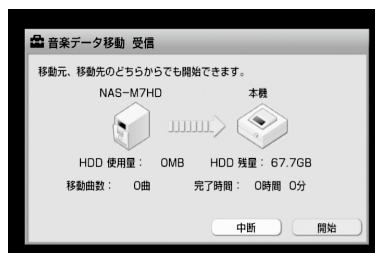
複数の画面が表示されます。

4 「移動方向」で、データを移動する方向を設定し、[接続確認]を選ぶ。

5 受信側で手順2～4の操作を行う。

受信側のHDDの容量不足や、フォルダ数制限などにより、すべてのデータを移動できない場合はメッセージが表示されます。データの移動を中断する場合は[閉じる]ボタンを選んで、手順6で[中断]を選んでください。中断した場合、本機を再起動します。

6 音楽データ移動の送信画面が表示されたら[開始]を選ぶ。



7 [はい]を選ぶ。

データの移動が開始されます。データの移動が完了すると、再起動後本機の電源は自動的に切れます。

故障かな？と思ったら

本機をご使用中にトラブルが発生した場合は、ソニーの相談窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れに従ってチェックしてみてください。メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

1 本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べます。また、別紙の「エニーミュージック」からのご案内にもさまざまな情報があります。該当する項目を調べてください。

2 「ネットジューク」ホームページで調べる

<http://www.sony.co.jp/netjuke-support/>で調べます。
最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。

3 それでもトラブルが解決しないときは

ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店にご相談ください。

本機のリセット方法について

通常は本機をリセットする必要はありません。しかし、まれに本体が異常終了して、ボタンや画面上の操作に反応しなくなってしまうことがあります。このような場合は、本体の■ボタン(共通停止ボタン)を押しながら本体の電源ボタンを押して、本機をリセットしてください。

電源

Q 電源が入らない。

- A 電源コードを電源コンセントにしっかり差し込む。
- A 電源コードをコンセントからははずす。約1分後、もう一度コンセントにコードを差し込み、I/O(電源)ボタンを押して電源を入れる。

Q 電源コードを差し込み、電源を入れると、「ただいま起動中です」「しばらくお待ちください」「設定後、自動的に電源が切れます」と表示され、電源が切れる。

- A 本機は電源コードを差して電源を入れると、内部の設定を行いスタンバイモードに入るので、異常ではありません。
I/O(電源)ボタンをもう一度押すと電源が入ります。

Q 「ただいま起動中です」「しばらくお待ちください」「設定後、自動的に電源が切れます」と表示されたまま、電源が切れるまで時間がかかる。

- A 本体に大量の曲が保存されている場合、電源が切れるまで時間がかかることがあります。

Q 電源を入れて「ただいま起動中です」「しばらくお待ちください」と表示されてから、起動するまで時間がかかる。

- A ブロードバンドルーターのない環境で本機をお使いになる場合、電源を入れたあと、本機のIPアドレスを自動的に取得して本機が起動するまで、約30秒かかることがあります。
- A 本機のIPアドレスが他の機器で使用している数値になっている。
他の機器と異なるIPアドレスに設定し直してください。

Q 電源が切れない。

- A 初期設定中や起動中には、I/O(電源)ボタンが効かないことがあります。
- A 本機が自動解析しているときは、オン/スタンバイランプがオレンジ色に点灯し、イルミネーションランプがゆっくりと点滅します。解析を中断して電源を切るには、■ボタンを押してください。
- A 本機をサーバ(親機)としてクライアント(子機)で再生中は電源ボタンを押すとイルミネーションがゆっくりと点滅してサーバ動作を継続します。電源を切るには■ボタンを押してください。
- A オン/スタンバイランプが赤色のとき、電源コードをコンセントから抜いても、しばらく点灯している場合があります。

Q 電源を切ったのに本体から音が出る。または本体が温かい。

- A 本機のスタンバイモード設定が高速起動モードの場合、本機の内部の一部が稼働しており、そのためファンが回ることがあります。

画面

Q 画面が乱れる。

- A 本機が衝撃や振動に反応した。安定した場所で使用してください。
- A ハードディスクの特性上、ごくまれに画面が乱れることがありますが、故障ではありません。

音声

Q 音が出ない。

- A 消音ボタン、または音量+/-ボタンを押して、消音状態を解除する。
タイマー録音中は、消音状態になっています。
- A 一時停止を解除する。
- A ヘッドホン端子に何も接続されていないことを確認する。
- A 外部機器の接続と、オーディオインファンクションの入力端子の設定があっているか確認する。
- A スピーカーコードをしっかり差し込む。

Q 左右の音のバランスが悪い、または逆転している。

A スピーカーおよび各機器を正しく接続する。

Q 音に奥行き感がなく、モノラルのように聞こえる。

A スピーカーおよび各機器を正しく接続する。

Q ブーンという音がする。ノイズがひどい、音が歪む。

A スピーカーおよび各機器を正しく接続する。

A 音声接続コードをディスプレイや蛍光灯、その他の機器から離してみる。

A ディスプレイやテレビと本機を離して設置する。

A プラグや端子が汚れているときは、アルコールで少し湿らせた布で拭き取る。

A ディスクに汚れ、傷がある。

HDDジュークボックス

Q CDから録音できない。

A ディスクが音楽CD規格に準拠していない。

A ディスクが傷ついていたたり、汚れている。

A MP3CDは録音できません。

Q MDから録音できない*。

A ディスクが傷ついていたたり、汚れている。

Q MDから録音中に音が再生できない*。

A デジタル録音のときは、音は再生されません。

Q ファイルが取込めない。

A 一度に取込めるのは、10,000曲までです。USBメモリの場合は曲を削除する、PC共有フォルダの場合はフォルダを分けるなどして、10,000曲以下にしてから取込んでください。

A 著作権保護のかかったファイルを取込むことはできません。

A 拡張子が「.mp3」、「.oma」以外の曲を取込むことはできません。

Q MDに転送できない。「選択した曲は転送できません」と表示される*。

A MDが誤消去防止状態になっている。

A MDの空き容量が足りない。

A 転送回数が制限を越えている。

A Hi-MDなどの、対応していないディスクを入れている(117ページ)。

A 1秒未満の曲は転送できません。

A MDに転送できるのは、最大254曲です。

Q MDからの録音が等速録音になる*。

A パソコンや本機などから転送された曲がMDに含まれている場合はアナログ録音になります。

Q ポータブル機器に接続できない。

A 本機の上面、後面両方にUSBケーブルを接続しているときは、一方をはずす。

A 接続しているUSBケーブルを接続し直す。

Q USBメモリへの転送で、フォルダ名が途中で切れる。

A USBメモリへ転送されるフォルダ名の最大サイズは78バイトです。

転送されるフォルダ名の最大文字数の目安:

- 日本語でおよそ26文字
- アルファベットでおよそ78文字

Q MDグループ/トラック削除画面で曲名が表示されない*。

A [表示切替]を選ぶ。半角/全角の表示が切り換わります。

Q 表示されない曲がある。

A モードによっては、すべての曲が表示されないことがあります。

Q MP3音声再生できない。

A 不正なフォーマットで録音されたMP3音声を再生しようとした。

Q アルバム、アーティストなどの並び替えができない。

A フォルダモード、プレイリストモードでは並び替えはできません。

Q 編集できない。

A ファンクションによっては、編集できない項目があります。

Q 編集に時間がかかる。

A HDDジュークボックス内のアルバムや曲の数によっては時間がかかることがあります。

A リニアPCM形式の曲を編集する場合は時間がかかることがあります。

Q 曲名が変更できない。

A モードや階層によっては、曲名が変更できない場合があります。

Q タイトル情報を取得できない。

A インターネットに接続していない。

A Gracenote® Music Recognition Serviceのデータベースに該当するタイトル情報が存在しない(79ページ)。

A 曲の先頭から録音されていないなど、録音状況が悪い場合、タイトル情報が取得できないことがあります。

A 15秒以下の曲のタイトル情報は取得できません。

Q 曲をつなげない。

A 結合後の合計演奏時間が120分を超えている。

A 結合する2曲のフォーマットが異なる(例:リニアPCM形式とATRAC3形式)。

A 結合する2曲のビットレートが異なる(例:105kbpsと132kbps)。

A "エニーミュージック"で購入した曲を選んでいる。

A MP3形式の曲を選んでいる。

Q 結合/分割を繰り返していたら、曲を結合できなくなった。

A ハードディスクのシステム上の制約です。故障ではありません。

Q ラジオ録音がトークと音楽に自動判別されない。

A 録音設定の「トラックマーク」設定が「オート」になっているか確認する。

Q 曲を分けられない。

A 曲の分割位置を先頭または最後付近に指定している。

A 分割後のHDDジュークボックスの全曲数が40,000曲を超えてしまう。

A "エニーミュージック"で購入した曲を選んでいる。

A MP3形式の曲を選んでいる。

A フォルダモード以外のモードになっている。

Q パソコンの共有フォルダに接続できない。

- A** コンピューター名、共有フォルダ名、ユーザー名を半角英数で入力してください。
- A** Windows やウイルス対策ソフトのファイアウォールなどのセキュリティ機能を無効にしてください。ただし、共有フォルダの利用後は、設定を元に戻してください。

Q SonicStageで保存した曲が取込めない。

- A** 著作権保護がかかっている曲は取込めません。SonicStageのフォーマット変換で著作権保護を解除してください。詳しくはSonicStageのヘルプをご覧ください。ただし、音楽ダウンロードサイトから購入した著作権保護のかかった曲は取込めません。

おまかせチャンネル

Q チャンネルが表示されない。

- A** 5曲貯まると、チャンネルが表示されます。

Q 思ったチャンネルに曲が入っていない。

- A** 12音解析技術に基づいて分類されますので、思ったチャンネルに入らないことがあります。チャンネルを削除することはできませんが、非表示にしたり(46ページ)、別のチャンネルに移動する(45ページ)ことはできます。

Q チャンネルに曲が入っていない。

- A** 一部のチャンネルは、曲が入っていない場合でも、常に表示されるように設定されています(43ページ)。
- A** 録音設定で「トラックマーク」を「オート」に設定していないと、エアチェックチャンネルに曲は入りません。

Q 年代MIXがうまく働かない。

- A** 年代MIXチャンネルに入っている曲は、リリースされた年の情報のある曲に限ります。
- A** 年代MIXチャンネルの年代は、必ずしも初版年ではありません。アルバムまたは曲に入っているCD情報のリリース年を基準としています。

CD

Q 再生が始まらない。

- A** ディスクが入っているか確認する。
- A** ディスクのラベル面を上にする(47ページ)。
- A** ディスクが斜めにずれて入っているときは、正しく入れ直す。
- A** 再生できないディスクを入れている(117ページ)。
- A** 結露している。ディスクを取り出して電源を切った状態で約30分放置し、再びディスクを入れる(115ページ)。

Q 再生できない。音飛びが入る。

- A** ディスクがCD規格に準拠していない。
- A** ディスクが傷ついていたたり、汚れている。

Q 再生されない曲がある。

- A** マルチセッションディスクの音楽用CDフォーマットは、最初のセッションに記録されている曲しか再生できません。

Q MP3音声再生できない。

- A** ISO9660レベル1、2またはJolietに準拠していないMP3ファイルが記録されている。
- A** 拡張子「.mp3」が付いていないMP3形式のファイルは、再生できません。MP3形式以外のファイルに拡張子「.mp3」が付いていると、そのファイルを再生しようとしてしまうため、雑音や故障の原因となります。
- A** 拡張子は「.mp3」だが、MPEG-1 Audio Layer3以外のデータ形式になっている。

Q アーティスト名が表示されない。

- A MP3CDでは、メイン画面にアーティスト名は表示されません。トラック(ID3)詳細情報画面で確認できます(49ページ)。

Q タイトル情報を取得できない。

- A インターネットに接続していない。
- A 本機にディスクが入っていない。
- A MP3モードになっている。
- A Gracenote® Music Recognition Serviceのデータベースに該当するタイトル情報が存在しない(79ページ)。

MD*

Q 再生が始まらない。

- A MDが入っているか確認する。
- A 楽曲が入っていないMDを入れている。
- A 結露している。MDを取り出して電源を切った状態で約30分放置し、再びMDを入れる。

Q 操作できない。音飛びが入る。

- A MDが傷ついていたたり、汚れている。

Q 曲名が表示されない。

- A 曲名が入力されていない。
- A 半角/全角の設定が異なっている。オプションメニューで[表示] - [タイトル表示]で全角、半角を切り換えてください。

Q HDDジュークボックスに録音中、音が再生できない。

- A デジタル録音のとき、音は再生されません。

チューナー(ラジオ)

Q 放送が受信できない。

- A アンテナを正しく接続する。
- A アンテナの向きなどを調節する。
- A 屋外アンテナを使用する。

Q オンエア情報が表示されない。

- A "エニーミュージック"に登録していない。
- A ラジオ局がNOW ON AIR機能を提供していない。
- A ユーザーID、パスワードを保存していないか、または"エニーミュージック"への認証に失敗した可能性があります。画面の指示に従って操作してください。再接続するには、以下の操作を行ってください。
 - ① オプションメニューで[Any Musicに接続]を選ぶ。
 - ② 項目を選ぶ。
[ユーザーIDとパスワードを]を選んだときは、プルダウンメニューが表示されるので、[保存する]または[保存しない]を選びます。
 - ③ 文字を入力する。
 - ④ 手順2と3を繰り返して、必要な項目を入力する。
 - ⑤ 入力が終わったら、[接続]を選ぶ。
- A AMラジオを選んでいる。
- A オートチューニング、またはマニュアルチューニングで受信している。
- A FM局を登録するときに[新規に入力する]を選んでいる。
- A ネットワークの接続・設定が正しくない。

インターネット

Q インターネットに接続できない。

- A** ネットワーク設定が間違っている。ご利用の回線事業者またはプロバイダに問い合わせる。
- A** 設定メニューで[ネットワーク設定] - [ネットワーク状態確認]を選び、現在のネットワーク状態を確認する。
- A** ブロードバンドルーターを正しく設定し直す。ブロードバンドルーターの設定については、ブロードバンドルーターの取扱説明書、プロバイダの資料をご覧ください。
- A** ネットワークケーブルをしっかりとなく。
- A** 正しいネットワークケーブルを使って接続する(71ページ)。
- A** ルーター機能のないモデムに直接接続している。ルーター経由で接続してください。
- A** 同時に1つの端末しかインターネットに接続できない契約の場合、他の端末を先に接続しているときは接続できません。
- A** ご利用の回線事業者、またはプロバイダに問い合わせる。
- A** 本機を無線LANでインターネットに接続している場合、電波の状況により、接続できないことがあります。

Q ADSLに接続できない。

- A** スプリッターのDSLポートとTEL (TELEPHONE)ポートを間違えている。
- A** ADSLモデムやブロードバンドルーターのランプが正しく点灯しているか確認する。各機器の取扱説明書をご覧ください。

Q 無線LANが繋がらない。

- A** ご使用の無線LANアダプターを確認してください。対応機種はサポートページをご覧ください。
- A** 無線LANは電波状況の影響を受けます。電子レンジなどの機器の近くでは電波状況が悪くなる場合があります。USB無線LANアダプターにUSB延長ケーブルを使用して電波の受信に最適な位置に設置してください。

Q アクセスポイントが見つからない。

- A** USB延長ケーブルを使用して電波の受信に最適な位置に設置してください。

ANY MUSIC

Q “エニーミュージック”に接続できない。

- A** ネットワーク設定が間違っている。ご利用の回線事業者またはプロバイダに問い合わせる。
- A** 設定メニューで[ネットワーク設定] - [ネットワーク状態確認]を選び、現在のネットワーク状態を確認する。
- A** 日付が間違っている。時計を合わせる(24, 84ページ)。
- A** ブロードバンドルーターを正しく設定し直す。ブロードバンドルーターの設定については、ブロードバンドルーターの取扱説明書、プロバイダの資料をご覧ください。
- A** “エニーミュージック”に問い合わせる。
<http://www.anymusic.jp/>

Q 試聴している曲が途切れる。

- A** ネットワーク環境により、音楽が途切れることがあります。
- A** 本機を無線LANでインターネットに接続している場合、電波の状況により、音が途切れることがあります。

Q “エニーミュージック”からダウンロードした曲が再生できない。

- A** 利用条件を詳細情報で確認してください。

ホームネットワーク

本機をクライアントとして使う場合

Q サーバに接続できない(エラーメッセージが表示される)。

A ネットワークケーブルが抜けていないか確認する。

A ハブ(スイッチ)付きルーターやハブをお使いの場合は、ハブ(スイッチ)付きルーターやハブの電源が入っているか確認する。

A サーバの電源が入っているか確認する。

A 本機のIPアドレスが正しく取得できているか確認する。

A 「DHCP」の設定で「すべて自動設定」にしている場合、正しく取得できている場合は「IPアドレス」の設定画面にIPアドレスが表示されます。IPアドレスが表示されない場合は、下記の項目を確認してください。

- ハブ、ブロードバンドルーターの電源が入っているか(詳しくは、ハブ、ブロードバンドルーターに付属の取扱説明書をご覧ください)。
- 本機の電源を入れるよりも先に、ブロードバンドルーターの電源を入れたか(71ページ)。
- 本機とハブ、ブロードバンドルーターとはネットワークケーブルで接続されているか。
- ネットワーク接続環境に合わせて、本機のIPアドレス取得方法が正しく設定されているか。

A サーバの初期設定が正しく行われているか確認する。

A サーバでインターネット接続ファイアウォール(ICF)機能を無効にしてください。

A サーバ側で本機の機器登録がされているか確認する。
サーバで本機の機器登録を削除しても、本機に表示されるサーバ一覧には残っている場合があります。

A 機器登録をやり直してください。

A ホームネットワーク機能で本機からサーバに接続できない場合は、サーバを再起動してください。

A オプションメニューで[表示] - [最新情報に更新]を選んでみる。画面にサーバが表示されるまで、時間がかかることがあります。

Q 前回接続したサーバに接続できない。

A 本機とサーバをクロス変換ケーブルで接続している場合は、自動接続できないことがあります。ハブを経由して接続してください。

Q 本機をバイオに登録できない。

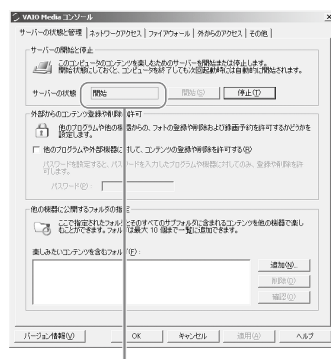
A ネットワークの接続は正しいか確認する。下記の項目を確認してください。

- 「確認番号を発行する」のチェックを外しているか。
- ハブ、ブロードバンドルーターの電源が入っているか(詳しくは、ハブ、ブロードバンドルーターに付属の取扱説明書をご覧ください)。
- 本機の電源を入れるよりも先に、ブロードバンドルーターの電源を入れたか。
- 本機とハブ、ブロードバンドルーターとはネットワークケーブルで接続されているか(71ページ)。
- ネットワーク接続環境に合わせて、本機のIPアドレス取得方法が正しく設定されているか(76ページ)。

Q サーバ選択画面にサーバが表示されない。

A オプションメニューで[表示] - [最新情報に更新]を選んでみる。画面にサーバが表示されるまで、時間がかかることがあります。

A 「ミュージックサーバ」が起動しているか確かめる。
VAIO Mediaをご使用の場合は、「VAIO Mediaコンソール」画面で、「状態」が「開始」になっていることを確認してください。



ここが「開始」になっていることを確認する。

Q サーバに接続するまで時間がかかる。

- A** ブロードバンドルーターのない環境で本機をお使いになる場合、電源を入れたあと、本機のIPアドレスを自動的に取得し、本機とサーバが接続するまで、約30秒かかることがあります。
- A** 本機のIPアドレスが、他の機器で使用している数値になっている。他の機器と異なるIPアドレスに設定し直してください。

Q 途中からサーバに接続できなくなった。または再生できなくなった。

- A** ブロードバンドルーターのない環境で本機をお使いになる場合、途中からブロードバンドルーターを接続すると本機のIPアドレスが変更され、接続できなくなることがあります。サーバ選択画面で最新情報に更新してください(「サーバ選択画面にサーバが表示されない」参照)。

Q 音が途切れる。

- A** ネットワーク環境により、音楽が途切れることがあります。
- A** サーバに負担がかかりすぎている。サーバ上で動作しているアプリケーションを終了してください。
- A** 本機を無線LANでインターネットに接続している場合、電波の状況により、音が途切れることがある。

Q 曲のフォーマットがサーバと本機で異なって表示される。

- A** 本機では、ネットワーク経由で再生するときのフォーマットが表示されるため、サーバ上で表示されるフォーマットとは異なる場合があります。

Q 「非対応フォーマットの曲が見つかりました」と表示され、再生できない。

- A** サーバ上で曲のファイルが壊れていたり、削除されていないか確認してください。詳しくは、ご使用のサーバの取扱説明書をご覧ください。
- A** 本機では非対応のフォーマットの曲です。

本機をサーバとして使う場合

Q クライアント(子機)からサーバ(親機)が見えない。またはサーバに接続できない。

- A** ネットワークが正常でないため接続できません。ネットワークの状態を確認してください。
- A** 工場出荷時、本機のサーバ機能は停止しています。サーバ設定の[サーバ機能]からサーバを開始してください。
- A** 電源コードをコンセントに差し込んだ直後は本機のサーバ機能は停止しています。I/⏻(電源)ボタンを押してサーバ設定を確認してください。
- A** サーバ接続が拒否されています。サーバ設定の[接続機器 手動設定]で確認してください。
- A** 本機に接続可能なクライアント数の上限の20台を超えています。サーバ設定の[接続機器 手動設定]で確認して、不要な接続機器を削除してください。
- A** ネットワーク環境によっては自動で接続が許可されない場合があります。サーバ設定の[接続機器 手動設定]から手動で機器登録を行ってください。
- A** 本機が次の場合、サーバ動作は中断します。操作が終わってから、再度接続してください。録音中、取込み中、編集中、おまかせチャンネル手動解析中、バージョンアップ実行中、画面デザイン設定表示中、音楽データ移動実行中

Q クライアント(子機)で曲が表示されない。

- A** クライアント側で再生できないフォーマットを再生させる場合は本機をホームネットワークファンクションにする。ただし、この場合、接続できるクライアントは1台のみとなります。

Q クライアント(子機)で曲が再生できない。

- A** 本機に接続して再生できるクライアント数の上限を超えています。
別のクライアントを停止させることで再生できるようになります。
- A** ネットワーク環境によっては複数のクライアントで同時に再生できないことがあります。
別のクライアントを停止させることで再生できるようになります。
- A** 録音や編集の操作が行なわれた場合、曲の情報を更新します。そのため情報が取得できないことがあります。その場合は、クライアント側で情報更新を行なってください。

Q クライアント(子機)の再生を止めてもSERVERランプが点灯している。
接続数の表示が一致しない。

- A** クライアントがサーバのデータを読み込むタイミングによって表示が一致しないことがあります。

タイマー

Q タイマー録音されていない。

- A** 日付や時刻を正しく設定する(24、84ページ)。
- A** 予約待機中に停電があったか、電源コードが抜かれた。
- A** 本機が衝撃や振動に反応した。安定した場所で使用する。

Q ウェイクアップタイマーで予約した音楽が再生されない。

- A** 日付や時刻を正しく設定する(24、84ページ)。
- A** 予約待機中に停電があったか、電源コードが抜かれた。
- A** 本機が衝撃や振動に反応した。安定した場所で使用する。

Q タイマー録音した内容が途中で切れている。先頭、途中が抜けている。

- A** 日付や時刻を正しく設定する(24、84ページ)。
- A** タイマー録音中に停電があったか、電源コードが抜かれた。
- A** タイマー録音開始直前に、編集やバックアップなどの操作を行っていた。
- A** 本機が衝撃や振動に反応した。安定した場所で使用する。

バックアップ

Q パソコンの共有フォルダに接続できない。

- A** コンピューター名、共有フォルダ名、ユーザー名を半角英数で入力してください。
- A** Windowsやウイルス対策ソフトのファイアウォールなどのセキュリティ機能を無効にする。ただし、共有フォルダの利用後は、設定を元に戻してください。

Q 差分バックアップしたデータが、差分バックアップする前のデータ量の2倍になる。

- A** 差分バックアップ時の本機の状態が、前回のバックアップ時よりも前に設定されていた。時計合わせをして、もう一度差分バックアップする。
- A** フルバックアップする(97ページ)。

Q 音楽データの復元中に以下のメッセージが表示される。

「OpenMGで著作権保護されているコンテンツのバックアップ・リストアについてただいまお客様がリストア（データの復元）を行われたバックアップファイルは、すでに複数回のリストアが行われております。コンテンツの著作権に配慮し、一定回数以上のリストアを制限させていただく場合がありますので、リストアが複数回行われているバックアップファイルのご使用に際しては、本注意メッセージを表示させていただいております。」

- A** お使いの周辺機器による不具合が繰り返されるか、製品が著しく不安定なために、リストアしたデータが利用できなくなる場合
- ソニーの相談窓口、または販売店にお問い合わせください。
- A** 何度音楽データの有効化を試みても、最終的に失敗する場合
- バックアップデータを記録したパソコンや、ドライブが破損・損傷していないか確認してください。

音楽データ移動

Q 接続に失敗する。

- A** 接続するケーブルはLANケーブル(クロス)をご使用ください。
- A** 受信側、送信側の移動方向の設定を確認してください。
- A** 受信側、送信側が共に音楽データ移動に対応しているか確認してください。

Q 接続に時間がかかる。

- A** 送信側の音楽データが多い場合、時間がかかることがあります。

Q 移動できない曲ある。

- A** 受信側で対応していない形式の曲は移動できない場合があります。

Q 移動した曲のジャケット写真が表示されない。

- A** 受信側で対応していない形式のジャケット写真は移動できない場合があります。

その他

Q 正常に動作しない。

- A** 静電気などの影響を受けている。このときは、電源ボタンを押して電源を切り、再び電源を入れる。それでも正常に動作しないときは、リセットする(102ページ)。
- A** 画面に警告メッセージが出ている。メッセージに従ってください。

Q 画面に5桁のアルファベットと数字が表示されている。

- A** 自己診断機能が働いている(113ページ)。

Q オン/スタンバイランプ(赤)が点滅する。

- A** スピーカープロテクト機能が働いている。電源コードをコンセントからはずし、スピーカーケーブルの接続を確認する。ショートなどの異常がなければ、オン/スタンバイランプが消灯したことを確認してから、電源コードをコンセントにつなぐ。

Q リモコンが動かない。

- A** 乾電池が消耗している。
- A** 乾電池が入っていない。
- A** リモコンをリモコン受光部に向けて操作する。
- A** 本機の近くにインバーター方式の蛍光灯がある。本機を蛍光灯から離して設置する。

Q 画面に「オーディオデータが壊れています」と表示される。

- A** [修復]を選ぶ。

Q 本機が振動したり、通風孔から音が出る。

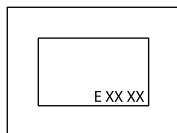
A HDDが高速回転しており、本体の温度上昇を抑えるためにファンが回ります。回転による振動や音は故障ではありません。

Q CD録音時に振動や音が大きくなる。

A CDの再生時に比べ、高速回転でHDDに録音するため、故障ではありません。また、CDの種類によっては、振動や音の大きさが異なる場合があります。

自己診断機能について

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、画面にアルファベットと数字で5桁のサービス番号(例:E 00 11)を表示します。表示が出たら、ソニーの相談窓口にご連絡ください。そのときにはサービス番号の5桁全てをお知らせください。



保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「困ったときは」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではHDD搭載ネットワークオーディオシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーの相談窓口にご相談ください。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

修理について(ハードディスク)

修理・点検の際、不具合症状の発生・改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のデータファイルを確認したり、プログラムを起動することがあります。ただし、それらのファイル、プログラムをソニー側で複製・保存することはありません。

ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきますのでご了承ください(著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます)。

なお、初期化により、ハードディスク内のプログラムおよびデータが全て消去されますので、あらかじめお客様にてバックアップ等保存につき必要な対応をされるようお願いいたします。

ご相談になるときは、以下のことをお知らせください。

- 型名:
- 故障の状態: できるだけ詳しく
- 購入年月日:

ソニーの相談窓口のご案内(裏表紙)

お買い上げいただいたHDD搭載ネットワークオーディオシステムは、ソニーの相談窓口でも保証サービスを行っております。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一、故障などの不具合が生じた場合や、接続や操作の方法がわからない場合は、まず、裏表紙の電話番号にお問い合わせください。

また、製品に対するご意見なども、お気軽にお寄せください。よりよい製品作りに生かしていきたいと考えております。

あらかじめ以下のことをお調べいただくと、対応が円滑に進むこともあります。

お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

- 型名:
- ご契約されているインターネットサービスプロバイダの名前とサービス(コース)の種類
- お使いのブロードバンドルーターやハブのメーカー名と型名

今後ともソニー製品をご愛用くださいますようお願い申し上げます。

注意事項

使用上のご注意

設置場所について

以下のような場所には置かないでください。

- ぐらついた台の上や不安定な所
- じゅうたんや布団の上
- 湿気の多い所、風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 直射日光が当たる所、湿度が高い所
- 極端に寒い所

通風孔をふさがないでください。本機は、ハイパワーアンプを搭載しています。そのため、本体底面の通風孔をふさぐと、機械内部の温度が上昇し、故障の原因となることがあります。物を置くなどして、通風孔を絶対にふさがないでください。

設置場所を変えるときは

CDやMD*を入れたまま、本機を動かさないでください。
CDやMD*を入れたまま動かすと、CDやMD*を傷めることがあります。

テレビの色むらについて

本機のスピーカーをテレビのそばで使うと、テレビの種類により色むらが起こる場合があります。
色むらが起きたら、いったんテレビの電源を切り、15~30分後に再度電源を入れてください。それでも色むらが残る場合は、スピーカーをさらにテレビから離してください。

音量を調整するときは

ディスクはレコードと比べ、非常に雑音が少ないです。レコードをかけるときのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調整すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。
再生を始める前には、必ず音量を小さくしておきましょう。

ステレオを聞くときのエチケット



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞かせください。特

に夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。

窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、CDやMD*、部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、CDやMD*を取り出しておいてください。

結露が生じたときは、CDやMD*を取り出して、電源を切って約30分放置し、電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ハードディスクについて

ハードディスクは記録密度が高いため、長時間録音やすばやい頭出し再生を楽しめます。その一方、ハードディスクはほこりや衝撃、振動に弱い性質があります。

ハードディスクには衝撃や振動、ほこりからデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記録したデータを失ってしまうことのないよう、以下の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- コンセントをさしたまま本機を動かさないでください。
- 録音や再生中はコンセントを抜かないでください。
- 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- お客様ご自身で、ハードディスクの交換や増設はできません。故障の原因となります。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。

データのバックアップについて

修理時に本機のハードディスクに保存されていた音楽データ、設定データなどが再現不可能になることがあります。修理に出される前に、本機に登録した設定内容などは紙に控えてください。また、本機に保存した音楽データは、バックアップ機能(「データをバックアップする」97ページ)を使用して、外部に接続したUSBハードディスク、またはWindowsのファイル共有にてコピーしてください。

* NAS-M95HD/M75HDのみ

ハードディスクに記録されたデータは、通常の使用においても壊れる可能性があります。お客様が保存したデータは、定期的にバックアップをとるようにしてください。弊社の修理、また通常の使用において、万一データが消去、あるいは変更されたとしても、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

電源コードを抜くときのご注意

本機がスタンバイモードになり、イルミネーションランプが消えていることを確認してから電源コードを抜いてください。

オン/スタンバイランプが緑色またはイルミネーションランプがついているときに電源コードを抜くと、内部データの消失や故障の原因となります。

CDの取り扱いかた

- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。
- 本機でお使いいただけるCDは、円形ディスクのみです。円形以外の特殊な形状(星型、ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いたあと、乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは使わないでください。
- 直射日光が当たる場所、車やトラックの中など、高温になる場所には置かないでください。

- 中古ディスクやレンタルディスクで、シールなどののりがはみ出していたり、付着しているディスクは使用しないでください。プレーヤー内部にディスクが貼り付いて取り出せなくなったり、プレーヤー本体の故障の原因となります。
- 市販のCDレンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

著作権保護技術対応音楽ディスクについて

本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生・録音できない場合があります。

DualDiscについてのご注意

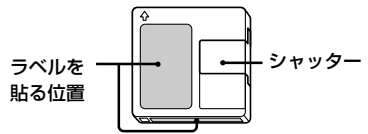
本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠したディスクの再生を前提として、設計されています。DualDiscはDVD規格に準拠した面と、音楽専用の面とを組み合わせた両面ディスクですが、音楽専用の面はCD規格に準拠していないため、本製品で再生できない場合があります。DualDiscは全米レコード協会(RIAA)の商標です。

MDの取り扱いかた*

MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

- シャッターを無理に開けようとすると、こわれることがあります。シャッターが開いてしまった場合は、内部のディスクに直接触れずに、すぐに閉めてください。

- ディスクに付属のラベルは、必ずラベル貼付用のくぼみに貼ってください。ラベルの形はディスクによって異なります。



- 直射日光が当たる所など温度の高い所や湿度の高い所には置かないでください。
- カートリッジ表面についたホコリやゴミを乾いた布で拭き取ってください。

MP3ファイルを再生するときの制限事項

- 本機はサンプリング周波数32kHz、44.1kHz、48kHz及びビットレート32～320kbpsに対応しています。それ以外の数値で作成されたファイルを再生すると、再生が停止したり、大きな雑音や音途切れがしたり、スピーカーを損傷する恐れがあります。
- MP3形式以外のファイルに「.mp3」の拡張子をつけると、本機はそれらを再生しようとしてしまい、再生をスキップしたり、雑音や故障の原因となります。
- 本機はMP3PROで記録されたファイルには対応していません。
- 以下の場合、MP3の再生経過時間、または、再生残量時間が実際と異なることがあります。
 - VBR (Variable Bit Rate、可変ビットレート)のMP3ファイルを再生したとき
 - 早送り、早戻しをしたとき

対応CD/MD*について

○本機では以下のディスクを再生できます。

CD: 音楽用CD/CD-R/CD-RW/
CD TEXT

MP3ファイル:

CD-ROM/CD-R/CD-RW
(ISO9660レベル1、2またはJolietに準拠したフォーマットで記録されたもの)、
マルチセッション対応

！ご注意

- マルチセッションディスクの音楽用CDフォーマットは、最初のセッションに記録されている曲しか再生できません。
- マルチセッションディスクの音楽用CDフォーマットとCD-ROMフォーマットのセッションの構成により、MP3ファイルが再生できない場合があります。
- CD-R/CD-RWのディスクの特性や記録状態によっては、再生できない場合があります。
- CD-RWは、反射率が他のディスクよりも低いため、再生開始までに時間がかかることがあります。
- ディスクに記録された曲が500を超える場合、501番目以降の曲は認識されません。
- 多くの階層や複雑な構成で記録したディスクは再生開始までに時間がかかることがあります。ディスクにアルバムを記録するときは第2階層までにすることをおすすめします。

🔍ヒント

CDの記録方式について詳しくは、お手持ちのCD-R/RWドライブまたは書き込み用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

×本機では以下のMDなどを再生することはできません。*

- Hi-MD
- MDデータ
- Hi-MDモードで録音されたMD

* NAS-M95HD/M75HDのみ

主な仕様

アンプ

実用最大出力

NAS-D55HD/M75HD: 20W + 20W (8 Ω, JEITA*)

NAS-M95HD: 26W + 26W (6 Ω, JEITA*)

* JEITA (電子情報技術産業協会)の規格による測定値です。

システム(CD部)

周波数特性

20Hz ~ 20kHz

全高調波ひずみ率

0.1%以下

システム(MD部) (NAS-M75HD/M95HDのみ)

サンプリング周波数

44.1kHz

周波数特性

20Hz ~ 20kHz

システム(HDDジュークボックス部)

容量

NAS-D55HD/M75HD: 80GB*

NAS-M95HD: 250GB*

* 容量の一部はデータ管理領域として使用されず。実際の使用可能領域は以下のとおりです。

NAS-D55HD/M75HD: 約69GB
(74,088,185,856 byte)

NAS-M95HD: 約225GB
(241,591,910,400 byte)

フォーマット

ATRAC3

ATRAC3plus

MP3

リニアPCM

最大録音時間(ATRAC 48kbps時)

NAS-D55HD/M75HD: 約3,400時間

NAS-M95HD: 約11,130時間

最大曲数

40,000曲

チューナー部

回路方式

PLLデジタル周波数シンセサイザー
クォーツロック方式

受信周波数

FM: 76.0 ~ 90.0MHz

AM: 531kHz ~ 1,602kHz

入・出力端子

アンテナ入力

FM: 75 Ω不平衡型

AM: 外部アンテナ端子

モニター出力

ピンジャック

1Vp-p (75 Ω不平衡)

オーディオ入力

上面: ステレオミニジャック

後面: ピンジャック(左、右)(NAS-M75HD/M95HDのみ)

オーディオ入力レベル

上面: 0.8V (高感度)、1.5V (低感度)

後面: 1.5V (NAS-M75HD/M95HDのみ)

オーディオ出力

後面: ピンジャック(左、右)(NAS-M75HD/M95HDのみ)

オーディオ出力レベル

0.5V (NAS-M75HD/M95HDのみ)

ネットワーク端子

10BASE-T/100BASE-TX

USB端子

USBタイプA

Hi-Speed USB

"ウォークマン" (ATRAC AD) 接続用

WM-PORT

WM-PORT搭載 "ウォークマン" 接続用

ヘッドホン端子

ステレオ ミニジャック

スピーカー(NAS-D55HD)

方式

バスレフ型

形状

コーン型 12cm

ドーム型(バランスドーム) 2.5cm

定格インピーダンス

8 Ω

最大外形寸法

140×250×215mm(幅/高さ/奥行)

質量

約2.2kg/1台

スピーカー(NAS-M75HD)

方式

バスレフ型

形状

コーン型(アルミ製振動板) 12cm

ドーム型(ソフトドーム) 2.5cm

定格インピーダンス

8 Ω

最大外形寸法

140×250×215mm(幅/高さ/奥行)

質量

約2.2kg/1台

スピーカー(NAS-M95HD)

方式

バスレフ型

形状

コーン型(アラミド繊維製振動板)

12cm

ドーム型(カーボングラファイトコン

ポジット振動板) 2.5cm

定格インピーダンス

6 Ω

最大外形寸法

149×290×253mm(幅/高さ/奥行)

質量

約3.7kg/1台

電源、その他

電源

AC100V、50/60Hz

消費電力

NAS-D55HD/M75HD: 48 W
(JEITA*)

NAS-M95HD: 50 W (JEITA*)

待機消費電力

0.5W以下(標準モード)

最大外形寸法

285×143×285mm(幅/高さ/奥行き、突起部含まず)

質量

NAS-D55HD: 約 5.0kg

NAS-M75HD: 約 5.6kg

NAS-M95HD: 約 6.0kg

許容動作温度

5 ~ 35℃

許容動作湿度

25 ~ 80%

付属品

12ページをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。



- 待機時消費電力0.5W以下
- 主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません
- キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません

HDDジュークボックス内の階層一覧

↓：決定ボタンまたは→ボタンで次の階層へ
 ↑：←ボタンで前の階層へ
 ⇓：決定ボタンで再生画面へ

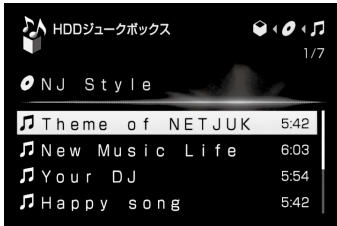
アルバムモード



アルバム一覧(アルバム階層)

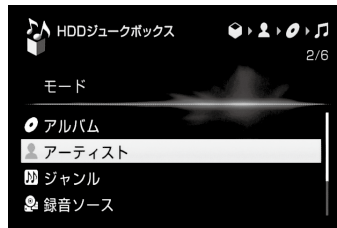


トラック一覧(トラック階層)

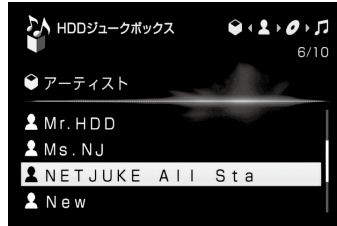


再生画面

アーティストモード



アーティスト一覧(アーティスト階層)



アルバム一覧(アルバム階層)

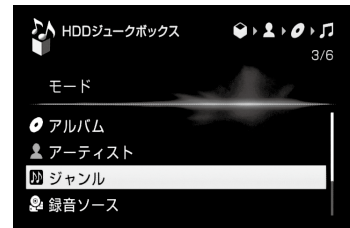


トラック一覧(トラック階層)

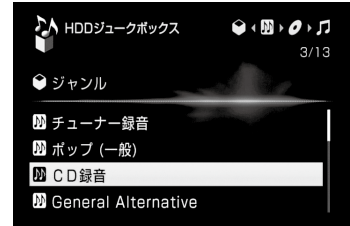


再生画面

ジャンルモード



ジャンル一覧(ジャンル階層)



アルバム一覧(アルバム階層)



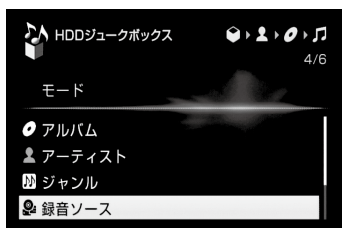
トラック一覧(トラック階層)



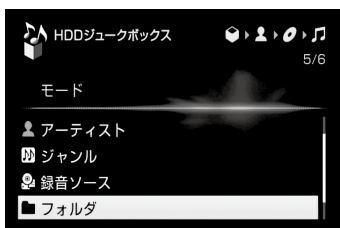
再生画面

↓ : 決定ボタンまたは→ボタンで次の階層へ
 ↑ : ←ボタンで前の階層へ
 ⇓ : 決定ボタンで再生画面へ

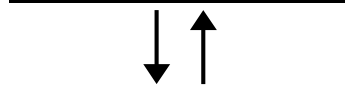
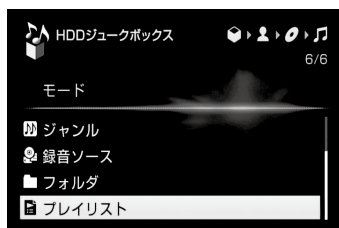
録音ソースモード



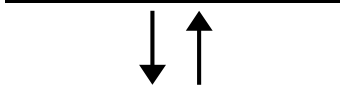
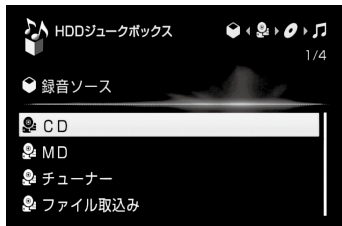
フォルダモード



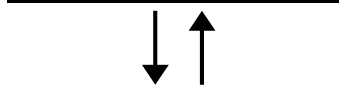
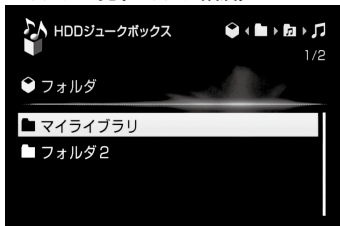
プレイリストモード



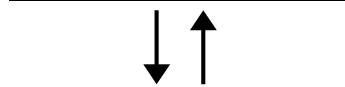
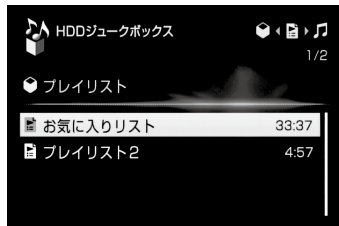
録音ソース一覧(録音ソース階層)



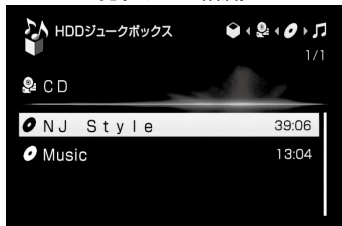
フォルダ一覧(フォルダ階層)



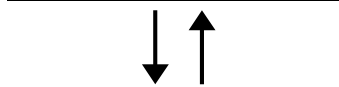
プレイリスト一覧(プレイリスト階層)



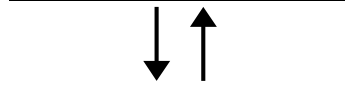
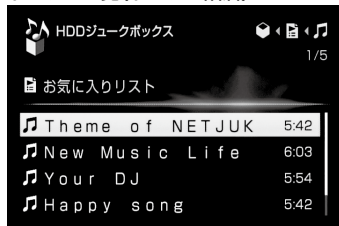
アルバム一覧(アルバム階層)



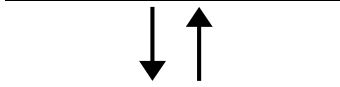
グループ一覧(グループ階層)



トラック一覧(トラック階層)



トラック一覧(トラック階層)



トラック一覧(トラック階層)



再生画面



再生画面



再生画面

用語解説

■ 五十音順-----

【あ行】

イーサネット

米国のゼックス社が開発したローカルエリアネットワーク(LAN)のモデルの1つ。現在、ローカルエリアネットワークを構成するために広く普及している。

インターネット

世界中のコンピュータが接続された通信網。メールや情報検索サービスなどが利用できる。

【か行】

楽曲クリップ

NOW ON AIRで表示される、FM放送で放送された楽曲の情報を本機に保存すること。

区点コード

日本工業規格(JIS)が一般に使用する文字に定めたコード番号。

結露(露つき)

暖房を入れて室温が急が上がったときなどに、本機内部に水滴が付くこと。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置する。

【さ行】

サンプリング周波数

音声などをアナログデータからデジタルデータへ変換するとき、数字に置き換える必要がある。この作業をサンプリングと呼び、1秒間に記録する回数をサンプリング周波数という。音楽CDの場合、1秒間に44,100回記録しており、サンプリング周波数を44.1kHzと表す。一般的には、サンプリング周波数が高いほど、記録された音声は高音質になる。

【た行、な行】

転送(チェックイン/チェックアウト)

ハードディスク上で著作権保護技術「OpenMG」対応ソフトウェアで管理している音楽データを、ATrac ADなどの外部機器・メディアに転送することを「チェックアウト」といい、チェックアウトした音楽データを元のハードディスクに戻すことを「チェックイン」という。著作権保護技術「OpenMG」により、暗号化してハードディスクに記録されるため、不正な使用や配信などを防止できる。一度チェックアウトしたデータをチェックインによりハードディスクに戻したあと、再びチェックアウトすることも可能。ただし、チェックアウトしたデータを、他のハードディスクにチェックインすることはできない。

【は行、ま行】

バイト

パソコンなどのデジタルデータを表す基本的な単位のひとつ。デジタルデータは、「0か1か」で表されるが、このデータひとつが1ビット、8ビットで1バイトという単位になる。半角文字は1バイトで表すため1バイト文字、一般的に全角文字は2バイトで表すため2バイト文字という。

ハードディスク

パソコンなどに使われている大容量データ記憶装置の1つ。磁気ディスクと駆動機構が一体になっているため、非常に高速で読み書きすることができ、データの検索性にすぐれている。

ビットレート

データの情報量を表す。単位として、ビット毎秒(bps: bit per second)を使うことが多く、音楽データに1秒あたりどのくらいの情報量があるか表す。

プロキシ

ファイアウォール(外部からの不正侵入防御壁)内にあるコンピュータが外部へアクセスできるようにしたり、インターネットのホームページなどを高速に表示したりできるプログラムまたはサーバ。

ブロードバンド

広域の周波数帯域を使用して、大容量の映像・音声データを高速で送受信できる回線の総称。現在、ブロードバンドと言われるものには、ADSL、CATV、光ファイバーなどがある。

ブロードバンドルーター

ADSLやケーブルテレビでインターネットに接続する場合、ADSLモデムやケーブルモデムという機器を使うが、複数の端末からインターネットに接続するときは、ブロードバンドルーターという機器を使う。

プロバイダ

「インターネットサービスプロバイダ(ISP)」とも言う。インターネットへの接続サービスなどを提供する事業者。

【や行】

予測候補

予測変換機能で入力した文字に対して予測される単語や語句。

予測変換機能

入力した頭文字から単語全体を予測したり、入力した単語から文脈を予測する入力機能。学習機能があり、使えば使うほど、入力の手間が省けて便利に入力できる。

【ら行、わ行】

リニアPCM

非圧縮のデジタル音声データ形式。本機では、音楽CDと同じくサンプリング周波数44.1kHz、16bitで記録される。

ルーター

ネットワーク間を中継する装置のことで、相互のネットワークのプロトコルやアドレスの変換を行う。

最近では、ISDN回線に接続するためのダイヤルアップルーターや、ADSLやCATVに接続するためのブロードバンドルーターもある。単に「ルーター」と言ったとき、これらの機器を指すこともある。

アルファベット順-----

【A、B】

ADSL

非対称デジタル加入者回線 (Asymmetric Digital Subscriber Line) の略。ブロードバンド回線の1つ。従来の銅線のアナログ電話回線を使用するが、音声信号とは別の高周波帯域を利用するため、大容量のデータ伝送が可能。上り方向(ユーザーの端末から送信する方向)の通信速度に対して下り方向(電話局からユーザーの端末へ流す方向)の通信速度が高速なため「非対称」の名前がついている。通信速度は契約しているサービスにより異なる。

ATRAC AD

アトラックオーディオデバイス (ATRAC Audio Device) の略。ATRAC形式で記録された音楽データを再生できる機器の総称。

ATRAC3

ソニー株式会社が開発した音声圧縮技術「ATRAC」の1つ。CDの約1/10という高圧縮ながら高音質を実現。

ATRAC3plus

「ATRAC3」をさらに発展させた音声圧縮技術。CDをベースに比較すると、1/20という高圧縮率かつ高音質を実現。

【C】

CD TEXT

ディスク名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称。

【D、E、F、G、H】

DHCP

動的ホスト構成プロトコル (Dynamic Host Configuration Protocol) の略。インターネットの接続に必要な設定値を端末に自動的に割り当てるためのしくみ。

DLNA

デジタルリビングネットワークアライアンス (Digital Living Network Alliance) の略。デジタルコンテンツをネットワークを通じ、共有するための規格ガイドラインを策定している非営利団体。詳しくは、<http://www.dlna.org/jp/home> をご覧ください。

DNS

Domain Name Systemの略。マシン名からIPアドレスへ、またIPアドレスからマシン名への置き換えを行うサーバで、IPアドレスで特定されている。「DNSサーバ」などとも言う。

【I、J、K】

ID3

MP3ファイルに記録される曲名やアーティスト名などの情報。本機では、MP3形式の曲の詳細情報は、このID3タグを表示している。

IPアドレス

TCP/IP (伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル) ネットワークで使用される識別情報。通常は、3桁までの数字4組を点で区切ったもの (192.168.239.1 など)。ネットワーク上のマシンには、必ずこのアドレスが付いている。

ISO9660

国際標準化機構 (ISO) が制定したCD-ROMの論理フォーマット。

【L】

LAN

ローカルエリアネットワーク (Local Area Network) の略。オフィスや学校、ビルの中などの限定された地域に置かれたコンピュータやプリンタ、ファクシミリなどを相互接続して通信できるように構成されたネットワークの総称。

【M】

MP3

「MPEG-1 Audio Layer3」の略で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループであるMPEGで定めた音声圧縮の規格。音声データをCDの約1/10に圧縮できる。符号化アルゴリズムが公開されているので、さまざまなエンコーダーやデコーダーが存在する。パソコンの世界で広く普及している。

MSC

本機ではUSB Mass Storage Classを表す。MSCとはUSB Implementers Forumによって定義された転送プロトコルで、USB接続された外部機器とデータをやり取りするための規格。USBハードディスクやUSBメモリで使用されている。

MTP

Media Transfer Protocolの略。Microsoft社が開発したデータ転送技術で、画像や音楽、動画などのデータを、対応のポータブル機器に転送する技術。

【N、O、P、Q、R、S、T】

NOW ON AIR

本機で利用できる「エニーミュージック」のサービスの1つ。FM放送で放送中の内容が本機に表示される。

【U】

USBメモリ

本書では、USB Mass Storage Class規格に対応したUSB機器で、パソコンのUSB端子に接続するだけでリムーバブルディスクとして使える記憶装置のことを指す。例えば、USBプレーヤーなども、USB Mass Storage Class規格に対応していれば、USBメモリとして使える。

【V】

VAIO Media

ソニーバイオコンピュータに搭載されているホームネットワークソフトウェア。本機と接続するには「VAIO Media Ver.4.1」以降が必要。

【W、X、Y、Z】

WM-PORT

「ウォークマン」を接続するための専用マルチ接続端子。

索引

【あ】

アーティスト	40, 56
アーティスト MIX	43
明るさ	13
アクセスポイント	74
アルバム	40, 56
検索する	40
アルバム MIX	43
イルミネーションランプ	23
インターネット	78
イントロ再生	27
ウェイクアップタイマー	91
"ウォークマン"	
接続	32
転送	33
"エニーインフォ"	38
"エニーミュージック"	80
利用登録	80
オーディオイン	28
オーディオ出力端子	22, 54
オーディオ入力端子	22, 54
オートチューニング	52
お気に入りチャンネル	46
お気に入りリスト	39
オプションメニュー	19
おまかせチャンネル	42
おまかせチャンネルリスト	43
オンエア情報	81
音楽CD	47
オン/スタンバイランプ	17, 23

【か】

階層	18
書き出し	34
カセットデッキ	22
楽曲クリップ	13, 81
画面	18
サイズ	95
デザイン	95
聞く	
外部機器	54
ラジオ	52
ラジオ局	52
CD	47
HDDジュークボックス	38
MD	50

共有フォルダ	96
曲	
移動する	63
検索する	40
削除する	62
情報を見る	89
ダウンロード	80
つなぐ	64
データ形式	66, 89
名前を変更する	61
分ける	63
MIXチャンネル間で移動する	45
曲順	63
曲番	62, 63, 64
区点コード	68
クライアント	85, 88
クリップ	82
グループ	65
結合	64
結露	115
高速起動スタンバイ	23, 95
後面	54

【さ】

サーバ	
機能の動作	23
自動接続	86
手動設定	87
再生	
おまかせチャンネル	44
再生エリア	56
再生モード	56
パソコン内の音楽	88
モードの種類	40
CD	47
HDDジュークボックス	38
MD	50
削除	
タイマー設定	94
転送先の曲	37
フォルダ/アルバム/曲	62
プレイリスト	37
サブネットマスク	77
自己診断機能	113
システム	97
初期化	100

バージョンアップ	100
本体ソフトウェアを更新する	100
自動解析	23, 42
自動タイトル	28, 93
シャッフル再生	56
ジャンル	40, 56
重低音を強調	14
手動解析	42
消音	14
情報を見る	
曲	89
システム	99
CD	49, 80
FMオンエア情報	81
HDD	39
MD	51
初期化	
システム	100
初期設定	20
スクリーンセーバー	95
ステレオ録音(MD)	35
スピーカー	21
スピーカーフット	22
スマートスペース	28
スリープタイマー	90
接続	
アンテナ	21
"ウォークマン"	32
スピーカー	21
別売りの機器	22, 54
設定	95
ウェイクアップタイマー	91
おまかせチャンネル	46
画面	95
共有フォルダ	96
自動接続(サーバ)	86
手動設定(サーバ)	87
スタンバイモード	95
設定メニュー	19
タイトル情報取得	48
タイマー録音	92
時計	24, 84
入力レベル	55
録音先	29
録音/取込み	27

FMモード	53
HDDジュークボックスに取込 む	27
ソート	40

【た】

タイトル情報取得	48, 79
トラック一括登録	79
タイマー録音	92
チューナー(ラジオ)	28, 52
データ	
移動	100
バックアップ	97, 115
復元	99
デフォルトゲートウェイ	77
電源	13
転送	
“ウォークマン”に	33
おまかせチャンネル	46
転送時の設定	34
転送できる回数	34
転送できる単位	26
転送ボタン	33
フォーマット	26
ポータブル機器に	33
HDDジュークボックスから	32
MDIに	33
USBメモリに	34
動作モード	23
登録	
お気に入りチャンネル	46
タイトル情報	58
トラック一括登録	58
プレイリスト	61
ラジオ局	53
FM局	81
時計	24, 84
トラックマーク	28, 93
取込み	30
設定可能なフォーマット	26
パソコンから	31, 83
USBメモリから	31

【な】

名前	61
ネットワーク	70
状態確認	76
接続	70
無線	73
有線	71
年代 MIX	43

【は】

バージョンアップ	100
ハードディスク	3, 115
パソコンから取込む	31, 83
バックアップ	97
差分バックアップ	98
フルバックアップ	98
ハブ	71
バンド	52, 93
ビットレート	27, 66, 93
標準起動スタンバイ	23, 95
ファンの動作	23
フォーマット変換	66
フォーマット	26, 27, 93, 99
フォルダ	40, 57, 65
復元	99
付属品	12
プリセットEQ	14
プリセット番号	93
プレイリスト	40, 57, 61
登録	39
プロキシ	77
分割	63
編集	58
ポータブル機器	33
ポート	71
ホームネットワーク	85
クライアントとして使う	88
サーバとして使う	86
ホームボタン	14, 19
ホームメニュー	19

【ま】

マイライブラリ	29
マニュアルチューニング	52
ムード MIX	43
メイン画面	18
モード	40
文字入力	15, 67
コピー/切り取り/貼り付け	69
辞書登録	69
モニター音再生	27
モニター出力端子	22

【や】

予測変換	67
予約	91, 92

【ら】

ラジオ	
受信	52
リスト画面	18
リセット	102
リニアPCM	18, 63, 64
リピート再生	56
リピートモード	57
リモコン	13
電池の入れかた	22
リンク	13
ルーター	71
レベルシンク	28
録音	
タイマー録音	92
パソコンから取込む	31, 83
CD/MD/ラジオ/外部機器	30
HDDジュークボックスに取込 む	30
USBメモリから取込む	31
録音ソース	40, 57
録音モード(MD)	28

【A、B、C、D】

AMループアンテナ	21
ANY MUSIC	80
AOSS	73
ATRAC	18, 63, 64
ATRAC3	27
ATRAC3plus	27
CD	116
再生	47
録音	30
CD TEXT	48
DLNA	85

【E、F、G、H】

FAT32形式	97
FMオンエア情報	81
FM簡易ワイヤーアンテナ	21
FMモード	53
FMモード設定	52
Gracenote® Music Recognition Service	79

【I、J、K、L、M】

IPアドレス	77
LANケーブル	71
LPステレオ録音(MD)	35
M.BASS	14

MD	116
階層と再生順序.....	50
転送.....	33
MIXチャンネル	44
MIXチャンネルリスト	43
MP3	18, 27, 116
階層と再生順序.....	47

【N、O、P、Q、R】

NTP	84
PC共有フォルダ	59, 96

【S、T、U、V、W、X、Y、Z】

SERVERランプ.....	16, 86
USBハードディスク.....	97
USB無線LAN	73
WM-PORT	32

数字

12音解析技術.....	42
--------------	----

商標などについて

- 本ソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- “ATRAC”、OpenMGおよびそれぞれのロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- “ウォークマン” およびそのロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
- 本機はFraunhofer II S及びThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- MicrosoftおよびWindows、Windows vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- エニーミュージックは、エニーミュージック株式会社の登録商標です。
- 「AOSS」は、株式会社バッファローの商標です。
- 本製品は、株式会社ジャストシステム開発の読み仮名変換モジュールを搭載しています。また、読み仮名変換辞書は、ソニーとジャストシステムの共同開発です。
- 本製品に搭載されているフォントの書体「新ゴJ」は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。
- Built with Linter Database.
Copyright © 2006-2007 株式会社ライセン。
Copyright © 1990-2003 Relex, Inc., All rights reserved.
- Music recognition technology and related data are provided by Gracenote[®]. Gracenote is the industry standard in music recognition technology and related content delivery. For more information visit www.gracenote.com.
CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2007 Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-2007 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Some services supplied under license from Open Globe, Inc. for U.S. Patent: #6,304,523.
Gracenote and CDDb are registered trademarks of Gracenote.
The Gracenote logo and logotype, and the “Powered by Gracenote” logo are trademarks of Gracenote.



Gracenote[®] エンドユーザー使用許諾契約書

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote社のソフトウェア (以下「Gracenoteソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenoteデータ」) などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenoteサーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenoteデータを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーをお客様個人の非営利目的のみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利をGracenoteとして行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用してお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーがエラーのない状態であることや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenoteは、Gracenoteが将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。